

会長のページ 厚生局指導について	河野 雅行	3
日州医談 医師の働き方改革における問題点	濱田 政雄	4
はまゆう随筆(その2)		6
永山 武章, 重永 哲洋, 玉置 昇, 貴島 俊英, 北村 應旺 松岡 文章, 堀之内和代, 大森 史彦, 山本雄一郎, 長沼弘三郎 江藤 胤尚, 下村 直也, 今給黎 承		
エコー・リレー(516)	久富木 冠, 波種 年彦	16
メディアの目 鉄路の行方	佐々木浩人	17
宮崎大学医学部だより(感覚運動医学講座 皮膚科学分野)	根本利恵子	28
部会だより(勤務医部会)	菊池 郁夫	29
宮崎県医師会理事業務分担		54
診療メモ 小児在宅医療について	弓削 昭彦	90

表彰・祝賀	15
あなたできますか?(平成29年度医師国家試験問題より)	18
宮崎県感染症発生動向	20
各郡市医師会役員名簿	22
郡市医師会だより(宮崎市郡医師会, 都城市北諸県郡医師会)	24
第167回宮崎県医師会臨時代議員会(概要)	30
第168回宮崎県医師会定例代議員会(概要)	34
第169回宮崎県医師会臨時代議員会(概要)	37
平成30年度第75回宮崎県医師会総会	40
各種委員会(宮崎県医師会医学会役員会)	44
九州医師会連合会第371回常任委員会	45
九州医連連絡会第27回常任執行委員会	46
第1回外国人医療対策会議(都道府県医師会・外国人医療対策担当理事連絡協議会)	47
都道府県医師会予防・健康づくり(公衆衛生)担当理事連絡協議会	48
都道府県医師会組織強化担当役職員連絡協議会	50
ベストセラー	53
日医インターネットニュースから	56
理事会日誌	58
県医の動き	65
会員の異動・変更報告	66
医師国保組合だより	68
ドクターバンク情報	69
行事予定	75
医学会・講演会・日医生涯教育講座認定学会	77
宮大医学部学生のページ	92
あ と が き	96

お知らせ 医師の求人・求職は日本医師会女性医師バンクをご利用ください!	19
平成30年度日本医師会認定医療秘書養成制度 卒業生求職のお願い	39
女性医師の皆様へ	46
宮崎県医療勤務環境改善支援センター	55
第2回生命を見つめるフォト&エッセー作品募集	64
日州医事へのご意見・ご感想をお待ちしています	73
クールビズについて	89
郡市医師会への送付文書	94
案 内 宮崎県医師会親善ゴルフ大会	43

医師の心得

1. 私たちは、皆さまの
健康状態をよくお聞きします。
2. 私たちは、皆さまに
最善の医療を提供できるよう心がけます。
3. 私たちは、皆さまに
医療内容をよく説明し、一緒に医療を行います。
4. 私たちは、皆さまの
「知る権利」・「知りたくない権利」を大切にします。
5. 私たちは、皆さまの
健康維持と医療の質の向上に尽くします。

公益社団法人 宮崎県医師会

(平成14年 3 月12日制定)

〔表紙作品：写真〕

黄昏時

仕事帰りに高鍋町染ヶ岡地区の
「キャベツ畑のひまわり」に行ってみ
ました。

三脚を立てて待っていると、予想
通り鮮やかな夕焼け空になってくれ
ました。

国富町 原 まさ 樹

会長のページ

厚生局指導について

かわ の まさ ゆき
河 野 雅 行

平成27年6月号の日州医事でも述べましたように、我々第一線の診療医にとっては重大関心事である厚生局の指導について再度述べます。保険診療医療機関は適時、厚生局による指導を受ける義務があります。指導は一定のルールに則り施行されるのですから特別な心構えは必要ないはずですが、指導を受ける側からすれば大きなストレスとして感じられる場合が多いようです。指導の回数も開業以来1回のみで終わる例もあれば、数回、場合によっては更に頻回の指導を受ける例もあり、この回数の違いから一つの不公平感が感じられるのかもしれません。何で自分が選定されたのかと戸惑われる先生もいらっしゃるようです。対象機関の選定方法や通知方法、指導時間帯等についての会員からのクレームは時折仄聞します。その点については機会ある毎に県医としても当局に対して頻回に是正を求めています。その結果、いくつかの要望が通って改善されつつあります。予告通知を早めたり、一部ではありますが指導内容の公表がなされるようになりました。

他県では、理不尽な指導をなされたとの会員の苦情があるようです。当県では全ての指導・監査には県医師会から担当理事が立ち会っており、立ち会い役員の報告では指導に関してはそれ程大きな問題は発生していないようです。しかし、所謂青本の解釈間違い等は見受けられ、指摘される例はあるようです。様々な指導はほとんどの場合カルテを基になされます。従いまして、カルテ記載の不十分な例については立ち会い理事もコメントのしようがありません。医療現場では診察、説明、処置をして更に必要かつ十分なカルテ記載が求められており、なかなか大変です。その他の様々な書類や手続き等の不備も指摘され易い項目です。書類が多くて負担になるとの苦情は頻繁に聞きます。しかし、カルテは医療訴訟時においては唯一の証拠となり、自分を守る物ともなりますので是非とも記録をお願いします。

先に述べましたように、監査は別としまして、指導は必ずしも違反を前提に行われるものではなく、指導を受けることが決して恥と思うことも恐れることもありません。運転免許の更新と同じようなもので、ルールの再確認と捉えていただきたいと思います。

現段階での指導は以前に比べれば随分と緩和されましたが、更に改善していただきたい項目が幾つかあります。対象機関選定の基準が、今一理解できない。高点数とは言っても各県平均を基準にしている現状では、全国的な平準化にはならず地域差が解消されません。指導の時間が診療時間と重なっているため、診療に支障をきたしています。通知の期日については直前の通知では準備ができない等々。県医師会でも日本医師会を通じて更なる改善を要望しています。ストレスにならないような指導をお願いしたいところです。

(平成30年7月20日)

日州医談



医師の働き方改革における問題点

副会長 ^{はま}濱 ^だ田 ^{まさ}政 ^お雄

働き方改革を推進するための関係法律の整備に関する法律が平成30年6月国会で承認された。“労働者がそれぞれの事情に応じた多様な働き方を選択できる社会を実現する働き方改革を総合的に推進するため、長時間労働の是正、多様で柔軟な働き方の実現、雇用形態に係わらない公正な待遇の確保等のための措置を講ずる”。

時間外労働の上限について、月45時間、年360時間を原則とし、臨時的な特別な事情がある場合でも年720時間、単月100時間未満(休日労働を含む)。複数月平均80時間(休日労働含む)を限度に設定される。一方、職務の範囲が明確で一定の年収(少なくとも1,000万円以上)を有する労働者が、高度な知識を必要とするなどの業務に従事する場合に、年104日の休日を確実に取得させるなどの健康確保措置を講じること、本人の同意や委員会の決議等を要件として、労働時間、休日、深夜の割増賃金等の規定を適用除外とする特定高度専門業務・成果型労働制(高度プロフェッショナル制度)の創設もなされた。

臨床現場における医師は、高度な専門知識が必要であるという点において「高度プロフェッショナル」と言えるが、業務に従事した時間と成果との関連性が薄い成果型の点については、労働時間と成果とが連動しており、この要件を

満たさず、臨床医師が高度プロフェッショナル制度の対象職種に選定されることはない。

医師の働き方改革は、平成17年の研修医の過労死に関する最高裁の判決によって、医師は労働者であると見なされたことによる。医師の働き方改革には地域住民と医師の健康を守る二面性がある。医師の健康を守ることによって医療の質と量を満足し、地域医療体制を維持することが命題である。医療の提供量は医師の労働時間に多くを依存している。一方、医療の質を担保するための自己研鑽やキャリア形成および当宿日直の時間外労働時間としての在り方は漠然としており、過労死ラインの超過が回避しがたい。応招義務に関しては医師と患者とで異なる理解をしている側面があり、また社会通念上健全と認められる道徳判断も変化している。医療の高度化、専門化により一人の医師が医療ニーズに応えるだけでは必要な医療提供が保障できない面もある。今後の検討課題である。

宮崎県地域医療における現状

新専門医制度発足元年の今年度専攻医は全国最下位の37名だった。内科志望者は5名に達せず、将来像が描けない。行政、県医師会、大学と研修医対策を数年来行っているが成果が見えない。働き方改革が施行された場合に、法令に

則った一元的な対応はしないまでも、労働局は健康を守ることに對して指導を一層強化するであろう。現在は時間外手当支給という経済的問題での労働局指導であるが、施行後は720時間規制の時間外労働に対する罰則を伴う。5年の猶予はあるが喫緊の課題である。高校生の見学や医学部教育の中で地域医療実態や各診療科でのやりがいを示す試みが実り、県内医療従事者が増加することを期待する。地域医療支援センターの人員の増加で僻地医療が好転することが望まれる。さて、宮崎県の医師の構成は高齢化の一途で、2025年問題、2040年問題は医療を支える医師側崩壊となることも否定できない。数少ない医療資源を守るべく、育った医師の離職を防ぎ復帰を促すべく女性医師対策を積極的に進めないといけない。女性医師のライフステージに応じた保育支援事業、スキルアップ研修会や女性医師支援センター事業などの周知により、妊娠出産による早期離職を低減し効率的に働ける短時間勤務の促進や復帰プログラムでキャリア形成継続の志向を促進する形態が、結果的に男女勤務者ともどもの勤務環境改善になる。

また、救急医療、産婦人科、小児科、外科など3Kといわれる診療科で入局者の減少が目立つ。目に付いた話題で、今年5月山形大学の外科系医師の医師確保対策が紹介されていた。努力すれば報われる(HIGH RISK, HIGH RETURN)と、時間外や休日手術、麻酔、処置や、時間内でも高度な技術を必要とする難易度の高い手術に対して診療従事特別調整手当という名称の医師手当を充実し、待遇改善を図ったことが大きいと嘉山孝正特任教授が紹介している。3K職場の外科系は一人前までの長い修

練・医療発生時に個人責任を問われやすいなどの問題での入局減少に対して、医師の技量と仕事に見合った正当な処遇を挙げた。国立大学法人として給与体系そのものの変更は困難で、診療従事特別調整手当(手術・麻酔・処置)は診療費の10%を分配する仕組みとされた。医療サービスに要する時間・専門技術の肉体的尽力・専門技術の精神的尽力・患者のリスクからの精神的ストレスのという4つの視点をもとに、医師の仕事量を相対評価する手法である。2017年は附属病院収入202億円のうち時間外手当2億円、技術料(診療従事特別調整手当など)1億9,000万円が充てられた。最高額708万円、最小額50万円が支給された。

働き方改革による労働時間制限が地域医療に影響してはならない。考えられる影響は、1) 救急医療からの撤退 2) 外来診療の縮小 3) 産科・小児科の撤退 4) 医療の質の低下 5) 医療機関集約化でのアクセスや利便性の低下が指摘される。病院と開業医の連携強化や退職医師の外来診療参加とともに大学等を含めた医療機関の役割分担の明確化により、急性期後患者受け入れ体制確立・在宅化も図れる。救急医療の維持においても一次救急から三次救急までの分担促進、受診前の電話相談でのコンビニ受診の抑制も求められる。医療機関、行政、市民の互いの理解と協力が非常に重要な課題であり、5年の間に医師のボランティア精神に頼る医療から脱して、働き方改革に関する諸問題を解決しなければならない。

は ま ゆ う 随 筆

その2

(7, 8月号に分けて掲載いたします)

蘇る回想

宮崎市 ながやま小児科
アレルギークリニック なが
永 やま
山 たけ
武 のり
章

ある快晴の日曜日、友人の五反田君と下宿の庭先で会話をしていた。突然、空襲警報とともに敵機(米空軍機)がやってきたので急いで防空壕に避難した。暫くして防空壕よりでたところ、上空を飛んでいた3機が、急降下して銃撃を始めだし、弾丸がシュッシュッと激しい音と共に我々めがけて撃ち込んできた。傍らにある「つゝじ」の葉っぱに、バサッバサッと弾の当る音がして、あわてゝ家のかげに隠れて難をのがれたものである。当時、下宿が鴨池海軍航空隊の近くだったので、この様な危険に曝されたものである。

鹿児島(在鹿児島県時代)大学の解剖学教室に10年近く在籍した、教授指導のもとに、解剖学基礎に始まり解剖の実践、学生の指導、教材の処理、そして課題研究に毎日かなりの修練を実施した。申し訳ないことであるが当時は実習に提供していただく屍体が不足気味で、教授は日夜その蒐集に努力されていた。当時開設されていた外地引き揚げ授護局とか、精神病院での身元引受人のない不幸な転帰をとられたものが多く、連絡が入ると昼夜の別なく受け取りに行かねばならず、リヤカー、時には荷車で行ったものである。解剖学教室在籍の後半3年は助教授として在籍した。解剖学教室に恩恵を受けたものの1人として、以前に宮崎大学医学部解剖学教室にある遺体解剖提供の会、通称「白菊会」に

私自身の遺体の登録をしていたが、老齢と共に辞退を申し出た。

ともあれ、現在の鴨池近辺は余りにも変貌して往時をしのぶべきものは殆んどないが、教授宅訪問してこのあたりを通った時、遙か古の記憶は尚、鮮明に蘇ったものである。

米国胸部学会ATS2018報告 ベンラリスマブと気管支喘息 治療の新展開

高鍋町 しげ
重 なが
永 てつ
哲 ひろ
洋 海老原総合病院

今年5月、坂東政司教授(自治医大)にお誘いいただき米国サンディエゴの学会に参加した。教授は今回1日遅れでの会場入りだったが、その間に単身エンジェルス本拠地に出向いて、なんとあの「大谷翔平」選手と握手していた。そのツーショット写真は「いま最も会いたくても会えないはずの日本人」との笑顔のVサイン(二刀流)で、現地で直ちに諸先生方のLINEへ拡散されて教授は皆の羨望の的となっていた。

今回の注目は、コントロール不良の難治性重症気管支喘息とくに好酸球数の多い症例に効果的な新薬登場である。遺伝子組換えヒト化抗IL-5

受容体 α モノクローナル抗体製剤ベンラリズマブは、好酸球表面に発現するIL-5受容体 α に直接結合しADCC活性によりNK細胞等を誘導することでアポトーシスを引き起こし、好酸球を直接速やかにほぼ完全に除去できる。まさか治療のため好酸球そのものを消してしまおうという発想が皮下注製剤で実現する時代が来るとは思わなかった。

また今年秋以降の最大の目玉である間質性肺炎ガイドライン改訂に関し、欧州呼吸器学会での発表予定に先立ち米ワシントン大学Raghu教授にこっそり概略をお教えいただく機会を得たのは喜びであった。

サンディエゴの街には、街中至るところにレンタル自転車と電動キックスケーターがあふれ、使いたい時にすぐ使えるという利便性は目を見張るものがあった。スマホアプリと車体組込のGPSと連携し支払いはカードと実に簡便で、何より時速20km以上で爽快に風を切って走って自由に乗り捨て。人生初めて乗った電動キックスケーターはあまりに楽しくとても便利で、ホテルと学会場の往復、ショッピングと大活躍で何度も利用した。見慣れたこの街も確実に時代とともに進歩していることを実感した。



迷惑なタクシー

綾町 たまきクリニック 玉置 昇

宮崎空港に降り立ったとき小雨が降っていました。天候の関係で視界不良の場合、羽田空港に引き返すかも知れないという条件付きのフライトでした。かなり揺れましたが無事着陸してホッとしました。疲れがたまっていました。車内でゆっくりしようと思ったのですが、そのタクシーに乗り込むと強烈なタバコの煙と悪臭のため一瞬でテンションが下がりました。30分弱耐えなければならないからです。ちゃんと禁煙車と書いてあります。雨が降っていたため窓も少ししか開けられず気分不良になりました。空港からのタクシーでは運転手さんが喫煙者の確率が高いと思います。観光宮崎として空の玄関口である宮崎空港のタクシーは気持ちよく過ごせる空間であるべきだと思います。旅行の最初の瞬間が拷問の室内ではたまりません。宮崎県の印象も悪くなるでしょう。タクシーの運転手さんにはプロフェッショナルのプライドを持ってお仕事をしていただきたいものです。

湯の町の恋

都城市 柏村内科 貴島 俊英

「夫婦善哉」で有名な織田作之助は大阪の人であるが、別府を舞台にした作品も残っていて、それらは流川文学と言われる。「湯の町」の冒頭で、「流川通りは別府温泉場の道頓堀だ」と織田

は書いている。

明治6年に大阪～別府の航路が開かれると、旧別府港(楠港)から西へ、山の手の方へ伸びる流川通り周辺は大いに栄えた。別府はまた、坂の町でもある。到る所から坂道沿いに海が見え、海面は高い。山の手は、かの「白蓮事件」の「赤銅御殿」に代表される高級別荘地で、戦災に遭わず、戦後は進駐軍のモダンな住宅が建ち並んだ。残念ながら、多くは再開発によって失われ、今なお失われつつある。

高校1年の冬から7年近く、別府の女性と文通していた。昨年、35年振りに届いた年賀状、見覚えのある文字の名前と住所は、昔のままだった。織田作之助に敬意を表して「湯の町の恋」と呼んで、別府の町を彼女に案内してもらっている。

別府行が重なるうちに、定宿は鉄輪銀座通りの「柳屋」に決まり、なじみの店も何軒か出来た。竹工芸の「山正」、フジヨシ醤油、フォークの「博堂村」、老舗のバー「絳」、サムタイム、「レフトアローン」等々、皆親切である。往時の繁晶振りは、今では見る影もないそうだが、それでも町内まちなかの路地に、作り物ではない、暮らしに根付いた昭和の名残を感じる。昔は「日活ロマンポルノ」も上映していた映画館では、「寅さん」が掛かっていたりする。別府で「寅さん」を見るなら、第12作「男はつらいよ 私の寅さん」を見てみたい。寅次郎の「長旅をしてきた人は、優しく迎えてやらなきゃなあ」という言葉は、「旅人をねんごろにせよ」と事ある度に口にし、別府温泉を世に知らしめた油屋熊八を思わせて、別府にこそふさわしい。

ただいま絶賛回診中

日南市 北村胃腸科眼科 きたむらまさお
(有床診療所)

「ミヤ子さん、こんにちはー」ウトウトしているところに声掛けすると、「まー、たまがったがー」と反応がある。「ミヤ子さんもたまがあるとな?」、「金玉はねーけどなー」今日は冴えてる! 昼間に限っては…。

ミヤさんはつい2週間ほど前、40度を超す高熱が続いて昏睡状態に陥り、冥界をぐるりと一回り旅行中のところ、抗生剤に襟首掴まれて帰ってきたばかりなのだ。昼間は白衣を着ている私を医師として認識してくれているようのだが、夜はいけない。ガサゴソ騒がしいので、ランニングシャツにボクサーパンツで薄暗い病室に電気も点けずに忍んでいくと、地獄で鬼か閻魔様に再会したとでも思ったのか「あんた誰な?」と気味悪そうに首を傾げる。暗闇に溶け込むような黒い顔を近づけ、ニタツと笑って「院長先生ですがな」と答えると、「ごちそうを作って供えてあるから、たーんと食べて行きないういよ」ときた。クゥー、やっぱり。閻魔様へのお供えか。何の御馳走を食わされるやら…。

長居は無用とシーツを掛けて出ようとする、と、「ごちそう」に反応したか向かいのベッドの恵美子婆さんが目を覚まし「なんか食いて〜」。おいおい、勘弁してくれよ、真夜中だぜ。おまけに妻も学会出張中だ。ん、待てよ。こんな時のために「おきよせんべい」が常備してあったっけ。さっそく自宅に取って返し(といっても階段を駆け上るだけだ)、くだんのせんべいを2〜3袋持ってきて手渡すと両手を合わせて拝み取り。

「おきよせんべい」は、城下町飴肥で百年前から手作りされてきた知る人ぞ知る高級銘菓だ。低カロリー、甘さ控えめ爺婆の味、サクッと口に入れると噛まずにとろける。夜食禁止などと

無粋なことは言わない。菌もないので虫菌の心配もない。当院の婆様方には絶大な人気だ。そんなこんなで、昼の部に続いて真夜中の回診も絶賛終了。おやすみ～

追記：妻への寄稿依頼でしたが、なんでも数年前から「宮崎県眼科医会男女共同参画担当理事」を仰せつかっており、この時期多忙のため、万事暇を持て余している不肖、私めが、ピンチヒッターをかってできました。毎度のお騒がせ、申し訳ありません。

思い出

延岡市 延岡クリニック まつ おか ふみ あき
松 岡 文 章

小学生の頃、仲の良い友達K君が近所にいた。一緒にボーイスカウトに入りキャンプしたり、夏休み中ほぼ毎日のように遊び、海に山に、公園でソフトボールをしたりと楽しんだ。中学に入学、クラスも一緒。乗馬同好会があると聞き2人で入部。部員は僕らを含め10人程度。初めはおっかなびっくりで馬に触るのもやっとだったが、おとなしい動物と判るとその背中に跨ぐのはすんなりできた。最初は人に引いてもらい歩行、その後独りで手綱を持ち歩行するが、馬は人を見て判断するのか、なかなかいうことを聞かない動物だということも判った。ほぼ週3回の割合で放課後乗馬クラブへ通った。K君はとても馬のことが好きになってきたようだった。10月も過ぎた頃、急に“K君が今度転校して騎手学校を目指す”と言ってき

た。ビックリ、もう将来のことを見据えているのかとも思い感心もした。“俺、馬が好きなんよ”と言った。中学3年になると顧問の先生が転勤し乗馬部は解散状態となった。部室に馬の系統図が貼ってあり、横にはその頃の活躍している競走馬のポスターが貼ってあった。系統図の意味は全く分かっていなかった。K君の実家が引っ越したこともあり、中学以来音沙汰がなかった。しかし昨年、突然SNSを通じて連絡がきた。またまたビックリ驚いた。“まっちゃん、僕のこと覚えてる？”が最初のフレーズ。“もちろん”と即答。そして、いろいろとメッセージを交わした。地方競馬の騎手を引退後、調教師となり今は何頭も管理していると。本当に馬が好きで今も携わってるんだと感心した。競馬は何が大事なの？と質問すると、即答で“馬は血統が大事”と答えてきた。あの頃部室で血統図を2人で眺めていた頃を思い出した。馬券を購入しレースを見るのが好きだ。今度会う約束をした。もう40数年会っていない。旧友に会える楽しみもそうだが、今後の競馬人生のためにも何か一つ聞いておこう！！



新理事

日向市 沼田皮膚科 堀之内 和 代

新理事

④ 皮膚科の
ほんとの話

カラスに笑われないよう頑張ります④

3度目の台北

高鍋町 大森内科医院 おお もり ふみ ひこ 大 森 史 彦

GWは4連休がとれたので台北に出かけた。

今回は3度目の台北訪問でめばしい観光地はすべて回っており、前回ツアーで慌ただしく回った故宮博物院をゆっくり見学するため朝から訪れた。ツアー客はまだ少なくイヤホンガイドを手に殷周時代の発掘物から清朝に至る宝物をじっくり堪能できた。北京から移動させる際かなりの量が散逸したと聞いているが、それでも教科書で目にするような貴重な品ばかりで驚きの連続であった。

行きの飛行機で、妻と和やかに英語で会話していたCAさんが、私の方を向いた途端流ちょうな中国語で話しかけてきた。わからないと言うと慌てて英語に切り替えてくれたが何故かなあという気分だった。華山1914文化創意産業園區で雑貨店を見ている時も店員さんに中国語で商品の説明を始められた(らしい)。この時は笑って通り過ぎただけ。次の日昼食の料理店へ行くため大通りを歩いていると、若くて背の高い女性がニコニコしながら話しかけてきた。やはり中国語だったが、またかと思い聞いているふりをしてやり過ごすといきなり何かを手渡された。反射的に受け取りまじまじ見ると一風堂ラーメンのクーポン券だった。どうも私の顔は純粹の中国人に見えるようで、しかも話しかけやすいようだ。極めつきは、帰りの飛行機を福岡で降りた時。機体を出た瞬間、搭乗ブリッジに待っていたスーツ姿の会社員風の男性2人に中国語でペラペラと話しかけられた。ここまで来ると妻はもう笑い転げるしかなかった。

過去にNHKの中国語講座を熱心に見ていたこともあるが、四声の区別がどうしても難しく何回挑戦しても挫折する。「草原に沈まぬ太陽が昇る」と題した歌曲が素晴らしかったのは今で

も覚えている。親切に中国語で話しかけられてもなかなか再挑戦しようという気にならないのは、やはり過去の挫折経験のせいだ。それに最近は実力派歌手が揃っているK-POPの方が魅力的で、韓国語をかじっている。でも60歳を過ぎると新しい外国語を覚えるのは無理だなあ。

スマートな生活を

宮崎市 やまもと胃腸内科 やまもと ゆういちろう 山 本 雄一郎

男の好きなものと言えば、カメラや時計、車やバイクとたくさんあって、いずれもそれなりに楽しんでいるが、すでに言い尽くされた感じもあるし、究めておられる先生方も多いので、今回は最近手に入れたスマートスピーカーについて話そうと思う。

スマートスピーカーとはアマゾンやグーグル、アップルやLINEと各社からラインナップがある。基本的には同じようなものなので、今回は自分の購入したアマゾンのものについて。

このスピーカーは「アレクサ」と呼びかけると反応する。「アレクサ、明日の天気を教えて」「アレクサ、ジャズをかけて」とかで現在地の明日の天気を教えてくれたり、「ジャズの名演20選をおかけします」とか言って曲を流してくれる。これが便利この上ない。もっとヘビーなユーザーになると部屋の明かりまでWi-Fiでつないで「アレクサ、明るさを30%にして」とか「アマゾンで乾電池を注文して」とかまでできる。これに慣れてしまうといけな。このスピーカーのないところでもつい「アレクサ…」と

くる。人間をダメにしてしまうとは言わないが、さすがにまずいんじゃないかと思ったりするが、スタートレックのようにそれが普通になる世界が目前かと思うとワクワクもする。

普段はちょっとオシャレなジャズとかポップスをかけているが、若い看護師がいなくなったから「アレクサ、80年代の邦楽をかけて」とか言うとか若いころの懐かしい楽曲で当時のことを思い出したり、遠い目になったりもする。

いろんな使い道があってまだまだ使いこなせているとは言えないが、話しかけると答えてくれるのはなにかとうれしい。「アレクサ、おはよう」(これで今日の歴史を教えてくれる)から始まって、「アレクサ、おやすみ」「おやすみなさい、いい夢を」で電源オフで終わる一日が寂しいかどうかは読者の判断に任せよう。

さりながら

延岡市 なが沼 弘三郎 ながぬま こうざぶろう

往時、修験者のめぐった英彦山の山道を、銅かねの鳥居とりいから奉幣殿を経て南岳、中岳、北岳と8時間かけてたどった。山を下ってほうけてしまいザックを道端の草叢せきに投げ出し、大の字で寝転び大空を見上げた。寂さびとして山は暮れなずみ、夕雲は紅く照り映え、一刻一刻と空に吸われる。うつらうつらと見入って、いろいろな想いふけに耽ふけった。と、ポツポツと雨滴が頬を打ち、覚めた。そうした時、無性に絵を描きたくなる。

これまで絵の展覧を重ねてきたが、はじめて全国日曜画家展で「評」をいただいた。

「山」

空間を飛び交うようなイメージの自由奔放さが素晴らしいと思いました。表現とは本来そういうものだと思うのです。将にこの方の「イメージそのもの」です。

P.クレエは「イメージとは、目を^{つぶ}瞑っても見えている世界なのです」と述べています。また少々専門的な話になってしまっていて恐縮ですが、プロの画家は「普通の人には見えない世界を見えるようにする使命があります」とも記している程です。

そして緻密な陶器のような画肌(マチエール)もユニークで魅力的。立派な「表現」です。

山の綾線と画面左側にある縦線がやや独立しすぎるかと思いました。2点ご出品で、選考の流れから「賞」は当作品になりましたが、私はもう一方、20号の「月下の竹田城」に特に惹かれるものを感じました。

「高山蝶」

作品に初めて出会ったのは一昨年でしたが、直ぐに思い出しました。一目で「あの方か」と思われるのは、それだけユニークであること、強いインパクトがあるわけです。その節に、私は「イメージというものは目を瞑ってもみえている世界」などと書いたことを思い出しました。あの時も20号の方が良かったと思いますが、今回もそうでした。

ユニークで濃密なイメージ世界です。工芸的とも言えるほどのマチエール(画肌)の特殊性は、私達の日常を超えた絵画ならではの空間をなし、そこにスタンドグラスのような蝶を幻飛ばせたのでした。蝶とその空間が不思議な昂揚感を醸し出しているのです。

素人の絵をしっかりととらえてもらい、その「オマージュ」にほっこりさせられた。いつも自分に問うているが、なぜに絵を描きたいのか。

誰が作品を見ようが見まいが関係はないし、虚栄心でも、何のためでもない。しかし何か例えようのないものが先に見える。いわば“露の世は 露の世ながら さりながら”(一茶) …のころもちに似ているのかもしれない。75歳の今、医者として何も足跡は残せないが、またぞろ絵の1点を…と思っている。

クライアントとして AIにどう向き合うか

宮崎市 宮崎県健康づくり協会 江^え 藤^{とう} 胤^{たね} 尚^{なお}

AI(人工知能)とは何だろう。「ヒトの脳が電気回路を介する電気現象なら、コンピュータ(CP)・プログラムで人間の思考が再現されるのではないか」、これが出発点となるようだ。ある専門家は、知能の原理を見つけ、それをCPで実現することをAIの定義としている。もしそうなら、ヒトの精神活動の全貌が科学的に解明されていない現在、AIの有用性も極めて限定的ということになる。

AIに関する身近な話題として掃除ロボット、金融市場の高速トレード、将棋のPONANZAなどが思い浮かぶ。日常診療では、心電図や血液化学検査の自動診断・判定などが私の身近なAIである。電子カルテや健診の自動判定などにもAIの活用がある。これら情報処理システムの支援なしには診療が進まないのも確かである。一方、システム開発に多額の費用を要する点で、AI利用に前向きになれない経験をもした。だが、昨年日本内科学会の特別講演で

「東ロブ君」研究をリードする新井紀子氏に「10年後にAIが医師の代わりをするようになるか」と問われた時、AIに無関心過ぎたと実感した。

現在、第3次AIブームを迎えている。大量の電子データが使用可能となり、パターン認識、検索エンジン、ニューラルネットワークなどの開発が進み、ディープ・ラーニングによる機械学習が大幅に進展しつつある。その結果、AIが入力データから概念(情報量)を自力で抽出できるレベルに到達している。遂には、AIが自己開発の連鎖反応を起こし、独走して制御不能となるシンギュラリティの問題が議論される事態となっている。

対人コミュニケーションのAI化は極めて困難とされ、医療関連の職業は20年後も生き残るそうだ。他方、医療分野でも画像診断はAI化に適するので、遠からず実用化されると予測されている。ただ、AIによる診断の適否を評価するのは医師であり、同時に最終責任を負っている。従って、AIが医師に完全に代わることはあり得ない。そこで、AIの特性を医療にいかにか活かすが重要な課題となる。

我々の日常診療に導入される前に、AIに関連した倫理的、法的、社会的諸問題や開発に関する国際競争など、諸々の問題に対する国家的取組みが喫緊の課題となっている。日医から「AIと医療」に関する報告書が先日発表された。AIに向き合う上で時宜を得た良い参考資料と考える。皆さんにもご一読をお勧めしたい。(参考資料：新井紀子、「ロボットは東大に入れるか」。松尾豊、「人工知能は人間を超えるか」。「日医君」だより 新着No42,「第9次学術推進会議報告書；人工知能(AI)と医療」)

名セリフ

宮崎市 下村産婦人科医院 しも むら なお や 下 村 直 也

4年に1度のFIFAワールドカップが開催されています。1993年(平成5年)10月28日のドーハの悲劇からもう25年が経ちました。今では、ワールドカップに出場するのが当たり前になっています。日本対コロンビア戦で見事決勝点を決めた大迫選手の代名詞です。

“大迫半端ないって”

第87回全国高校サッカー選手権大会準々決勝の鹿児島城西VS滝川第二の試合後のロッカールームで、この試合で2-6の大敗を喫した滝川第二のキャプテンが涙を流しながら、「大迫半端ないって、アイツ半端ないって、後ろ向きのボールめっちゃトラップするもん。そんなできひんやん、普通」と叫んだことが放送されたことで、一気にサッカーファンの間では名セリフとなったのが発端です。動画を見ましたが、嫌味のないさわやかな印象で、この言葉が人気となった理由がよくわかりました。

ワールドカップになると、三浦知良が日本代表に外れたときの、「外れるのはカズ、三浦カズ」と岡田監督の言葉を思い出します。カズがワールドカップのピッチに立つ姿を見たかったです。

サッカーとは離れますが、芸人の水道橋博士のブログに書いてあった、関根勤さんの言葉を紹介したいと思います。

芸人なのに女性スキャンダルが皆無、関根勤さんに、家庭円満の秘訣を聞いたときの答えです。

「自分の娘が生まれた時、どれほど子どもを尊いと思ったかわからない。でも同時にそれを産んでくれたカミさん、そして、そのカミさんを産んでくれたカミさんの両親に感謝した。自分が初めて生まれた子どもに寄せる無償の愛情と同じく、カミさんの両親も、カミさんの誕生

を同じ思いで見たのだろう。どれほど、この子が人生に嘆くことなく、幸せに育って欲しいと願ったことか。その両親に『幸せにします』と誓ったのだから、それを思うと決してカミさんを泣かすようなことはできない」。

子どもへの愛情はもちろん、忘れがちですが、カミさん、カミさんの親、自分の親への感謝の気持ちを忘れないようにしないと いけません。

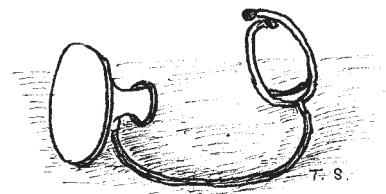
その手の話

日向市 今給黎医院 いまきいれ 今給黎 さとる 承

先日ある総合病院を退院してきた患者さんが受診した。問診していつもどおり触診・聴診を終えると、「先生、久しぶりに医者や看護婦さんに素手で触ってもらった。今は大病院では触ったりしなくても何でも判る機械があるんですね。感心しましたわ」と言われて哑然とした。確かに院内感染は医療従事者の手を介して拡大するので、接触は最小限にするべきかもしれないが…。夏になり看護学校の講義(循環障害)を担当する時期になった。いつも最初に「患者さんが急に手足を痛がり出したら、まず目で見て、手で触りなさい。赤くて熱かったら炎症、青白くて冷たかったら循環障害です」と話すのだが変える必要があるかもしれない。

今から約50年ほど前、私が小学校高学年の頃だったと思う。家族で両親の郷里である枕崎市に正月里帰りした時だった。多くの従弟たちが居て興奮した自分が叔父さん宅の周囲を走り回ってガラス瓶を踏んで怪我をしてしまった。

出血は軽かったがガラス片が傷口に食い込んでしまい、洗ってもなかなか取れなかった。医師であった父が焼酎(薩摩白波であったと思う)を傷口に吹きかけ、煮沸消毒した図工用のピンセットで泥やガラス片を除去し処置をしてくれた。その時左利きであった父は右手でしっかり自分の足首を握ってくれていたが、その温もりは今も忘れない。痛くて泣くのを必死で我慢していた自分をほめてくれているように感じ、そして父が医師であることを誇らしく思った瞬間だった。痛みのコントロールが困難なときに、家族が手でさするとあっという間に緩和することはよく経験する。「手をかける」「手心を加える」「手厚い」などと「手」で始まる言葉は数知れないが、昔から手は温度だけではなく、いろんなものを伝えてきたのだろう。やっぱり明日からも素手で触診しよう。そのためにもしっかり手洗いをしよう。



表彰・祝賀

警察部外功労者表彰(警察協力章)

おお にし ゆう じ
大 西 雄 二 先生(宮 崎)

平成30年7月5日、警察協力章が授与されました。

衷心より祝意を表しますと共に、今後ますますのご活躍を祈念いたします。



大西 先生



エコー・リレー

(516回)

(南から北へ北から南へ)

至福の時

串間市 宮崎大学医学部
附属病院くぶ き かん
久富木 冠

現在、串間で研修している私にこの話が届いたのは、原稿提出後4日後。改めて串間との距離を感じさせられた(期限に遅れてしまい、申し訳ありませんでした)。

月曜日の早朝、そんな串間に向けて車を走らせる生活が始まり2か月が経とうとしている。初めは憂鬱だったこの時間が、徐々に至福の時に感じられてきたことには訳がある。

私を指名していただいた先月の執筆者、石田先生とは知り合ってまだ1年の間柄だ。サーフィンに熱が入りだした去年の7月、木崎浜でセッションして以来、毎朝(正確には多くても週に4日ほどだが)一緒に海に入らせていただくようになった。

そんな彼の影響で始めたのがウクレレだった。はじめは陸サーファーのアイテムというイメージが強く、全然乗り気ではなかったが、マイウクレレを持つとそんなことはすぐに忘れてしまった。

その頃には海に入る仲間も増え、ウクレレバンドなるものはすぐに結成された。

はじめは簡単な曲をカバーしては、集まった時に演奏する程度のものだったが、同期の上野先生が作詞作曲を手がけて、ついに初のレコーディング曲が7月に完成した。

曲の仕上がりは、素人の私には分かりかねるが、すっかり月曜の朝のテーマソングになってしまった。

みんなで録った曲をかけ、日南海岸のポイントをチェックしながら、串間へと向かう。なんと至福な時だろう。

研修が終わり、医師として忙しくなったとしても、続けていきたいものである。



[次回は、宮崎市の古郷 博紀先生をお願いします]

還暦を迎えて

日南市 おび中央病院 は だね とし ひこ
波 種 年 彦

今年私は還暦を迎えた。

還暦と聞くと私が若い頃は相当の年配者で人生の大先輩という印象があったものだが、いざ自分がその年になってみて戸惑いの方が強く、自分が相当の年配者とも思えないし(周囲の印象はまた違うのであろうが)、ましてや人生の大先輩という気持ちは更々ないのが本音である。

これまでとにかく目の前の患者さんを少しでも良くしたいとの思いで医療に従事してきたが、知らず知らず時に流されてきたようにも思える。

そこで還暦を機に、今後どんな仕事をしたいかを改めて自分に問いかけてみたが、これが優柔不断の性格が災いしてか中々まとまらない。そんな時よく頭に浮かぶのは医師になりたての頃の師匠の言葉である。当時師匠である故古賀保範教授は常々「患者さんは助けを求めて病院に来ている、まずは診てあげなさい。そして君ができることをしてあげなさい」と仰っていた。この言葉は今でも私の医師としての原点である。また亡き母の最期の数年を見ていて、治療と合わせて高齢者の生活環境作りが患者さんのためになるとも考え、思い切って自ら職場探しをして今に至っている。

現在の医療制度では、ややもすれば患者さん側ではなくシステムありきになりがちと感じる。時にはその制度に抗いつつ、常に患者さん側に立ち、少しでも患者さんにとってより良い環境作りをするべく自分なりにもがいていきたいと思う。

そして時には仲の良い仲間とゴルフをしたり家族旅行(あくまでも我が妻が望めばであるが)でもできれば私の人生は良しとしたいと考えている。

[次回は、国富町の長濱 博幸先生をお願いします]

メディアの目



鉄路の行方

読売新聞社 宮崎支局長

さ さ き ひろ と
佐々木 浩 人

J R九州が乗客減を理由に減便した吉都線と日南線の利用促進を図ろうと、宮崎県が設置した「みやざき地域鉄道応援団」。6月26日に宮崎市内で開かれた第1回会議では、出席者から厳しい意見が相次いだ。

インバウンド(訪日外国人)事業に携わる会社の代表者は「駅の多言語表記に問題がある」と指摘。日南線の飢肥駅に日本語での案内しかなく、オーストラリア人が混乱して助けを求めてきた経験を紹介し、「海外から来る人へのホスピタリティーを急ピッチで進めないと、呼び込めない」と訴えた。

鹿児島県志布志市から出席した元国鉄職員の男性は「かつて赤字ローカル線が廃止される前、縁起のいい駅名の切符を売ったり日帰り旅行を呼びかけたりして増収を図ったが、存続にはつながらなかった」と報告。他にも「普段利用する高校生と一緒に利用増の取組みが必要ではないか」などの声が出た。

1日1キロ当たりの「平均通過人員」という指標がある。国鉄の分割民営化に伴ってJ R九州が発足した1987年度、吉都線が1,518人、日南線が1,423人だった。2017年度にはそれぞれ474

人、774人に落ち込んでいる。同社ワースト1、3位という。

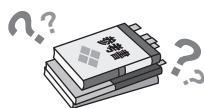
もともと1980年に成立した国鉄再建法に基づく、平均通過人員4,000人未満の路線は廃止対象とされていた。ところが、吉都線は平均乗車キロが長いなどの理由で、日南線はバス転換のためには代替道路が未整備だとして、廃止を免れた経緯がある。

J Rの発足時から鉄道としての経営存続に懸念があり、沿線の人口減少や、株式を上場したJ R九州が鉄道事業の収支改善を加速させたことで、いよいよ懸念が顕在化したと言えるだろう。

沿線自治体も手をこまねいていたわけではない。「イベント列車の運行を続けている」「沿線のパワースポット巡りや、エコツーリズムツアーを企画している」といった活動が紹介された。

島根県在住のローカルジャーナリストは会議で、多くの駅を住民が管理する同県の本次線の例などを紹介。事業者、行政、住民の3者が手を組む必要性を強調した。

今後、地域が一丸となって鉄路を愛し、守っていく機運を高めることができるかどうか、路線維持の鍵を握ることになりそうだ。



あなたできますか？

—平成29年度 医師国家試験問題より—

(解答は45ページ)

1. 78歳の男性。4日前に肺癌のため右上葉切除術およびリンパ節郭清術を受けて入院中である。術後経過は順調だが、胸腔ドレーンはわずかな空気漏れがあり排液はやや血性のため留置している。昨日からせん妄症状がみられている。本日午後9時に患者は就寝していたが、2時間後には覚醒しており胸腔ドレーンが抜けていた。呼吸音に変化はみられず、直ちに胸部エックス線撮影を行ったが、日中に撮影した画像と比較して変化はみられない。SpO₂99% (鼻カニューラ2L/分 酸素投与下)であり、胸腔ドレーン抜去前と比較して低下はみられない。

行うべき処置はどれか。

- a 右胸腔穿刺を行う。
- b ドレーン刺入部を縫合する。
- c 気管挿管下に人工呼吸管理を開始する。
- d 抜けた胸腔ドレーンを刺入部から再挿入する。
- e 鼻カニューラをマスクに交換し8L/分で酸素を投与する。

2. 69歳の男性。全身倦怠感と食欲不振とを主訴に来院した。2年前に進行胃癌のため胃全摘術を受けた。その後受診をしなかったが、3か月前から倦怠感を自覚し、最近食欲不振が増強して食事摂取量が平常時の1/3以下となったため、不安になり受診した。身長170cm、体重45kg。体温36.2℃。脈拍80/分、整。血圧130/70mmHg。呼吸数14/分。胸部エックス線写真で多発肺転移を認め、腹部CT及び超音波検査で多発肝転移と軽度の腹水貯留とを認めた。悪心、嘔吐、呼吸困難および疼痛を認めず、患者と家族は在宅医療を希望している。

今後の方針として適切なのはどれか。

- a 外科的切除
- b 抗癌化学療法
- c 在宅酸素療法
- d 在宅静脈栄養
- e ホスピス入院

3. 25歳の男性。激しい頭痛のために救急車で搬入された。3年前から短時間の動悸を1日2、3回自覚するようになった。半年前、健診で血圧高値を指摘され、その頃から動悸が頻回に出現するようになり、頭痛、前胸部痛および手指の蒼白を伴うようになった。今朝から激しい頭痛があったため救急車を要請した。既往歴に特記すべきことはない。喫煙歴はなく、飲酒は機会飲酒。家族歴として母親に甲状腺髄様癌の罹患歴がある。身長174cm、体重52kg。体温37.5℃。心拍数120/分、整。血圧240/124mmHg。四肢の冷感を認める。項部硬直やjolt accentuationを

認めない。腹部超音波検査で左側腹部に径12cmの腫瘤影を認める。心エコー検査と頭部CTに異常を認めない。高血圧緊急症を疑い、カルシウム拮抗薬の点滴静注を行ったが、その後も頭痛と収縮期血圧が200mmHg以上の高血圧および頻脈が持続している。

この時点の対応として正しいのはどれか。

- a 経過観察
- b α 遮断薬投与
- c β 遮断薬投与
- d アンジオテンシンⅡ受容体拮抗薬投与
- e 非ステロイド性抗炎症薬(NSAIDs)投与

4. 65歳の男性。スクーターで走行中に対向車と正面衝突して受傷したため救急車で搬入された。腹部から腰部の痛みを訴えている。意識はほぼ清明。体温35.8℃。心拍数140/分、整。血圧80/50mmHg。呼吸数24/分。SpO₂100% (リザーバー付マスク10L/分酸素投与下)。頸静脈の怒張を認めない。迅速簡易超音波検査(FAST)で異常所見を認めなかった。

ショックの原因として最も考えられるのはどれか。

- a 大量血胸
- b 緊張性気胸
- c 心タンポナーデ
- d 大量腹腔内出血
- e 大量後腹膜出血

5. 成人の心肺蘇生における胸骨圧迫について適切なのはどれか。

- a 胸骨の上半分を押す。
- b 100～120/分の速さで押す。
- c 胸壁が3cm程度沈む強さで押す。
- d 胸骨圧迫と人工呼吸は30対1で行う。
- e 患者の下肢を挙上した体位で実施する。

6. 原発巣切除後に再発した転移性肝腫瘍について、最も良好な予後が期待できるのはどれか。

- a 食道癌
- b 胃癌
- c 胆嚢癌
- d 睪癌
- e 大腸癌

7. 完全房室ブロックを合併しやすいのはどれか。
2つ選べ。

- a WPW症候群
- b 肥大型心筋症
- c 大動脈弁狭窄症
- d 急性心筋梗塞(下壁)
- e 心サルコイドーシス

医師の求人・求職は 日本医師会 女性医師バンク をご利用ください！

日本医師会女性医師バンクは厚生労働省の委託事業です。
登録から紹介・成立まで、費用はすべて無料で利用できます。



女性医師バンクが選ばれる3つのポイント

ポイント

1

登録～成立まで費用はすべて無料

登録料、情報掲載料、紹介手数料、成立手数料、相談・サポートなど、
すべて無料でご利用いただけます。

ポイント

2

専任のコーディネーターによるサポート体制

経験豊富な専任のコーディネーターが、紹介～成立後の相談まで
きめ細かにサポートいたします。

ポイント

3

日本全国、日本医師会の会員・非会員を問わず利用が可能

まずはお気軽にご相談ください！

☎03-3942-6512 (平日10:00～17:00)

詳しくはWebサイトをご覧ください

日本医師会女性医師バンク

検索

日本医師会女性医師バンク 中央センター 〒113-8621 東京都文京区本駒込2-28-16 日本医師会館B1F

宮崎県感染症発生動向 ～6月～

平成30年 6 月 4 日～平成30年 7 月 1 日 (第23週～第26週)

■全数報告の感染症

1 類：報告なし。

2 類：○結核13例(男性 7 例・女性 6 例)：保健所別報告数は【図 1】、病型別報告数は【表 1】、年齢別報告数は【表 2】のとおりである。

3 類：○腸管出血性大腸菌感染症 6 例：宮崎市(4 例)、都城、日向(各 1 例)保健所管内から報告があった。患者(HUS発症無し、4 例)、無症状病原体保有者(2 例)で、0～4 歳(1 例)、5～9 歳(1 例)、10歳代(2 例)、20歳代(1 例)、40歳代(1 例)である。主な症状として腹痛、水様性下痢がみられ、原因菌の O 血清型別報告数は【表 3】のとおりである。

4 類：○A 型肝炎 1 例：延岡保健所管内から報告があった。10歳代で、主な症状として全身倦怠感、発熱、食欲不振、黄疸、肝腫大等がみられた。A 型肝炎のワクチン接種歴、海外渡航歴は不明である。

○日本紅斑熱 3 例：宮崎市(2 例)、日南(1 例)保健所管内から報告があった。主な症状として発熱、刺し口、発疹、肝機能異常等がみられた。

5 類：○クロイツフェルト・ヤコブ病 1 例：都城保健所管内から報告があった。80歳代で、病型は古典型クロイツフェルト・ヤコブ病(CJD)で診断の確実度は疑いであり、主な症状として、進行性認知症、ミオクローヌス、錐体路症状、無動性無言状態、精神・知能障害等がみられた。

○播種性クリプトコックス症 1 例：宮崎市保健所管内から報告があった。80歳代で、主な症状として頭痛、意識障害、項部硬直、真菌血症がみられた。

○百日咳41例(男性18例・女性23例)：保健所別報告数は【図 2】、年齢別報告数は【表 4】のとおりである。主な症状として持続する咳、夜間の咳込み、呼吸苦、スタックアト等がみられた。百日咳のワクチン接種歴は有(31 例)、無(3 例)、不明(7 例)である。

■5類定点報告の感染症

定点からの患者報告総数は3,834人(定点あたり117.4)で、前月の82%と減少したが、例年比では118%と増加した。

前月に比べ増加した主な疾患は手足口病とヘルパンギーナで、減少した主な疾患は咽頭

表 1 結核 病型別報告数(例)

肺結核	5
その他の結核(結核性胸膜炎)	1
無症状病原体保有者	7

表 2 結核 年齢別報告数(例)

年齢	報告数
20歳代	3
30歳代	1
40歳代	1
50歳代	1
60歳代	1
70歳代	1
80歳代	3
90歳代	2

表 3 腸管出血性大腸菌感染症 O 血清型別報告数(例)

O26 (VT1産生)	1
O91 (VT1産生)	1
O145 (VT1産生)	1
O157 (VT1, VT2産生)	1
O 血清型不明(VT1産生)	2

表 4 百日咳 年齢別報告数(例)

年齢	報告数
0～4 歳	6
5～9 歳	12
10歳代	19
20歳代	1
40歳代	3

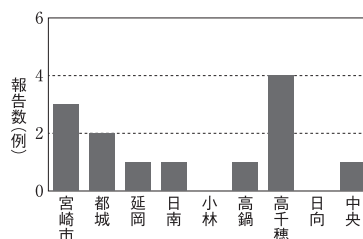


図 1 結核 保健所別報告数

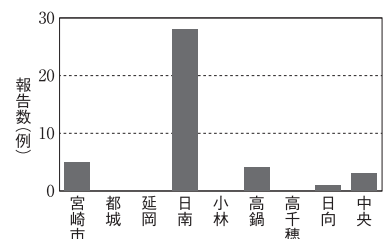


図 2 百日咳 保健所別報告数

70歳代(2 例)、80歳代(1 例)で、主

■病原体検出情報(微生物部)

	検出病原体	件
ウイルス	インフルエンザウイルス AH3	4
	エコーウイルス 18 型	1
	エンテロウイルス 71 型	7
	コクサッキーウイルス A16 型	1
	ライノウイルス	1
	ヒトコロナウイルス 229E	1
細菌	<i>Bordetella pertussis</i> (百日咳菌)	1
	EHEC (O26:H11 VT1)	1
	EHEC (O145:HNM VT1)	1
	<i>Salmonella</i> Paratyphi B (O4:b:1, 2)	1
	<i>Salmonella</i> Saintpaul (O4:e, h:1, 2)	1
	<i>Salmonella</i> 属菌 血清型不明(O8(O6):-)	1

結膜熱、感染性胃腸炎及び水痘である。また、例年同時期と比べて報告数の多かった主な疾患はRSウイルス感染症と手足口病である。

RSウイルス感染症の報告数は50人(1.4)で前月の約0.9倍、例年の約2.7倍である。日向、中央(各4.0)、延岡(2.5)保健所からの報告が多く、2歳以下がほぼ全体を占めている。

咽頭結膜熱の報告数は132人(3.8)で前月の約0.6倍、例年の約1.3倍である。日南(6.7)、高鍋(6.5)保健所からの報告が多く、6か月～2歳が全体の約7割を占めている。

手足口病の報告数は1,404人(40.1)で前月の約1.1倍、例年の約2.6倍である。日向(76.3)、日南(66.0)、延岡(60.5)保健所からの報告が多く、1～4歳が全体の約8割を占めている。

ヘルパンギーナの報告数は72人(2.1)で前月の約1.7倍、例年の約0.2倍である。延岡(5.8)、日南(4.0)保健所からの報告が多く、1～3歳が全体の約8割を占めている。

前月との比較

	2018年 6 月		2018年 5 月		例年との比較
	報告数 (人)	定点当 たり(人)	報告数 (人)	定点当 たり(人)	
インフルエンザ	74	1.3	158	2.7	
RSウイルス感染症	50	1.4	58	1.6	★
咽頭結膜熱	132	3.8	222	6.3	★
※溶レン菌咽頭炎	376	10.7	449	12.6	
感染性胃腸炎	1,301	37.2	1,999	56.2	
水痘	54	1.5	90	2.5	
手足口病	1,404	40.1	1,296	36.5	★
伝染性紅斑	5	0.1	4	0.1	
突発性発しん	155	4.4	156	4.4	
ヘルパンギーナ	72	2.1	42	1.2	
流行性耳下腺炎	148	4.2	180	5.0	
急性出血性結膜炎	0	0.0	0	0.0	
流行性角結膜炎	63	10.5	78	13.0	
細菌性髄膜炎	0	0.0	0	0.0	
無菌性髄膜炎	0	0.0	0	0.0	
マイコプラズマ肺炎	0	0.0	0	0.0	
クラミジア肺炎	0	0.0	0	0.0	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	0	0.0	4	0.6	

★例年同時期(過去3年の平均)より報告数が多い

※A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

■月報告対象疾患の発生動向 (2018年 6 月)

□性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は32人(2.5)で、前月比178%と増加した。また、昨年6月(3.1)の80%である。

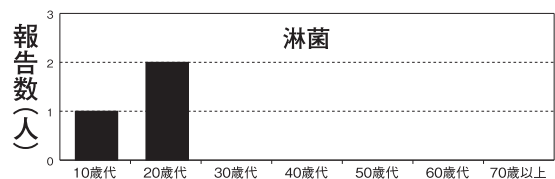
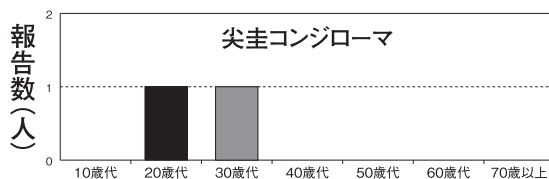
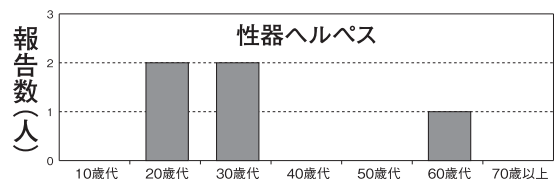
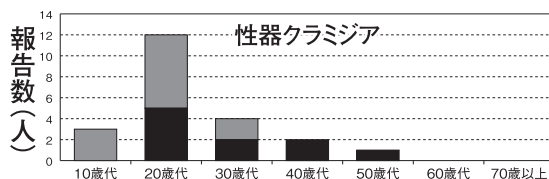
《疾患別》

○性器クラミジア感染症：報告数22人(1.7)で、前月の2.2倍、昨年6月の約0.9倍である。20歳代が全体の約半数を占めている。(男性10人・女性12人)

○性器ヘルペスウイルス感染症：報告数5人(0.38)で、前月の約1.3倍、昨年6月と同率である。(女性5人)

○尖圭コンジローマ：報告数2人(0.15)で、前月と同率、昨年6月の2倍である。(男性1人・女性1人)

○淋菌感染症：報告数3人(0.23)で、前月の1.5倍、昨年6月の約0.3倍である。(男性3人)



■ 男 ■ 女

□薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は17人(2.4)で、前月比100%と同率だった。また、昨年6月(3.0)の81%である。

《疾患別》

○メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数17人(2.4)で、前月と同率、昨年6月の約0.9倍である。70歳以上が全体の約7割を占めている。

○ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告なし。

○薬剤耐性緑膿菌感染症：報告なし。

(宮崎県衛生環境研究所)

各 郡 市 医 師 会 役 員 等 名 簿

紙面の都合により、会長、副会長、理事、監事、議長、副議長のみ掲載します。

宮 崎 市 郡 医 師 会

(2018年 6 月23日定時総会終結後～

2020年 6 月定時総会終結時)

会 長	川 名 隆 司
副 会 長	濟 陽 英 道
〃	山 村 善 教
〃	高 村 一 志
理 事	菊 池 郁 夫
〃	原 田 雄 一
〃	尾 田 朋 樹
〃	市 来 能 成
〃	牛 谷 義 秀
〃	神 尊 敏 彦
〃	田 中 宏 幸
〃	首 藤 謙 二
〃	弘 野 修 一
〃	玉 置 昇
〃	白 尾 一 定
監 事	中 山 健
〃	桑 原 正 知
〃	楠 元 直
議 長	谷 村 俊 次
副 議 長	丸 田 眞 一

都 城 市 北 諸 県 郡 医 師 会

(2018年 5 月30日定時社員総会終結後～

2020年 5 月定時社員総会終結時)

会 長	田 口 利 文
副 会 長	楠 原 進 一 郎
〃	長 倉 穂 積
〃	伊 達 晴 彦

総務理事
理 事

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

監 事

〃

〃

議 長

副 議 長

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

理 事

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

久保田 秀 紀

瀬ノ口 洋 史

大 橋 剛

濱 田 圭 一

義 川 剛 太 郎

高 城 健 司

隅 清 克

永 吉 義 治

丸 山 浩 一

森 山 拓 造

福 島 義 隆

江 夏 剛

坂 元 一 久

山 内 良 澄

木 村 健

三 浦 まり子

田 中 穰 式

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

理 事 市 原 久 史

監 事 岡 村 公 子

〃 井 手 稔

〃 高 尾 雄 平

議 長 木 下 義 美

副 議 長 川 名 修 徳

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

日 向 市 東 臼 杵 郡 医 師 会

(2018年 6 月 9 日定時総会終結後～

2020年 6 月定時総会終結時)

会 長	千代反田 晋
副 会 長	今給黎 承
〃	松 岡 敬 子
理 事	三 股 俊 夫
〃	金 丸 吉 昌
〃	尾 崎 峯 生
〃	田 代 慎 二 郎
〃	家 村 文 夫
〃	堀之内 和 代
〃	堀 徹 也
〃	吉 森 建 一
〃	中 村 剛 之
監 事	渡 邊 康 久
〃	古 賀 正 広
議 長	大久保 史 明
副 議 長	和 田 徹 也

延 岡 市 医 師 会

(2018年 6 月28日定時総会終結時～

2020年6月定時総会終結時)

会 長	吉 田 建 世
副 会 長	佐 藤 信 博
〃	平 野 雅 弘
理 事	赤 須 郁 太 郎
〃	山 口 哲 朗
〃	高 橋 博 和
〃	今 田 真 一
〃	金 井 一 男
〃	榎 本 雄 介
〃	丸 山 洋 一 郎
〃	大 重 明 広

児 湯 医 師 会

(2018年 6 月21日定時総会終結後～

2020年 6 月定時総会終結時)

会 長	永 友 和 之
副 会 長	蟻 塚 高 生
理 事	大 森 史 彦
〃	黒 木 宗 俊
〃	坂 田 師 隣
〃	米 澤 勤
〃	高 山 修 二
〃	糸 井 仁
〃	永 友 淳 司
〃	山 口 政 一 朗
〃	野 津 手 大 輔
〃	押 川 克 久
〃	永 友 研 一
〃	谷 畠 満
監 事	崎 濱 國 治
〃	内 田 俊 浩
議 長	高 橋 政 見
副 議 長	茂 木 晃

西都市西児湯医師会

(2018年 6 月25日定時総会終結後～

2020年 6 月定時総会終結時)

会 長	松 本 英 裕
副 会 長	大 塚 康 二 朗
〃	黒 木 重 晶
〃	鶴 田 明 土
理 事	上 野 尚 美
〃	上 山 裕 史
〃	片 山 陽 平
〃	水 田 能 久
監 事	相 澤 潔
〃	兒 玉 健 二

議 長 大 塚 和 子
副 議 長 河 野 立

南 那 珂 医 師 会

(2018年 6 月 1 日定例総会終結後～

2020年 6 月定例総会終結時)

会 長	中 村 彰 伸
副 会 長	河 野 秀 一
〃	内 村 利 博
理 事	藤 浦 芳 丈
〃	川 西 昭 人
〃	黒 木 和 男
〃	竹 中 晃 司
〃	江 良 幸 三
〃	峰 松 俊 夫
〃	木 佐 貫 篤
〃	戸 倉 健
〃	岡 村 武 志
〃	大 井 康 夫
監 事	津 曲 俊 郎
〃	満 留 武 宣
議 長	百 瀬 文 教
副 議 長	井 手 秀 幸

西 諸 医 師 会

(2018年 6 月22日第 7 回定時総会終結後～

2020年 6 月第 9 回定時総会終結時)

会 長	内 村 大 介
副 会 長	園 田 定 彦
〃	花 田 武 浩
理 事	吉 村 雄 樹
〃	莫 根 隆 一
〃	坪 内 斉 志
〃	井 尻 裕 司
〃	河 内 謙 介

理 事 堀 英 昭
〃 石 澤 宗 純
〃 竹之内 剛
〃 寺 谷 威
監 事 高 崎 直 哉
〃 丹 光 明
議 長 志 戸 本 宗 徳
副 議 長 楨 健 一 郎

西 臼 杵 郡 医 師 会

(2018年 6 月 1 日定例総会終結後～

2020年 5 月31日定例総会終結時)

会 長	佐 藤 元 二 郎
副 会 長	植 松 昌 俊
理 事	久 米 修 一
〃	白 石 達 史
〃	田 上 恒 雄
監 事	興 梶 知 子
議 長	古 賀 志 朗

宮崎大学医学部医師会

(2018年 6 月 1 日～

2020年 6 月教授会まで)

会 長	鮫 島 浩
副 会 長	中 里 雅 光
理 事	帖 佐 悦 男
〃	荒 木 早 苗
〃	東 野 哲 也
監 事	直 井 信 久
〃	竹 島 秀 雄

各都市医師会だより**宮 崎 市 郡 医 師 会**会 長 かわ川 な名 たか隆 し司

6月23日の宮崎市郡医師会定時総会後の理事会において、会長以下の役職が承認され4期目がスタートしました。

宮崎西インターチェンジ北東の宮崎市防災支援拠点に、本会諸施設(医師会病院・看護学校・検査センター・検診センター・事務局)を一体的に移設する建替整備事業は、将来構想・基本計画・基本設計・実施設計を経て、いよいよ10月から建設工事に着手します。今期の本会の目標は「工事が設計通りに滞りなく安全に施工されることを監理すること」であり、2020年夏のオープンを会員の皆様と共に見届けたいと思います。

宮崎東諸県医療圏の地域医療構想につきましては、昨年12月から本年3月にかけて、宮崎大学医学部附属病院、県立宮崎病院、宮崎東病院、江南病院、古賀総合病院、医師会病院の公的医療機関等2025プラン、市立田野病院の新公立病院改革プランが調整会議の場で了承されました。5月1日時点で、宮崎市郡には323床の地域包括ケア病床が誕生しており、病床機能の分化・連携が進みつつあると思っています。また、会員の先生には、将来のビジョン(2025年における自院の在るべき姿)をイメージし、その実現に向けて自主的に取り組んでいただくよう、調整会議に係る医療機関会議等をお願いを申し上げます。

地域医療構想の策定と同様、2025年問題に対するもう一つの重要な戦略は、地域包括ケアシステムの推進です。宮崎東諸県医療圏の2013年度の在宅医療の医療需要が4,518.5人/日に対し、2025年は6,794.1人/日に増加します。本会では、昨年4月に宮崎市郡在宅医会(牛谷義秀理事長)を立ち上げました。これ以後、多職種交流会やスキルアップ研修等を数多く開催し、在宅医の質と量の確保に努めています。

新しい医師会病院は、高速道路網やヘリポートを介して全県から重症の救急患者を受け入れ、また広域大規模災害時の災害拠点病院としての機能も有しています。この医療防災ゾーンの構築と在宅医療の充実が、本会が取り組むべき使命と認識しています。



宮崎市郡医師会新役員

役員等名簿 (任期 平成30年 6 月23日定時総会終結後～2020年 6 月定時総会終結時)

役職名	氏 名	診 療 科	所属医療機関	担 当 業 務
会 長	川名 隆司	外科, 消化器外科, 小児外科, 内科, 消化器内科, リハビリテーション科	川名クリニック	総括
副 会 長	済陽 英道	内科, 消化器科, アレルギー科, 外科, 整形外科, 肛門科, リハビリテーション科	わたよう外科胃腸科	看護専門学校, 地域保健Ⅰ(成人・介護), 地域医療Ⅰ(成人), 医事紛争, 庶務・在宅医・開業相談・労働保険・会報, 社保・国保, 会員福祉・共済・互助会・慶弔, 労務
〃	山村 善教	内科, 神経内科, リハビリテーション科	山村内科	検診センター, 検査センター, 地域包括支援センター, 産業医, 医師連盟, 医師会病院, 地域医療Ⅲ(救急・災害), 夜間急病センター(内科・外科), 審査基準公開
〃	高村 一志	小児科	たかむら小児クリニック	学校保健, 地域保健Ⅱ(母子・小児)・地域医療Ⅱ(小児), 勤務医, 新臨床研修医制度・医師確保, 学術・健康教育・生涯教育, しののめ, 会員広報・情報システム, 夜間急病センター(小児科), 会計, 県医師会(常任理事)
理 事	菊池 郁夫	内科	県立宮崎病院	勤務医, 新臨床研修医制度・医師確保, 学術・健康教育・生涯教育, 地域保健Ⅱ(母子・小児), 地域医療Ⅱ(小児)
〃	原田 雄一	内科, 循環器内科	原田内科クリニック	検診センター, 地域包括支援センター, 地域保健Ⅰ(成人・介護), 地域医療Ⅰ(成人), しののめ, 会員広報・情報システム
〃	尾田 朋樹	整形外科, リウマチ科, リハビリテーション科	尾田整形外科医院	医師連盟, 会員広報・情報システム, 医事紛争, 医師会病院, 地域医療Ⅲ(救急・災害)
〃	市来 能成	内科, 循環器内科, 消化器内科	市来内科・外科医院	庶務・在宅医・開業相談・労働保険・会報, 医師会病院, 地域医療Ⅲ(救急・災害), 医師連盟
〃	牛谷 義秀	外科, 内科, 消化器内科, 消化器外科, 肛門外科, 整形外科, リハビリテーション科, 放射線科	クリニックうしたに	地域保健Ⅰ(成人・介護)・地域医療Ⅰ(成人), 地域包括支援センター, 新臨床研修医制度・医師確保
〃	神尊 敏彦	産婦人科	神尊産婦人科	医事紛争, 労務, 地域保健Ⅱ(母子・小児), 地域医療Ⅱ(小児), 会員福祉・共済・慶弔, 会計
〃	田中 宏幸	内科, 呼吸器内科, 消化器内科, 循環器内科, 小児科	神宮医院	社保・国保, 夜間急病センター(内科・外科), しののめ, 検査センター, 産業医
〃	首藤 謙二	精神科	西都病院	会員福祉・共済・慶弔, 産業医, 労務, 勤務医
〃	弘野 修一	内科, 消化器内科	ひろの内科クリニック	看護専門学校, 検査センター, 審査基準公開, 学校保健
〃	玉置 昇	内科	たまきクリニック	学校保健, 会計, 庶務・在宅医・開業相談・労働保険・会報, 検診センター, 学術・健康教育・生涯教育, 夜間急病センター(小児科)
〃	白尾 一定	外科, 消化器外科, 乳腺外科, 呼吸器外科, 気管食道外科	宮崎江南病院	看護専門学校, 審査基準公開, 社保・国保, 夜間急病センター(内科・外科)
監 事	中山 健	泌尿器科, 皮膚科, アレルギー科	中山医院	
〃	桑原 正知	循環器内科, 外科, 心臓血管外科	くわばら医院	
〃	楠元 直	胃腸科, 内科, 放射線科	楠元内科胃腸科医院	
議 長	谷村 俊次	整形外科, リハビリテーション科	谷村整形外科医院	
副 議 長	丸田 眞一	胃腸科, 外科, 内科, 整形外科, リハビリテーション科, 肛門科	丸田医院	
顧 問	綾部 隆夫	内科, 循環器内科	綾部医院	
〃	中村 典生	外科, 内科, 消化器内科, 肛門外科	加納中央医院	

各都市医師会だより

都城市北諸県郡医師会

会 長 田 口 利 文
 た ぐ と ふ
 ち ち し み

5月の社員総会により、会員の承認をいただき会長に就任いたしました。副会長に榎原進一郎先生、長倉穂積先生、伊達晴彦先生、総務理事に久保田秀紀先生に就任いただきました。平成としては最後の年度で、来年度には新しい元号がスタートします。医療を取り巻く環境はますます厳しい状況になっていくと考えられます。平成30年度の診療報酬改定の改定率は診療報酬本体部分が0.55%増(医科0.63%増)でありました。しかしながら、本体部分の600億円の診療報酬の引き上げは、国からすれば負担増ではありますが、マイナス改定でなくてよかったというのが素直な感想です。本年度から国保の財政基盤が県単位とされ、国民皆保険制度がいい方向にいったかの判断はこれからです。地域別診療報酬などという方向にいくことは許されません。改定の内容では地域包括ケアシステムの構築、質の高い在宅医療などが挙げられております。医師の高齢化と新入会の少ない当医師会でのこれらの実践は多くの課題があります。今後超高齢化社会では医療のニーズの増大は必須であり、我々もそれに備える必要があると考えます。

3施設は移転し3年が経過しました。医師会病院は会員および職員の協力で順調に運営できておりますが、医師の充足、診療科の増設など今後やらなければならないことも多くあります。先生方の更なるご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



都城市北諸県郡医師会新役員

役員等名簿(任期 平成30年 5月30日の定時社員総会終結後～2020年 5月の定時社員総会の終結時まで)

	役職名	氏 名	診療科	所属医療機関	担 当 業 務
*	会 長	田口 利文	循環器科・内科	田口循環器科・内科クリニック	会務総括, 全施設総括, 医師会病院総病院長(兼病院長), 渉外
*	副 会 長	桧原進一郎	皮膚科	ならはら皮膚科医院	会務総括補佐, 担当副会長(医師会病院・管理), 看護専門学校校長, 渉外
*	〃	長倉 穂積	内科・循環器科・内分泌代謝科	長倉医院	会務総括補佐, 健康サービスセンター所長, すこやか苑副施設長
*	〃	伊達 晴彦	循環器内科・内科	伊達クリニック	会務総括補佐, 担当副会長(医師会病院・診療), 夜間急病センター所長
*	総 務 理 事	久保田秀紀	眼科	くぼた眼科	総務, 労務管理, 医師連盟, 自賠責, 広報, 開業相談, 定款諸規程, 医事紛争
	理 事	瀬ノ口洋史	内科・消化器科	瀬ノ口醫院	訪問看護ステーション担当理事, 県医師会理事, 介護保険(主)
	〃	大橋 剛	内科・消化器科・リハビリテーション科	大橋クリニック	医療情報システム, 学術生涯教育(主), 健康教育(主), 保険診療(主)
	〃	濱田 圭一	外科・内科・消化器科	はまだクリニック	医師会病院担当理事, 医療保険, レセプト査定対策, 保険診療(副)
	〃	義川剛太郎	麻酔科・整形外科・内科	よしかわクリニック	訪問看護ステーション所長, 医師会病院副担当理事(緩和ケア), 総務(副), 介護保険(副), スポーツ医学
	〃	高城 健司	精神科・神経科・心療内科	たき心療内科クリニック	会計管理(総括), 勤務医部会, 介護保険(副), 医苑(主), 労務福祉, 地域医療マスタープラン, 健康教育(副), 学術生涯教育(副)
	〃	隅 清克	内科・消化器科・胃腸科	隅病院	病院部会, 産業医部会, 労災医部会, 地域産業保健センター
	〃	永吉 義治	眼科	永吉眼科医院	看護専門学校副校長(管理部長), 会員福祉, 苦情処理, 医苑(副)
*	〃	丸山 浩一	小児科	沖水こどもクリニック	学校保健・検診, 乳幼児保健, 学校医部会, 夜間急病センター副担当理事
*	〃	森山 拓造	脳神経外科	もりやま脳神経外科	夜間急病センター担当理事, 医師会病院副担当理事, 災害・感染症対策, 救急医療(主)
*	〃	福島 義隆	内科・消化器内科・小児科	ふくしまクリニック	すこやか苑担当理事, 夜間急病センター副担当理事, 救急医療(副), 福祉施設
*	〃	江夏 剛	整形外科・リウマチ科・リハビリテーション科	江夏整形外科クリニック	健康サービスセンター担当理事, 公衆衛生, 成人病検診, 救急医療(副)
	監 事	坂元 一久	胃腸科・内科	坂元医院	
	〃	山内 良澄	小児科	山内小児科医院	
*	〃	木村 健	内科・外科・小児科	原田医院	
*	議 長	三浦まり子	内科・小児科	共立医院	
*	副 議 長	田中 穰式	内科・胃腸科・小児科	久保原田中医院	

*は新任

宮崎大学医学部だより

感覚運動医学講座 皮膚科学分野



あまの まさひろ
天野 正宏 教授

初代井上勝平教授退任後、2代目瀬戸山充教授に続き、平成27年5月1日に3代目天野正宏教授が就任し4年目を迎えました。

現在、医局員は男性7名、女性13名、計20名で構成され、大学は天野正宏教授、助教として古結英樹(外来医長)、持田耕介(副病棟医長・副医局長兼務)、根本利恵子(医局長)、成田幸代(副外来医長)、西元順子(副外来医長)、久保環(病棟医長)、佐々木良子(教育医長)、金丸志保(育児休暇中)、財部愛葉が、医員として中山文子(臨床教授)、山岡亜由子、西川陽太郎、野上京子、長野愛実、黒木脩矢がおります。また基幹病院である県立延岡病院には井上知宏(医長)と江藤博文(副医長)、県立宮崎病院には堀川永子(医長)と後田優香(副医長)がそれぞれ出向しております。

当教室では開講当初から慢性ヒ素中毒患者の医学的調査・診療として、宮崎県の土呂久地区住民検診に参加してきましたが、この関連からアジア地域でのヒ素汚染状況調査にも同行し、過去には内モンゴル、バングラデシュ、ネパール、インドに教室から医師を派遣してきました。2015年8月～2018年7月の3年間、宮崎大学のプロジェクト「ミャンマー国ヒ素汚染地域における衛生保健の実施体制強化プロジェクト」(JICA草の根技術協力事業)に参加し、工学部が安全な飲料水供給を、医学部が住民の衛生保健の実施体制向上を担当しました。皮膚科では古結英樹と天野正宏がミャンマー国の住民皮膚検診を行いました。さらに宮崎県の地域医療に貢献すべく、医学部学生を帯同し皮膚科専

門医のいない県内地域に赴き、「皮膚病に関する講演会」と「住民に対する無料の皮膚病医療相談会」を行っています。今年は椎葉村で開催し、椎葉村国民健康保険病院スタッフの援助のもと、地域住民の方々にたいへん好評でした。今年度で9回目ですが、学生たちは地域医療を身近で感じることができるため、医学教育上も有益なものとなっています。今後も皮膚科医として地域はもちろん、アジアから世界に向けて発信し、貢献していきたいと考えています。

診療面では当教室は他大学と異なり、皮膚悪性腫瘍や熱傷・外傷などの外科的手術が必要な患者さんが多いことが特徴ですが、アレルギー性疾患、感染症、水疱症、膠原病などの患者さんも多く、宮崎県の皮膚科基幹病院としての役割も担っています。医学生や研修医にとって様々な皮膚科領域の疾患に接するチャンスがあり、将来、バランスのよい実力も兼ね備えた皮膚科専門医を目指すことができるため、教育面でも素晴らしい環境を提供していると自負しています。

今年度より新専門医制度が始まりましたが、宮崎県では宮崎大学病院を研修基幹病院として、研修連携病院は県北から県立延岡病院、千代田病院、古賀総合病院、県立宮崎病院が認定され、研修プログラムも充実しています。皮膚科専攻医は研修基幹病院を主とするコース、また連携病院を主とするコースなど専攻医の希望に沿った研修プログラムを選択することが可能であり、この5年間の研修プログラムで臨床力のある皮膚科専門医を育成することをお約束します。

最後に研究面では大学院生である持田耕介が腫瘍生化学教室と連携しATLLの皮膚浸潤のメカニズムを、また西川陽太郎が免疫学教室においてアトピー性皮膚炎の病態解明をそれぞれテーマに研究を続けています。

(医局長 ねもと り え こ 根本利恵子)

部会だより

勤務医部会

きくち いくお
菊池 郁夫 部会長

勤務医部会の発足は1977年ですので、今年で31年目になります。勤務医相互の連携，研修，福祉の向上，および親睦を図るとともに，地域医療および学術研究に協力することを目的に活動をしています。

2016年12月末時点の厚労省の医師・歯科医師・薬剤師調査を参考にしますと，宮崎県の医師数は2,754名でそのうち1,872名が勤務医でした。2018年現在1,836名が県医師会に入会されており，922名が勤務医部会に入会されています。組織率は49.3%になります。2016年度の組織率は45%前後でしたのでやや増えていることになります。C会員は初期研修医対象の会員ですが，会費無料ということもあり，ほぼ全員が医師会に入会されています。初期研修を修了後も引き続き医師会にとどまっていただけるよう願っています。

2017年度の勤務医部会の活動状況を報告します。

2017年度の活動状況：

- ①勤務医部会理事会（3回）
- ②全国医師会勤務医部会連絡協議会参加
- ③都道府県医師会勤務医担当理事連絡協議会
- ④勤務医部会総会（2017年 6 月30日）
- ⑤勤務医部会講演会（年 2 回）

前期講演会（2017年 6 月30日）

講演 I

「咬合機能回復」 山下 善弘 先生
（宮崎大学医学部感覚運動医学講座
顎顔面口腔外科学分野教授）

講演 II

「循環器勤務医夫妻の仕事と
子育ての両立へのチャレンジ」
竹中 洋幸 先生

（枚方公済病院 救急科）

後期講演会（2018年 3 月 2 日）

講演 I

「宮崎県の周産期医療における population-

based 研究と脳障害予防への取り組み」

児玉 由紀 先生
（宮崎大学医学部発達泌尿生殖医学講座
産婦人科学分野教授）

講演 II

「2025年の医療問題」

松田 晋哉 先生

（産業医科大学医学部公衆衛生学教授）

講演会は主に新任教授にお願いしています。それぞれの分野の最新情報や今後の教室運営や若手医師の教育に対する思いを拝聴することができました。また医学だけではなく，勤務医をとりまく課題（仕事をしながら子育てはどうするかあるいは今後の医療情勢の変化）も拝聴できました。

現在勤務医が直面する最も大きな問題は働き方についてです。2018年 6 月29日に参議院で働き方関連法案が可決され，残業規制に関して大企業においては2019年 4 月から施行されます。医師の働き方は特殊な要因があるとして，5年間猶予され2024年 4 月からの施行となります。この医師の働き方改革でもっとも影響をうけるのは勤務医です。問題になっている点を挙げますと，一つ目は労働と自己研鑽の切り分けの難しさです。どこまでが労働でどこからが自己研鑽なのかはグレーゾーンが大きく，どの医療機関も判断に苦慮していますが，全国統一基準は難しいようです。現実的には情報を集めながら，自分の施設に適した基準を作成することになるかと思います。次に宿日直許可基準への対応です。軽微な対応ですむ宿日直であれば問題ありませんが，日勤帯と変わらないような労働をせざるを得ない状況があります。そうなると宿日直が勤務となり，交代制でないと対応できなくなります。大部分の医療機関はスタッフが不足しているので対応は困難です。そのほか応召義務の問題もあります。解決困難な問題ばかりですが，勤務医部会としても注意深くフォローして，情報を勤務医の皆さんと共有し，医師会を通じて問題を解決の方向にもっていければと考えています。

第167回宮崎県医師会臨時代議員会(概要)

と き 平成30年 5 月22日(火)

ところ 県 医 師 会 館

1. 開 会

新しい代議員が選出され初めての代議員会となることから、本会定款施行細則第17条の規定により増田代議員(宮崎)が仮議長に選出され、代議員の定数及び出席代議員を確認した上で代議員会の成立を宣言した。

続いて、議事録署名人に栗林代議員(宮崎)と原田一道代議員(宮崎)を指名し、議長、副議長の選挙に入った。

2. 議長及び副議長選挙

増田仮議長が、選挙細則に定める手続きを行ったところ候補者が定数と同数のため、投票を行わずに挙手で決議することが提案され出席者全員(32名[議長除く])の賛成で決定した。続いて、議長及び副議長の選挙に入り、当選者を決定した後、議事進行を鮫島議長に交代した。

議長当選者 鮫島 浩 (宮大医)

副議長当選者 松本 英裕 (西 都)

3. 河野県医師会長挨拶

(要旨)はじめに今回の新燃岳、硫黄山の噴火の被害に遭われた県西部の先生方にお見舞いを申し上げる。

まず、理事の辞任について、5月1日から佐藤理事が宮崎県医師会代議員に、花田理事が予備代議員に選出されている。定款第15条第2項と18条第3項の規定により、代議員及び予備代議員は理事を兼ねることができないので、4月末日付けで「理事の辞任届」が提出され、受理していることをご報告する。

さて、私ども現執行部は、平成28年6月から2年間運営を担当させていただいた。その

間、地域医療構想や事故調問題、平成30年診療報酬及び介護報酬改定等、多くの懸案について、役職員総力を挙げて、また、時には先生方のお力をお借りしながら、何とか大過なく乗り切ってきた。

しかしながら積み残した問題も多く、医師不足対策、医師会立看護学校も含めた医療従事者の確保や諸税に関する問題、事業承継、医療計画並びに地域医療、医療介護総合確保基金、医師会の組織強化、厚生局の指導監査等々、多方面に渡り、数えきれない程多くある。

本日は、この後、報告事項と、次期執行部を選出いただく代議員会となっている。先ほど申したように、厳しい医療情勢や新専門医制度、医師の働き方改革への対応等、県医師会の業務が大幅に増えている。それらの事柄に対応するためには個々の力では限りがある。各郡市医師会との連携を更に強化して、全県一致オール宮崎で取り組む必要がある。本日はご協議の程よろしくをお願いしたい。

4. 報 告

1) 平成30年度宮崎県医師会事業計画について

富田副会長が、定款第61条及び同条第2項に基づき、3月13日の理事会で承認された事業計画の説明を行った。

(要旨)医療提供体制は「医療計画」と「地域包括ケアシステムの構築」の二本柱があり、我々はそれに協力する形で行動しているが、これを悪用しようという動きもある。そのようなことを踏まえ、今年度の重点項目の「地域医療の充実」の「郡市医師会との連携強化」の中に「地域医療構想調整会議へ

の関与」,「地域包括ケアシステム構築に向けた協力」を改めて掲げている。

具体的項目の「医師確保対策」は、これは一番重要なことだと考えている。研修医、専攻医共に良くない状況が続いているので、積極的に医師の確保に取り組んでいく。今、検討が進められている「医師の働きやすい環境の整備と働き方改革への対応」については、非常に大きな影響をもたらしかねない制度なので積極的に関与していく。

「在宅医療の充実」も引き続き取り組んでいくが、「小児在宅医療体制の構築」を新たに掲げている。

「救急医療体制整備及び関係機関との連携」の「救急医療体制存続のための支援」に関連して、特に各郡市医師会で取り組んでいる夜間の急病センターは、開業医の高齢化や医師不足等で危機的な状況ということは充分承知している。基本的に市町村の責務ではあるが、その範囲を超えているという認識で、新たに制定された第7次医療計画においても、市町村の立場も尊重しながら県も関与するということが記載されている。県医師会としてもしっかりと支援していきたい。また「大規模災害医療への対応及び対策の推進」についても引き続き対応していく。

その他、計画に書かれている項目に取り組んでいく。今後とも先生方のご指導とご協力をお願いして、簡単ではあるが報告とさせていただきます。

2) 平成30年度宮崎県医師会収支予算について

吉田常任理事が、定款第61条及び同条第2項に基づき、3月13日の理事会で承認された収支予算の説明を行った。

(要旨)平成30年度収支予算書は、経常収益計が前年度比2,176万1千円減の4億2,254万2千円、経常費用計が前年度比843

万9千円減の4億1,596万円で、当期経常増減額は658万円増の見込み。法人税・住民税及び事業税については、均等割税の納付分として10万円を計上しており、正味財産期末残高は131万4千円の増となる見込みである。

また、公益目的事業比率は71.1%で、収支相償とともに条件をクリアしている。

なお、平成30年度は、会館補修の事前調査結果から、緊急度の高い地下ポンプ交換やエレベーター等の設備交換、救急医療用人体シミュレータの購入、会員のデータ管理を行っている基幹システムを新たに更新する予定である。最後に、平成30年度において、収支に大きな影響を及ぼす借入れや重要な設備投資は予定していない。以上で説明を終わる。

5. 協 議

1) 次期理事定数について

立元常任理事から、次期理事の定数は、定款第32条により15名以上23名以内(会長、副会長、常任理事を含む)となっている。先に開催した理事会で検討した結果、郡市医師会との連携強化と業務量等も勘案して、理事数を会長1名、副会長2名を含め23名とする案を代議員会に提出したいとの説明が行われ、定款施行細則第11条第3項の規定に基づき審議の結果、賛成全員により次期理事数を23名とすることが決定した。

6. 役員選挙

投票方法について

鯨島議長から、選挙細則第11条及び13条第4項の規定に基づき、候補者名簿を配布し議場に掲示しているが、各選挙の候補者が定数と同数なので、選挙細則第20条第1項の規定に基づき、投票を行わずに挙手で決議することが提案され、全員の賛成(34名[議長除く])で「投票を行わず挙手で決議する」ことが決定

した。

複数の定員を選任する役職について

鮫島議長から、定数と候補者が同数であることから、複数の定員を選任する役職について一括して選任することが提案され、全員の賛成(34名[議長除く])で「複数定数は一括して選任する」ことが決定した。

選挙の順序と任期について

鮫島議長が、選挙細則第1条第1項の規定に基づき、会長候補者、副会長候補者、理事、監事、裁定委員、日本医師会代議員、同じく予備代議員の順に選任すること。

また、各役職の任期について、宮崎県医師会の役員及び裁定委員は、平成30年6月16日定例代議員会の終結の時から2年後の定例代議員会終結の時まで、日本医師会の代議員及び予備代議員は、平成30年6月23日から2年後の定例代議員会の前日までであることを確認して選挙に入った。

1) 会長候補者選挙(定数1名)

会長候補者当選者(理事を兼ねる)
河野 雅行(宮 崎)

2) 副会長候補者選挙(定数2名)

副会長候補者当選者(理事を兼ねる)
濱田 政雄(宮 崎)
山村 善教(宮 崎)

3) 理事選挙(定数20名)

理事当選者 帖佐 悦男(宮大医)
園田 定彦(西 諸)
瀬ノ口洋史(都 城)
金丸 吉昌(日 向)
赤須郁太郎(延 岡)
池井 義彦(西 諸)
高村 一志(宮 崎)
峰松 俊夫(南那珂)
米澤 勤(児 湯)
大塚康二郎(西 都)
立元 祐保(宮 崎)

吉田 建世(延 岡)
小牧 斎(宮 崎)
荒木 早苗(宮大医)
佐々木幸二(都 城)
石川 智信(宮 崎)
川野啓一郎(宮 崎)
佐々木 究(宮 崎)
岩村 威志(宮 崎)
嶋本 富博(宮 崎)

4) 監事選挙(定数3名)

監事当選者 小牧 文雄(都 城)
宮田 純一(延 岡)
中村 周治(宮 崎)

5) 裁定委員選挙(定数11名)

裁定委員当選者 石田 康(宮大医)
立山 洋司(西 諸)
貴島 亨(都 城)
青柳淳太郎(日 向)
宇和田 収(西 都)
井上 博(延 岡)
楠元 正輝(宮 崎)
後藤 勇(宮 崎)
山元 敏嗣(南那珂)
糸井 達雄(児 湯)
興梠 知子(西臼杵)

6) 日本医師会 代議員及び予備代議員選挙 (各々定数4名)

日本医師会代議員当選者
河野 雅行(宮 崎)
濱田 政雄(宮 崎)
山村 善教(宮 崎)
吉田 建世(延 岡)
日本医師会予備代議員当選者
松本 英裕(西 都)
内村 大介(西 諸)
小牧 斎(宮 崎)
荒木 早苗(宮大医)

7. 当選役員挨拶

当選役員を代表して、会長候補者に選任された河野雅行先生が挨拶を行った。

(要旨)次期執行部に選んでいただき心から感謝申し上げる。先ほど述べたように全県一致オールみやぎきをスローガンとして、新役員一同協力し合い、全力を尽くして事柄に対応していく所存である。今後もことある度に、

先生方へ情報提供を行うと共にご相談をさせていただきたいと考えている。引き続きご助言とご協力をお願いして挨拶に代えさせていただく。

8. 議長閉会宣言

鮫島議長が進行への協力に対するお礼を述べ代議員会の閉会を宣言した。

出席代議員及び出席役員は以下のとおり。

出席代議員

1 番 植松 昌俊
2 番 鮫島 浩
4 番 天野 正宏※
5 番 川名 隆司
6 番 市来 能成
7 番 牛谷 義秀
8 番 尾田 朋樹
9 番 金丸 禮三
10番 栗林 忠信
11番 神尊 敏彦
12番 田中 俊正
13番 中山 健
14番 成田 博実
15番 原田 一道
16番 原田 雄一
17番 増田 好治
18番 田中 宏幸※
19番 山村 善教

20番 済陽 英道
21番 田口 利文
22番 榎原進一郎
23番 長倉 穂積
24番 伊達 晴彦
25番 久保田秀紀
26番 佐藤 信博
27番 平野 雅弘
28番 牧野 剛緒
29番 千代反田晋
30番 今給黎 承
31番 永友 和之
32番 松本 英裕
33番 中村 彰伸
34番 河野 秀一
35番 内村 大介
36番 高崎 直哉
出席35名 ※予備代議員

出席役員

会 長 河野 雅行
副 会 長 富田 雄二
〃 濱田 政雄
常任理事 立元 祐保
〃 吉田 建世
〃 小牧 斎
〃 荒木 早苗
〃 池井 義彦
〃 金丸 吉昌
〃 佐々木幸二
〃 高村 一志
〃 石川 智信
理 事 峰松 俊夫
〃 川野啓一郎
〃 佐々木 究
〃 岩村 威志
〃 米澤 勤
〃 糸数 智美
〃 帖佐 悦男
〃 嶋本 富博
監 事 赤須 巖
〃 中村 周治
〃 小牧 文雄
出席23名

第168回宮崎県医師会臨時代議員会(概要)

と き 平成30年 6 月16日(土)

ところ 県 医 師 会 館

1. 開 会

鮫島議長が、代議員の定数及び出席代議員の確認を行い、本会定款第30条の規定に基づき代議員会の成立を宣言した。続いて定款第31条第2項の議事録署名人に神尊代議員(宮崎)、中山代議員(宮崎)を指名した。

2. 河野県医師会長挨拶

(要旨)先日は次期執行部を選出いただき感謝する。本日は平成29年度の決算をご審議いただく。事業の途中経過はできるだけ頻繁に日州医事等を通じて報告させていただいた。会計も昨年決定した予算に則って注意深く執行してきた。医師会のやらなければならないことは増えている。必要な事項は積極的に取り組んでいくが、財政的に赤字にならないよう慎重に執行していきたい。本日はご審議の程よろしく願いたい。

3. 報 告

1) 平成29年度宮崎県医師会事業報告について

富田副会長が、定款第62条の規定に基づき6月5日の理事会で承認された事業報告の説明を行った。

(要旨)生涯教育の推進と充実について、日医生涯教育制度の本県の単位取得者数は1,386名と全国と比べて高い取得率である。日医かかりつけ医機能研修制度の平成29年度の認定者は17名であった。専門医共通講習会については、新専門医制度に認定される研修を開催して、勤務医の先生方が県医師会、郡市医師会に訪れる機会を増やそうということで始めている。

医師確保対策は最も重点的に行っている事業で、宮崎大学や県と連携し、女性医師支援、医師の働きやすい環境の整備を含め事業を展開している。次期医療計画の検討、

協議は、皆様ご承知の通り今年の4月から第7次医療計画が始まっている。この計画の検討を29年度に行っている。地域医療構想への対応は、協議の主体が、各構想区域の調整会議に移っている。これに対しても県医師会として情報提供や支援を行ってきた。

救急医療体制整備については、小児救急医療電話相談事業(#8000)は、県小児科医学会、看護協会の協力を得て準夜帯は県内、深夜は外注で電話、相談対応を行ってきたが、先生方の負担も大きいということで、平成30年度から準夜、深夜全て外注としている。

医療安全への積極的な取り組みとして、医療事故調査制度への対応を積極的に推進している。介護保険対策は、特に認知症に対する研修会等を行ってきた。

研修医の入会促進については、日医、県医師会、郡市医師会が会費無料化ということで、積極的に入会促進を行っている。平成30年4月1日現在で県医師会の会員数は1,784名と、前年比51名の増加となっている。主な増加の要因は先ほどの研修医の増加で、一方でA会員がマイナス9名という現状もある。

平成29年度も先生方には多大なご協力を賜りましたことに感謝申し上げ、簡単ではあるが、事業報告とさせていただきます。

4. 議 事

議案第1号 平成29年度宮崎県医師会収支決算に関する件

吉田常任理事が、定款第62条の規定に基づき6月5日の理事会で承認された収支決算の説明を行った。

(要旨)平成29年度決算のポイントは、医師会館建設時に発行した会館建設協力債を、返済用積立金7,500万円と併せて1億1,500万円返済したことが挙げられる。

この返済を行ったうえで、公益法人会計基準の条件も満たした黒字決算となっているが、A会員数が平成19年度の803名から今年4月1日現在で777名と減少しているので、予算の適切な執行に努めたい。

平成29年度決算は、経常収益計が4億4,595万円余り、経常費用計が4億282万円余りとなった。経常収益から経常費用を差引いた、当期経常増減額は4,313万円余りとなる。ここから平成29年度法人税額等を差引くなどして、正味財産期末残高は、9億6,099万円余りとなる。

内容について、経常収益の受取入会金は決算額841万円余りで、前年度比265円万余りの増。正会員受取会費は決算額1億7,683万円で、前年度比215万円の減。閉院等によるA会員の減少が主な要因である。手数料収益の決算額は6,720万円余りで、前年度比377万円余りの減。治療事業の案件減が主な要因である。受託事業等収益は、1億3,546万円余りで、前年度比353万円余りの減。29年度の委託契約は、新規と終了が2件、増額が5件、減額が9件であった。

経常費用の修繕費は決算額237万円余りで、前年比208万円余りの増。会館定期点検等によるものである。広報費、会議費、諸謝金、助成金、委託費については、委託事業の契約数や事業内容の増減による影響である。

次に、正味財産増減計算書内訳表に記載の公益目的事業比率は73.13%で、50%以上という基準を満たしている。

収支相償の判定については、収益事業から公益目的事業への利益の繰入を、29年度決算についても50%超繰入とし、繰入限度額である3,278万2,057円を繰入ても988万円余りの赤字であることから、基準を満たしている。

また、平成29年度決算から貸借対照表の表示が変わっている。理由は、固定資産の減価

償却の方法として、間接法と直接法が混在していたため、全て直接法に変更したものである。

遊休財産の判定は、29年度の遊休財産保有制限上限額が、公益目的事業の経常費用額である2億9,459万6,905円。計算の結果、遊休財産額は2億3,119万9,080円で上限額を下回ったため、適合判定となった。

収支計算書は、29年度中の運転資金の増減である。

冒頭で述べた、会館建設協力債の償還に伴う運転資金の動きも含めて647万円余りの黒字を確保し、次期繰越収支差額は、1億3,985万円余りとなった。

以上、吉田常任理事の説明が行われた後、監事を代表して小牧監事から監査報告が行われ、議長採決の結果、議案第1号は、賛成全員で原案どおり可決承認された。

議案第2号 平成31年度宮崎県医師会会費賦課徴収に関する件

吉田常任理事が、定款第21条に基づき、31年度についても会費賦課徴収規程等のとおり30年度と同様の会費を徴収したいとの説明が行われ、議長裁決の結果、議案第2号は、賛成全員で原案どおり承認可決された。

5. 協 議

事前質問「向精神薬の長期処方等について」

川名代議員(宮崎)

(質問要旨)今回の診療報酬改定で、向精神薬の長期処方や多剤処方について変更があった。即ち、不安や不眠の症状に対し、12か月以上ベンゾジアゼピン系の抗不安薬・睡眠薬を同一の用法・用量で長期処方している場合の処方料・処方箋料が、それぞれ29点(通常の処方料42点)・40点(通常の処方箋料68点)と低い設定になった。ただし「当該症状を有する患者に対する診療を行うにつき十分な経験を有する医師が行う場合、または精神科医から抗不安薬等の処方について助言を得ている場合等を除く」との除外規定がある。

「精神科医から抗不安薬等の処方について助言を得ている場合」とは、具体的にはどの

ようなケースか。当該の講習や講演の受講・聴講で、その要件がクリアされるのか。

吉田常任理事が、次のとおり回答した。

（回答要旨）今回改定された「向精神薬の長期処方等」に係る「精神科医からの助言」について、九州厚生局宮崎事務所に照会したところ、『「精神科医からの助言」とは、該当する患者の「精神科医の診察」行為があり、それに伴う「診療情報提供」を受けた場合が「精神科医からの助言」を受けたことになる』との回答を得ている。この件は、宮崎県精神科医会でも同様の認識である。

また、ご質問の中にもある「診療を行うにつき十分な経験を有する医師」に関連する「不安又は不眠に係る適切な研修」については、日本医師会の生涯教育制度におけるカリキュラムコード69「不安」またはカリキュラムコード20「不眠」を満たす研修ということが、平

成30年3月30日の疑義解釈（厚生労働省）に出されている。

このような研修会についても、要件を九州厚生局宮崎事務所に再確認した上で、1年以内になるべく多くの会員が受講できるようテレビ会議等を利用し、県医師会で開催したいと考えている。

以上の回答を受け川名代議員が「処方箋等の減額をかなり心配していたが、研修会の受講が有効と感じた。ぜひ、県医師会で研修会を開催していただきたい」との要望が行われ協議を終了した。

6. 議長閉会宣言

最後に鮫島議長から「この定例代議員会の終結をもって現役員の任期が終わる」ことが告げられ、河野会長から謝辞が述べられた後、鮫島議長が定例代議員の閉会を宣言した。

出席代議員及び出席役員は以下のとおり。

出席代議員

1 番 鮫島 浩
3 番 中村 都英
4 番 川名 隆司
5 番 市来 能成
6 番 牛谷 義秀
7 番 尾田 朋樹
8 番 金丸 禮三
9 番 栗林 忠信
10番 神尊 敏彦
11番 田中 俊正
12番 中山 健
13番 成田 博実
14番 原田 一道
15番 原田 雄一
16番 増田 好治
17番 田中 宏幸※
18番 山村 善教
19番 済陽 英道

20番 田口 利文
21番 檜原進一郎
22番 長倉 穂積
23番 伊達 晴彦
24番 久保田秀紀
25番 高橋 博和※
26番 平野 雅弘
27番 牧野 剛緒
28番 千代反田晋
29番 今給黎 承
30番 永友 和之
31番 松本 英裕
32番 中村 彰伸
33番 河野 秀一
34番 内村 大介
35番 高崎 直哉
36番 植松 昌俊

出席35名 ※予備代議員

出席役員

会 長 河野 雅行
副 会 長 富田 雄二
〃 濱田 政雄
常任理事 立元 祐保
〃 吉田 建世
〃 小 牧 斎
〃 荒木 早苗
〃 金丸 吉昌
〃 佐々木幸二
〃 高村 一志
〃 石川 智信
理 事 峰松 俊夫
〃 川野啓一郎
〃 佐々木 究
〃 岩村 威志
〃 帖佐 悦男
〃 嶋本 富博
監 事 赤須 巖
〃 小牧 文雄

出席19名

第169回宮崎県医師会臨時代議員会(概要)

と き 平成30年 6 月16日(土)

ところ 県 医 師 会 館

1. 開 会

鮫島議長が、代議員の定数及び出席代議員の確認を行い、本会定款第30条の規定に基づき代議員会の成立を宣言した。続いて定款第31条第2項の議事録署名人に神尊代議員(宮崎)、中山代議員(宮崎)を指名した。

2. 河野県医師会長挨拶

(要旨)前期は平成28年6月から2年間大変お世話になった。再度、県医師会執行部をお任せいただくことになり、先日も申したように今期執行部は、地域医師会や専門分科医会、関係機関との連携を強化して「全県一致・オール宮崎」の体制をつくった。新役員一同、医師会の存在意義を再確認し、初心を忘れず、心をつにして全力を尽くす覚悟である。先生方におかれては、今までにも増してご協力の程、よろしくお願いしたい。

さて、毎回、同じような話題になるが、医療を巡る環境は年々厳しさを増している。幾つかを拾い上げてみると、今年の診療報酬改定では、ご存知の様に0.55%のプラス改定であったと日医は成果を強調していた。確かにマイナス改定がささやかれていた中でのプラス改定なので、その結果については様々なご意見があるがそれなりの評価には値する。この結果をみても昨年の国政選挙での先生方のご努力が良い方向に形を成したものと思われる。

しかし、今回の改定で、国が目論んでいた医療費削減は、日医の抵抗により辛うじて見直し、後退を余儀なくされた事項が、次回32年改定では再び組上に上がるかもしれない。項目によっては介護保険にシフトしたり、一部の項目が医療保険から削除されたりする傾

向にある。毎度申し上げるが、国の大前提は、医療費削減である。過去には医療費亡国論なる発言もあったが、しかし、国民の生命と財産を守ることこそが国の最大の責務ではないか。政府やマスコミの一部では地域別診療報酬制度や給付制限等の狼煙も上がっている。私どもも無駄を省き効率を高める努力をしなければならない。しかし、公的保険の後退や国民医療費を必要以上に削減することには、我々は真っ向から異議を唱える必要がある。

過日の報道でもあったように、新専門医制度が本年より発足した。宮崎県は様々な努力を傾けたにも拘らず専攻医が37名と全国最低の数字であった。かくあることを予測して、以前から日医を通じて専門医機構に地域にも若手医師が来るような配慮を要望していたが、機構の説明は地方にも十分配慮したとの回答であった。しかし、東京の一極集中こそはなかったものの、やはり大都市周辺への偏在は著明であった。先日の日医代議員会で九州ブロック代表として私が問題提起と要望を行った。今後も、偏在を解消するために機構改革を訴え続けていきたい。私達も宮崎県でできる範囲の努力を続ける必要がある。平成29年度宮崎大学で初期研修を終えた27名の85%が県内での後期研修(専攻医)として残っている。このことから初期研修医の確保が重要な要素となる。そこで初期研修医を確保するにはどうすれば良いか皆で知恵を出し合っているところである。先生方も妙案があればぜひご教示いただきたい。一方、明るいニュースもある。本年度県内で初期研修を始めた研修医が59名と過去最高を記録した。2

年後が楽しみである。

医療介護総合確保基金については、昨年は本県の希望に沿った形で交付されたが、今年度は必要事項を積み上げたところ、例年よりも多めの41億円余りとなった。この額は緊急に我が県の地域医療を立て直すためにはぜひとも必要な額である。近い内に内示があるものと思われるが、今からが政治家の先生方のお力を借りる時である。県医師会でも直接お願いしているが、先生方も要望等をよろしくお願いしたい。

来年は消費税増税が決まっている。医療における消費税制では既に損税が発生しており、それが医療機関経営を圧迫しつつある。国の説明では診療報酬に上乗せして補填しているとのことだが、医療機関では、現時点でも0.61%(2,760億円)の損税が発生している。医療機関数で割ると一機関あたり数百万円となる。引き続き損税解消のため、税制の不平等を訴えていきたい。先生方におかれても影響力の大きな各地域出身の国会議員や県議会議員、首長の先生方への陳情をお願いしたい。

その他、地域医療を巡る問題や事故調、医師の働き方改革、支払基金改革等々、多くの課題を抱えている。これらを解決するのに最も重要なことは会員お一人お一人が自分のことと認識することである。私ども執行部も一致団結して「皆保険制度を堅持して地域医療を守る、医師会員を守る」という医師会の存在意義を再確認して、初心を忘れることなく、執行部一丸となって取り組んで参る決意である。そのように努力することが巡り巡って医療提供者をも守ることに繋がるものと考ええる。

今後も様々な問題が発生するものと思われるが、私ども執行部のみでは対応困難な場合には、先生方にご相談させていただきたい。何を置いても先生方のバックアップが必要不可欠である。先生方の今迄に増すご指導並び

にご協力をよろしくお願いしたい。

3. 報 告

1) 新役員紹介について

小牧常任理事が、先ほど開催された第3回理事会で決定した新役員の報告を行った。

(要旨) 5月22日に開催した第167回臨時代議員会で選任した河野雅行会長候補を会長に、濱田政雄・山村善教副会長候補を副会長に選定した。また理事の中から、吉田建世・小牧斎・荒木早苗・池井義彦・金丸吉昌・佐々木幸二・高村一志・石川智信理事の8名を常任理事とした。なお、理事、監事、代議員会議長・副議長、日医代議員・予備代議員については、第167回臨時代議員会で決定した通りである。

4 協 議

1) 顧問・名誉会員委嘱の件について

小牧常任理事が、第3回理事会で協議した顧問及び名誉会員の提案を行った。

(説明要旨) 定款第43条の規定に基づき、顧問・名誉会員は代議員会の決議を経て会長が委嘱することになっている。顧問については、元宮崎県医師会長の秦喜八郎先生と前宮崎県医師会長の稲倉正孝先生、名誉会員については、元宮崎医科大学長・宮崎医科大学名誉教授の森満保先生、松尾壽之先生、元宮崎大学長・宮崎大学名誉教授の住吉昭信先生、前宮崎大学長・宮崎大学名誉教授の菅沼龍夫先生を委嘱したい。任期は役員と同様、2年後の定例代議員会の終結の時までとなる。

以上の説明の後、議長確認により、賛成全員で、顧問2名と名誉会員4名を委嘱することが承認された。

5. 議長閉会宣言

最後に鮫島議長が進行への協力に対するお礼を述べ閉会を宣言した。

出席代議員及び出席役員は以下のとおり。

出席代議員

1 番 鮫島 浩
3 番 中村 都英
4 番 川名 隆司
5 番 市来 能成
6 番 牛谷 義秀
7 番 尾田 朋樹
8 番 金丸 禮三
9 番 栗林 忠信
10 番 神尊 敏彦
11 番 田中 俊正
12 番 中山 健
13 番 成田 博実
14 番 原田 一道
15 番 原田 雄一
16 番 増田 好治
17 番 田中 宏幸※
19 番 済陽 英道

20 番 田口 利文
21 番 桧原進一郎
22 番 長倉 穂積
23 番 伊達 晴彦
24 番 久保田秀紀
25 番 高橋 博和※
26 番 平野 雅弘
27 番 牧野 剛緒
28 番 千代反田晋
29 番 今給黎 承
30 番 永友 和之
31 番 松本 英裕
32 番 中村 彰伸
33 番 河野 秀一
34 番 内村 大介
35 番 高崎 直哉
36 番 植松 昌俊
出席34名 ※予備代議員

出席役員

会 長 河野 雅行
副 会 長 濱田 政雄
〃 山村 善教
常任理事 吉田 建世
〃 小牧 斎
〃 荒木 早苗
〃 金丸 吉昌
〃 佐々木 幸二
〃 高村 一志
〃 石川 智信
理 事 立元 祐保
〃 峰松 俊夫
〃 川野啓一郎
〃 佐々木 究
〃 岩村 威志
〃 帖佐 悦男
〃 嶋本 富博
〃 園田 定彦
〃 瀬ノ口洋史
〃 赤須郁太郎
〃 大塚康二朗
監 事 小牧 文雄
〃 宮田 純一
出席23名

お知らせ

平成30年度日本医師会認定医療秘書養成制度 卒業生求職のお願い

宮崎県医師会では、日本医師会認定医療秘書養成を県内3教育機関に委託しております。日本医師会医療秘書認定試験の合格を目指し、医療事務に必要な知識、最新の情報処理技能などの資格を備えるとともに、医療機関の今日的な使命を自覚し、誠実さと思いやりの心を大事にする人間形成にも力を入れています。

今年度、医療事務職員採用のご予定がございましたら、何卒、県内3教育機関からご採用いただきますようご検討をお願いいたします。

なお、求職に関するお問い合わせ等につきましては、直接各教育機関の担当者までご連絡くださるようお願い申し上げます。

宮崎学園短期大学 (宮崎市)	宮崎医療管理専門学校 (宮崎市)	都城コアカレッジ (都城市)
就職希望者24名 (女24名)	就職希望者23名 (女23名)	就職希望者6名 (女6名)
連絡先：TEL0985-85-0146 宮崎市清武町加納丙1415 担当：田村 広美 武村 順子	連絡先：TEL0985-86-2271 宮崎市田野町甲1556-1 担当：福元 進 崎田ゆかり	連絡先：TEL0986-38-4811 都城市吉尾町77-8 担当：吉原真由美 中山さおり

平成30年度第75回宮崎県医師会総会

と き 平成30年 6 月16日(土)

ところ 県 医 師 会 館

小牧常任理事の司会により開会し、はじめに、物故会員の先生方(下記21名)に対し、参加者全員で黙祷を捧げ弔意を表した。続いて、河野県医師会長の挨拶、役員紹介、来賓祝辞、来賓紹介を行った後、各種表彰・祝賀を執り行った。

◇物故会員(平成29年度総会以降)

大江 幸政 先生(宮 崎)
川野 勝二 先生(宮 崎)
菊田 勇 先生(宮 崎)
小林 邦雄 先生(宮 崎)
土屋 利紀 先生(宮 崎)
中島 知徳 先生(宮 崎)
原口 靖昭 先生(宮 崎)
前田 正美 先生(宮 崎)
南 史朗 先生(宮 崎)
湯地 博幸 先生(宮 崎)
釘宮 博志 先生(都 城)
赤須 崇 先生(延 岡)
木谷 靖 先生(延 岡)
野村 敏彰 先生(延 岡)
前田 丈夫 先生(延 岡)
山中 正宣 先生(延 岡)
井ノ口 裕 先生(日 向)
白石 孝之 先生(日 向)
松倉 茂 先生(日 向)
内村 成良 先生(西 諸)

※ 1 名ご遺族の希望により非掲載

◇河野県医師会会長挨拶(要旨)

本日は、大変お忙しい中を河野俊嗣知事、蓬原正三県議会議員、江藤拓衆議院議員、武井俊輔衆議院議員、小山明俊県薬剤師会会長をはじめとすご来賓にご出席いただき御礼申し上げます。本年は、診療報酬改定が行われ、僅かではある

がプラス改定となった。これもひとえにご列席の先生方のご協力によるものと感謝したい。さらに、我が県の様々な医療介護問題の緊急手当てとして、医療介護総合確保基金の確保が重要である。改めて関係者の皆様方にご理解とご協力をお願いしたい。

また、本年は、新専門医制度が開始された。宮崎県での登録医数は、人口割から考えると80名近くになるものと期待していたが、結果は37名と驚愕する数字であり、全国最下位であった。早速、日本医師会を通じて、専門医機構に地方にも配慮するよう是正を依頼した。一方、本年度の初期研修医は、59名で過去最高となった。県内で初期研修を修了した先生は、県内残留率が高くなるとのデータがあり、2年後を期待したい。しかし、医師確保対策としてはまだまだ不十分である。県内の50歳以下の医師の割合は47%であり、このままでは10年後の我が県の地域医療は悲惨な状態になるものと危惧している。他県の情報も収集し、県、大学と協力して、今以上の対策を考える必要がある。

その他、医療を巡る情勢は大変厳しいものがある。原因は、国の税収が減り、経済的ゆとりがないことにある。様々な識者が述べているように、少子高齢化が一因であることは言うまでもない。若者人口が減ると、生産人口の減少から経済の停滞・税収の減少となる。地域社会衰退の大きな要素として、人口減少と同時に、地域医療の崩壊が挙げられる。安心して社会生活を送るには、医療のバックアップが不可欠である。私ども、医療に携わる者の使命は、県民の健康を守ること、地域社会を守ることにある。私どもの活動により県民が元気になれば、結果

的に私達自身も恩恵を受けることに繋がる。県医師会は、今後も県民の医療・福祉向上のために行政や各関係団体と協力し、正面から取り組んでいく覚悟である。

現代の社会において、このような我々の想いを実現するためには、ご来賓の皆様をはじめとした行政、大学や関連団体との密接な連携が不可欠である。勿論、患者さんとの繋がりが第一であるが、政治の力は重要である。私どもとしても、政治家の先生方が心置きなく活躍されるために、全力を挙げて先生方をバックアップし、活躍の基盤をゆるぎないものとして確保する必要がある。皆様のご協力をお願いしたい。

本日は、この後、県医療功労者知事表彰を始めとする各種表彰祝賀を予定している。様々なご功績に対し、改めて敬意を表して心よりお祝い申し上げます。

最後に、ご来賓の皆様、ご参集の皆様方の今後ますますのご健勝とご活躍を祈念し、挨拶とさせていただきます。

◇役員紹介

本日(平成30年6月16日)の定例代議員会終結後に就任した会長以下、監事、議長、副議長を含む新役員の紹介を行った。

◇来賓祝辞及び来賓紹介

河野 俊嗣 県知事
蓬原 正三 県議会議長
江藤 拓 衆議院議員
武井 俊輔 衆議院議員
小山 明俊 県薬剤師会長
松下 新平 参議院議員(代理)
長峯 誠 参議院議員(代理)

◇宮崎県医療功労者知事表彰

中村 周治 先生(宮 崎)
坂元 一久 先生(都 城)
野田 寛 先生(延 岡)
黒木 宗俊 先生(児 湯)
友成 久雄 先生(西 都)

以上5名の先生方に対し、宮崎県医療功労

者知事表彰式が執り行われ、河野知事から表彰状と記念品が手渡された。

◇退任役員表彰

前 議 長 飯田 正幸 先生(都 城)
前副議長 島田 雅弘 先生(南那珂)
前副会長 富田 雄二 先生(西 都)
前 理 事 佐藤 信博 先生(延 岡)
前 理 事 糸数 智美 先生(宮 崎)
前 理 事 花田 武浩 先生(西 諸)
前 監 事 赤須 巖 先生(延 岡)

本会表彰内規により、上記7名の先生方を表彰し、ご出席の先生方に感謝状と金一封を贈呈した。

◇永年勤続代議員表彰

飯屋 純人 先生(都 城)
楨 健一郎 先生(西 諸)

本会表彰内規により、10年以上の代議員歴及び満70歳に達した方を表彰するもので、上記2名の先生を表彰した。

◇永年勤続職員表彰

県内の会員医療機関において、勤務年数が満30年に達した職員23名を代表して、池井啓子様(池井病院)に表彰状を贈呈し、引き続き、池井様より、祝意に対する謝辞が述べられた。

◇永年勤続県医師会等事務職員表彰

県医師会等に30年以上勤務し功労があった職員1名に対し表彰状等を授与した。

◇各種祝賀(高齢会員・各種表彰)

本会表彰内規により、米寿・喜寿をお迎えることになる高齢会員(米寿10名、喜寿12名)及び平成29年度総会以降、叙勲、大臣表彰、知事表彰等、県関係以上の各種表彰を受賞された41名の先生方を表彰した。河野会長がご出席の高齢会員の先生方の席に出向き、お祝い金と記念品を贈呈した。続いて、各種表彰者を代表して、立山浩道先生に記念品を贈呈し、引き続き、立山先生より、祝意に対する謝辞が述べられた。

【高齢会員祝賀】

・米寿会員 10名

(昭和6年1月1日～昭和6年12月31日生)

川越 修 先生(宮 崎)
 定永 正明 先生(宮 崎)
 清田 正司 先生(宮 崎)
 森 善治 先生(都 城)
 岸田 克明 先生(延 岡)
 田中 浩夫 先生(日 向)
 渡邊 命平 先生(日 向)
 糸井 達雄 先生(児 湯)
 田上 恒雄 先生(西臼杵)
 森満 保 先生(宮大医)

・喜寿会員12名

(昭和17年1月1日～昭和17年12月31日生)

岩下 徹 先生(宮 崎)
 川崎渉一郎 先生(宮 崎)
 菊池 清文 先生(宮 崎)
 大塚 和之 先生(都 城)
 藤元 敦子 先生(都 城)
 稲原 明肆 先生(日 向)
 岩倉 集 先生(日 向)
 大塚 直純 先生(西 都)
 新木 正剛 先生(南那珂)
 長井 章 先生(西 諸)
 前原 東洋 先生(西 諸)
 長田 幸夫 先生(宮大医)

【各種表彰受賞(章)】

(平成29年6月17日(土)総会以降～現在まで)

平成29年8月21日

学校保健及び学校安全に関する県教育長表彰

杉田 幸雄 先生(宮 崎)
 藤木 浩 先生(宮 崎)
 山脇 忍 先生(宮 崎)
 濱田 義臣 先生(都 城)
 村上 健志 先生(都 城)
 赤須 巖 先生(延 岡)
 岡村 博道 先生(延 岡)
 富田精一郎 先生(延 岡)

渡邊 康久 先生(日 向)

津曲 俊郎 先生(南那珂)

志戸本宗徳 先生(西 諸)

長井 章 先生(西 諸)

堀 英晴 先生(西 諸)

平成29年9月7日

救急医療功労により県知事表彰

比嘉 利信 先生(宮 崎)

松山幹太郎 先生(都 城)

金丸 吉昌 先生(日 向)

平成29年9月8日

産科医療功労により厚生労働大臣表彰

宮崎市郡医師会病院(団 体)

平成29年9月8日

救急医療功労により厚生労働大臣表彰

牧野 剛緒 先生(延 岡)

平成29年9月29日

国民健康保険関係功労により国保連合会中央会長表彰

峯 一彦 先生(南那珂)

税所幸一郎 先生(都 城)

平成29年10月17日

国民健康保険関係功績により厚生労働大臣表彰

中村 彰伸 先生(南那珂)

平成29年10月20日

精神保健福祉事業功労により厚生労働大臣表彰

藤元ますみ 先生(南那珂)

内村 大介 先生(西 諸)

平成29年10月26日

社会保険診療報酬支払基金関係功績により厚生労働大臣表彰

嶋本 富博 先生(宮 崎)

平成29年11月1日

日本医師会優功賞(在任10年日本医師会委員会委員)

吉田 建世 先生(延 岡)

平成29年11月3日

保健衛生功労により旭日双光章

川島謙一郎 先生(宮 崎)

学校保健功勞により瑞宝双光章

濱田 健三 先生(宮 崎)

保健衛生功績により藍綬褒章

高宮 眞樹 先生(宮 崎)

平成29年11月10日

精神保健福祉事業功勞により県知事表彰

榎 英俊 先生(宮 崎)

平成29年11月14日

公衆衛生事業功勞により県知事表彰

石川 誠一 先生(宮 崎)

故・釘宮 博志 先生(都 城)

早田 泰英 先生(延 岡)

青柳淳太郎 先生(日 向)

平成29年11月16日

学校保健及び学校安全に関する文部科学大臣表彰

福富 アツ 先生(宮 崎)

寺本 昭三 先生(都 城)

平成30年 1 月31日

労働基準行政関係功勞により厚生労働省労働基

準局長表彰

松田 弘彦 先生(南那珂)

佐保 修二 先生(西 諸)

平成30年 2 月26日

公衆衛生事業功勞により日本公衆衛生協会会長表彰

赤須 巖 先生(延 岡)

大久保史明 先生(日 向)

平成30年 2 月26日

公衆衛生事業功勞により厚生労働大臣表彰

木佐貫健一 先生(宮 崎)

出水 善文 先生(都 城)

赤須 正道 先生(延 岡)

平成30年 4 月29日

保健衛生功勞により瑞宝双光章

立山 浩道 先生(宮 崎)

平成30年 6 月16日

医療功勞により県知事表彰

中村 周治 先生(宮 崎)

坂元 一久 先生(都 城)

野田 寛 先生(延 岡)

黒木 宗俊 先生(児 湯)

友成 久雄 先生(西 都)

総会終了後、引き続き、同会場で懇親会を開催した。

ご 案 内

宮崎県医師会親善ゴルフ大会

県医親善ゴルフ大会を本年は下記の日程で開催いたします。ぜひ会員の先生方お誘い合わせのうへ、ご参加いただきますようお願いいたします。

なお、開催案内は9月にお送りいたします。

と き 平成 30 年 11 月 3 日 (土・祝)

ところ ハイビスカスゴルフクラブ

宮崎市佐土原町大字下田島 21085-1

(担当 総務課)

宮崎県医師会医学会役員会

と き 平成30年 7 月 2 日(月)

ところ 県 医 師 会 館

1. 報告

1) 役員について

役員改選後、初めての開催であるため自己紹介を行った。学会長は県医師会の河野会長、副学会長は濱田副会長となる。もう 1 名の副学会長は、各専門分科医会長会から推薦され就任するが、後日開催される各専門分科医会長会で決定されることから、当日は空席での開催となった。学会長、副学会長に加え、幹事として各専門分科医会から推薦された先生方が役員となっている。

2) 平成29年度宮崎県医師会医学会について

平成29年 9 月 2 日に「宮崎の未来を作る」をテーマに特別講演 2 題を開催した。

「宮崎県における外科医師養成」と題し、宮崎大学医学部外科学講座心臓血管外科学分野教授の中村都英先生に、もう 1 題を「初期研修から専門医取得まで－宮崎大学の取組み－」と題し、宮崎大学医学部長の丸山真杉先生にご講演いただいた。出席者は55名であった。

2. 協議

1) 平成30年度宮崎県医師会医学会の開催について

9 月 1 日(土)に県医師会館で開催する医学会のテーマや講師等について企画検討を行った。各専門分科医会推薦の幹事から多数の案が出され、2 題の特別講演を開催することとなった。

1 題は、複数の幹事から要望があった「医療に関するAIについて」、もう 1 題は、会員が受講する機会の少ない日本専門医機構の専門医共通講習必修単位(医療倫理)が取得できるよう「医療倫理について」講演を行



い、講師については執行部で調整して選定することとなった。

出席者－河野学会長、濱田副学会長、弘野・北村・黒岩・松・出水・坪井・細見・杜若・嶋本幹事、(代理出席)高山小児科医会長、川越東洋医会長
県医－小牧常任理事、岩村理事、
牧野課長、鳥井元課長補佐

9 月 1 日の県医師会医学会については、講師選定のうえ以下の予定で開催することになりました。多くの参加をお待ちしております。

平成30年度宮崎県医師会医学会(予定)

と き 平成30年 9 月 1 日(土)15:30～17:30

ところ 県医師会館

特別講演 1 (15:30～16:30)

「医療倫理：専門職意識と意思決定」

講師 熊本大学大学院生命科学研究院

医療倫理学分野教授 門岡 康弘 先生

特別講演 2 (16:30～17:30)

「人工知能の医療利活用」

講師 東京大学医科学研究所国際先端医療社会
連携研究部門特任准教授

湯地 晃一郎 先生

九州医師会連合会第371回常任委員会

と き 平成30年 7 月 7 日(土)

ところ 旅館竹千代霧島別邸(鹿児島)

1. 開 会

2. 挨拶 鹿児島県医師会長 池田 琢哉

3. 協 議

1) 九州医師会連合会長・同副会長の互選について(鹿児島)

任期：平成30年 7 月 1 日～

2019年 6 月30日

会長は、開催当番県の池田琢哉鹿児島県会長、副会長には次期開催当番県の佐賀県の池田秀夫会長が互選された。

2) 九州医師会連合会監事の選定について(鹿児島)

任期：平成30年 7 月 1 日～

2019年 6 月30日

慣例により、当番県の鹿児島県に隣接する宮崎県と沖縄県から各 1 名の監事候補を推薦することが決定された。監事は、8 月 25日の定例委員総会で決定するので候補者をそれまでに選定し、事務局に報告するよう依頼があった。

3) 九州医師会連合会第372回常任委員会並びに第115回定例委員総会(8月25日(土)鹿児島市)の開催について(鹿児島)

原案どおり城山ホテル鹿児島で16時から

開催することが了承された。

4) 第 1 回各種協議会の開催種目について(鹿児島)

各県からの開催要望等を踏まえ、開催県の鹿児島県から提案された地域医療対策協議会、医療保険対策協議会、介護保険対策協議会の 3 つを開催種目とすることが決定された。

5) その他

日本医師会から会内委員会委員の推薦依頼が、九州ブロック当番県である鹿児島県にあっている。ブロックからの委員推薦の締め切りが、従来より早い 8 月10日とされている。最大伸ばしても 8 月17日までとの日医の回答である。当初、8 月25日の定例委員総会時に九医連からの推薦候補者を決定予定であったが、締め切りに間に合わないことから各県より候補を推薦していただき、九州ブロック会長県の鹿児島と副会長県である佐賀県で調整して日医に推薦することが提案され了承された。

出席者－河野会長、山内事務局長

あなたできますか？ (解答)

1	2	3	4	5	6	7
b	d	b	e	b	e	d, e

九州医連連絡会第27回常任執行委員会

と き 平成30年 7 月 7 日(土)

ところ 旅館竹千代霧島別邸(鹿児島)

1. 開 会

2. 挨拶 鹿児島県医師会長 池田 琢哉

3. 協 議

1) 九州医連連絡会委員長・同副委員長について(鹿児島)

任期：平成30年 7 月 1 日～

2019年 6 月30日

規約に従い、委員長に池田琢哉鹿児島県医師会長、副委員長に池田秀夫佐賀県医師会長が就任することが決定された。

2) 九州医連連絡会第19回執行委員会の開催について(鹿児島)

原案どおり 8 月25日(土)18時10分から横倉日本医師連盟委員長、日本医師連盟選出の羽生田、自見両参議院議員を迎えて城山ホテル鹿児島で開催することが了承された。

3) 日本医師連盟常任執行委員の推薦について(鹿児島)

九州ブロック推薦委員としては、6 月22 日開催の横倉会長選対会議において、慣例では沖縄県の安里会長となるが、安里会長が日医の理事となるので大分県の近藤会長を推薦することが了承され、7 月 3 日開催の日医連執行委員会で近藤会長が常任執行委員として承認された。

また、横倉委員長推薦で、常任執行委員に松田福岡県医師会長、今村定臣前日医常任理事、会計責任者職務代行者として堤福岡県医師会副会長、会計監督者に蔭本前長崎県医師会会長の就任が承認されたが、九州ブロックとしても了承することとされた。

4) その他

出席者－河野会長、山内事務局長

女性医師の皆様へ

～宮崎県医師会では、妊娠中の医師に
マタニティ白衣を貸し出しています～



心地よく快適に過ごせるマタニティ白衣を
2 枚セット(無料)で貸し出します。

どうぞお気軽にご利用ください。

詳しくは、宮崎県医師会ホームページ
(<http://www.miyazaki.med.or.jp/>)

をご覧ください。

お問い合わせ先

宮崎県医師会 担当 山本・野尻

TEL 0985-22-5118

FAX 0985-27-6550

第1回外国人医療対策会議 (都道府県医師会外国人医療対策担当理事連絡協議会)

と き 平成30年 7 月 4 日(水)

ところ 日 本 医 師 会 館

日本医師会の松本常任理事の進行により開会し、横倉会長挨拶(今村副会長代読)、続いて自見参議院議員より挨拶があった。

1. 日本の医療の国際化に向けて

東京大学医学系研究科渋谷教授より以下の説明があった。

外国人の数は増加しており、外国人患者が皆さん自身の医療機関を受診する確率も高くなっている。医療を通して「日本はいい国だ」と思っただけのようにしたい。

外国人患者に対しては、国籍や言葉がアクセスの阻害要因にならないことが重要である。また、応召義務は外国人に対しても同じである。医療費の設定、薬剤耐性、疾病構造(疫学)において異なる点があるため、注意していかなければならない。

受入れにあたり不安な点として、言葉の問題以外にも医療安全問題、未収金や訴訟リスクがあげられている。外国人患者には「観光目的の訪日患者が多い」「在住患者が多い」など地域特性があり、特性に合った対応が必要である。体制整備自体が医療機関の負担とならないよう、外国人患者に対する診療報酬の設定方法や感染症対策といった社会システムの設計を行うことが重要である。

2. 現場からの報告

外国人患者が多い県から問題点や取組みの報告があった。問題点として、言語が通じない、無理な要求が多い、マナーが悪い、旅行保険の未加入等が挙げられた。また、外国人患者の夜間・救急受け入れをしている病院が外国人患者数の季節変動が大きいいため、スタッフを通年で雇用するのが困難であるという報告もあった。

取組みとして、ネットやパンフレットを利用した外国人向けの医療情報提供の充実、医療分野に精通した医療通訳サービスの利用等の報告があった。

3. 国の政策概要について

厚生労働省医政局総務課医療国際展開推進室より、外国人患者受入れ体制に関する取組みについて説明があった。

1) 法的課題

外国人観光客に対する応召義務の考え方を2018年度末までに整理し、内容について関係者へ周知する。また、救急搬送と搬送先医療機関における連携の確保や、外国人受入マニュアルを作成する。

2) コミュニケーション

医療通訳に関する実態を把握し、通訳者の医療機関への配置、遠隔(電話)通訳、タブレット等の利用等、医療通訳に関する各手法の役割分担や整備方針を取りまとめる。翻訳ICT技術に関してアプリの開発や対応したタブレットの配置支援を行う。

3) 医業経営

外国人観光客向けの医療の診療価格について、通訳等の諸経費の上乗せを含め価格の合理的な設定方法を提示する。

また、未収金等の対策については、キャッシュレス推進協議会(仮称)を設立し、産学官が連携した行動を開始することや、過去に医療費の不払い等がある外国人に対する入国の厳格化が挙げられた。

出席者(TV会議)－池井常任理事、
久永課長、山本主事

都道府県医師会予防・健康づくり(公衆衛生)担当理事連絡協議会

と き 平成30年 6 月15日(金)

ところ 日 本 医 師 会 館



羽鳥日医常任理事の司会により開会し、横倉日医会長より、「少子高齢化が進む日本において、国民の健康寿命の延伸のために予防・健康づくりを推進し、各地域においても経済界、医療関係団体・自治体が手を携え、一体的な取組みを推進していかなければならない」と挨拶があった。

報 告

1 平成28・平成29年度公衆衛生委員会答申について

角田日医公衆衛生委員会委員長より報告があった。

はじめに、現代の日本国民は、「自分が健康である」という自己評価が極めて低いという問題点が挙げられ、次のように答申が示された。

1) 現在の考え方と問題点

「健康」とは、「病気や疾病がない」ことであると考える国民は多い。その定義の転換が必要であるのではないかと。

2) 健康、健康寿命の定義

WHOの健康の定義は、「単に病気でないとか、弱っていないということではなく、肉体的にも、精神的にも、そして社会的にも、すべてが満たされた状態にあること」とされているが、これは現在や将来の日本に適した概念ではない。「疾病や障害、虚

弱があっても、“自分らしく生きる、その決定ができる”こと、すなわち、調和のとれた(お元気・お達者な)状態」であることを健康寿命の定義として国民に啓発する必要がある。

3) なぜ、健康寿命が必要なのか

日本の超高齢化社会において、高齢者がそれぞれの疾病を持ったとしても、住み慣れた地域で、自分らしく生涯を全うしたいとの願いをすべての関係者が共有し、その実現のために協力して取り組んでいく必要がある。そのため、健康寿命の延伸が必要であり、それが結果として医療費・介護費の削減にもつながっていくのではないかと。

「予防すべき疾病等」については、生活習慣病に関連した疾患の死亡率は6割を占めており、国民に対しては、ターゲットを明確にしてアピールをすることが必要である。

また、現在の取組みと問題点については、健康教室や地域独自の運動、特定健診や重症化予防などは行われているものの参加率や受診率は低迷していることや、若年層や就労者への健康対策は万全でないことが挙げられる。これからの課題としては、キャンペーン的な取組みではなく日常的に健康問題への関心を高めていくことや、従来の自治体と地域医師会との連携のみならず商工会等の地域組織との連携も重要であることが述べられた。

最後に、今後の予防・健康づくりのあり方と医師会等の関わりについて、健康寿命の延伸のためには、生涯を通じての対策が必要であり、地域の医師会側から、行政、関係機関へ働きかけることにより、効果的な施策に繋がるということが挙げられた。

健康リテラシーをしっかりと持った国民を増やし、行政や関係団体・組織と協働した住民参加型で楽しい活動等を地域ぐるみで開催し、予防や必要な医療に繋がられるように支援と理解を深めることが、今後の課題であるとした。

2 日本健康会議の活動状況について

日本健康会議渡辺俊介事務局長より報告があった。

「日本健康会議」は、2015年7月に発足し、「健康なまち・職場づくり宣言2020」の8つの宣言の下、経済界・医療関係団体・自治体のリーダーが手を携え、健康寿命の延伸とともに医療費の適正化を図ることを目的としている。特に、2000万人にも及ぶ糖尿病患者の重症化予防を大きな目的とし、運動・食事といった保健指導や医療の介入により糖尿病患者が減少すれば、個人のQOLが保たれ、医療費も削減できるのではないかと述べられた。

また、後発医薬品を安心して、なおかつ継続的に利用できるようにすることも医療費削減において重要である。

都道府県の保険者協議会の枠組みと平成30年度以降の見直しについては、保険者協議会には医師会をはじめとする医療関係者が積極的に働きかけて意見を出して欲しいということが述べられた。

3 地域における活動事例の報告について

地域における活動事例の報告について、3つの県より報告があった。

1) 宮城県

県内で肥満が多い宮城県では「スマートみやぎ健民会議」を平成28年に設立、保険者・企業・医療関係団体と連携し、県が主体となって健康寿命の延伸、健康格差の縮小、1次予防の重視、ソーシャルキャピタルの再構築を掲げ、生涯現役で安心して暮らせる社会の構築を目指している。

また、特に重点的に取り組むテーマとして「あと、1日、15分(1500歩)歩く」ということ

を掲げ、健康増進、生活習慣病の予防、ライフスタイルの活発化で、QOLの向上、糖尿病重症化予防、健康経営の普及、経済への波及効果、コミュニティの活性化等の効果が期待できるのではないかと述べられた。

2) 静岡県

男女ともに健康寿命がトップクラスではあるが、健康寿命と平均寿命には、男性が8.24年、女性が11.07年の差があることが課題である。

したがって、特定健診データ・コホート調査し、健康データの分析、データの見える化を行った。

その後、「ふじ33プログラム」で市町、企業・事務所に情報や成果、ツールの提供を行い、その市町や企業・事務所が健康マイレージ事業や企業表彰制度等を行って県民の無関心層に働きかけ、健康寿命の延伸を図る取組みが行われている。

3) 高知県

高知県の健康課題として、男性の平均寿命・健康寿命が短い、働き盛り死亡率が高い、死亡原因の約4割は生活習慣病といったことが挙げられる。よって、高知県では健康増進に向けた取組みを官民協働で推進し、医療費を抑制することに取り組んでおり、県が主体となって「健康パスポート事業」を行い、県民に「高知家健康パスポート」を発行し、保険者が参加施設を利用し、ポイントや特典を受けられるという仕組みを構築している。

糖尿病等血管病の重症化予防対策としては、県による糖尿病の栄養指導体制を整備し、管理栄養士がいない診療所(かかりつけ医)から患者を協力病院に紹介し、栄養食事指導を実施する体制を構築していると報告があった。

出席者－吉田常任理事、山本主事

高村常任理事、野尻課長補佐(TV会議)

都道府県医師会組織強化担当役職員連絡協議会

と き 平成30年 6 月 8 日(金)

ところ 日本医師会館 1 階大講堂

本協議会は去る 3 月に提出された日医の医師会組織強化検討委員会の提言を受け、医師会の基本的な事業と社会的な役割、入会の意義などについて更なる理解を深めてもらうことで意識の共有と業務の一層の円滑化を図りもって医師会の組織強化を推進するという趣旨のもと初開催された。

はじめに、日医横倉会長の挨拶の後、日医今村副会長から「組織強化に向けた医師会事務局へのお願い」と題して説明があった。続いて、秋田県医師会と東京都医師会の取り組み事例の報告並びに質疑応答が行われた。

1 会長挨拶 日本医師会長 横倉 義武

本協議会は会内に設置の医師会組織強化検討委員会の提言を受けて開催する。本委員会からはこれまで研修医会員の会費無料化や入会メリットなどをまとめたパンフレット作成なども提案をいただいた。その他、各種調査を通じて医師会の組織強化に向けた全国的な機運の醸成に多大な貢献をいただいた。

お陰様で、昨年12月末に日医会員数が初めて17万人を超えた。しかしながら一方で都道府県医師会会員でありながら日医未入会者が約1万7千人、また、郡市区等医師会員でありながら日医未入会者が約3万人いる。本会定款では日医の目的及び事業に賛同した都道府県医師会会員を会員資格と定めている。また、都道府県医師会定款でも管内の郡市区等医師会会員をもって会員資格とすると定めているところがほとんどだと理解している。このように医師会は三層構造になっており医師会の事業目的及び方針においては密接不可

分な関係である。従って郡市区等医師会に入会された方は等しく日医まで入会していただきたいと強く願っている。国民視点に立った医療の実現に向けては更なる組織強化が必要であり、組織率を上げて政府に対してしっかり物申すことが重要である。現在約32万人いる我が国の医師のうち郡市区等医師会にも属していない約12万人の医師に対してもぜひ医師会活動にご理解をいただき加入していただきたい。

平成27年度に医師会組織強化検討委員会が出した報告書に「face to faceのコミュニケーションこそ未入会の医師に入会を促すために最も効果的である」と記載されており、そういう意味では入会手続きの最初の窓口となる郡市区等医師会の協力が非常に重要になる。全国全ての医師会役職員が医師会の目的や事業を再認識し、医師会の組織強化に向けた思いを共有していただくことが更なる組織率の向上につながる。地域の事情がいろいろあると思うが、本日は協議会を通じて、情報の共有化を図りながら全国の各都道府県医師会また郡市区等医師会の組織強化につなげていただければと思う。

2 組織強化に向けた医師会事務局へのお願い

日本医師会副会長 今村 聡

医師会組織強化検討委員会の議論の際に、入会希望者とファーストコンタクトをとる医師会事務局の役割の重要性について話題になった。医師会は三層構造であるため入会希望者は郡市区等医師会の窓口で入会手続きを行う。その時の対応というのは医師会組織へ

の印象を決め、その後の継続性や三層全てに入会するか否かを決める要因にもなると考えられる。郡市区等医師会や都道府県医師会の事務局の方々は医師会活動をあらためて理解していただき、医師会の理念、医師会活動の重要性、そして医師会加入の利点を理解して対応していただきたい。

実は郡市区等医師会の会員で都道府県医師会未加入者は1万3千人、また、郡市区等医師会会員であるが日医未入者は約3万人いる。三層全てに入会していない方に、日医まで入会するよう都道府県医師会から郡市区等医師会に働きかけを行っているかを調査したところ、働きかけを行っている都道府県は約4割で、取り組みを行わない理由としては入会窓口は郡市区等医師会であるため、その対応に任せているという回答が4割であった。任せるのではなくぜひ、都道府県医師会から郡市区等医師会に働きかけを行っていただきたい。一方で、郡市区等医師会会員はほぼ全員が日医まで入会しているためその必要がないという回答も3割あった。4年前の郡市区等医師会会員数に占める日医会員数の割合の調査データ結果を見ると、47都道府県で50～100%と相当の差があるので可能な限り100%を目指していただきたい。

勤務医に医師会に入会しない理由を調査したところ、医師会活動への無理解・無関心が一番多く66.3%、次にメリットがない(少ない)が65.5%、その他、医師会からのアプローチが不足している、入会金・会費が高い、開業医と勤務医会員としての権利に差があると誤解されている、入会方法が煩雑、開業医と勤務医会員としての権利に差がある、といった回答があがった。これらについては、医師会の取組みにより改善の余地がある部分である。

また、実は開業医も入会は100%ではない。開業医が入会しない理由について郡市区等医

師会に調査をしたところ、ここでもその理由の上位は、医師会活動への無理解・非協力、メリットがないと思っているという回答であった。また、入会金・年会費が高額である、入会勧誘等のアプローチ不足という理由があがった。この中で日医まで加入することを条件としていることに反発があると回答した人は2%しかないので、郡市区等医師会において入会促進をされる際には日医までの入会を必ずお願いしていただきたい。

日医では医学生、研修医のためにドクターゼという無料情報誌を年4回発行しているが、その別冊として入会の案内冊子を作成した。その中に、会員を支える4つの安心ということで、まずは「診療」の支援として、日医医師賠償責任保険、医師資格証、産業医制度を挙げている。また、「女性医師」の支援として仕事と育児・家庭を両立するための女性医師支援センターあるいは女性医師バンクを紹介している。また、「生活」の支援として日医年金制度、医師国民健康保険制度の案内、そして、「学習」の支援として日医生涯教育制度、日医医学図書館について掲載し、日医が会員のために実施している事業を簡単に説明したページとなっている。

会員メリットに特化した話としては、まず、医師会組織強化委員会からの提言を受け平成27年度臨床研修医会員への会費無料化を実施した。都道府県医師会では61%が会費無料化を実施、実施予定が23%。実施していないが15%であった。郡市区等医師会の会費無料化について、都道府県医師会から郡市区等医師会へ実施を依頼している医師会が46%であった。それぞれの医師会で財政問題等の諸事情があると思うが、できるだけ三層全てにおいて臨床研修医の会費無料化が実現できれば入会促進には大変強い力になるので引き続き検討していただきたい。

また、平成30年度から日医医賠責保険料を改定した。A2B会員は、一律8万2千円であったものを、30歳以下の若手医師は3万9千円、30歳超えは6万8千円に分け、民間医賠責保険と比較しても安価な額に改定をした。日医医賠責保険と民間保険の大きな違いは、各科の専門医師をはじめ医療の知識を持った弁護士、保険者などで構成された専門の調査・審査機関をもっていることである。また、医師が矢面に立つことなく紛争を解決できるよう、訴訟や示談などの交渉を代行する仕組みが整っており精神的な負担が非常に少ない。民間で同じような支援を受けるには別途保険契約を結ばなければならない。

日医年金については、非常に多くのメリットがあり、単なる金融商品ではなく公益法人日本医師会が実施する公益事業として内閣府に認定をされている。利率は1.5%で利子や配当に対して非課税である。また、事務手数料は保険料の0.25%と一般的な私的年金の1～3%と比較すると極端に安い。更に通常は加入契約時に年金受給開始年齢を決定するが、日医年金は受給開始年齢に到達した時点で自由に決めることができ、その時点でのライフプランに応じた受取時期を可能にしているという大きなメリットがある。

医師国保については、医師会員とその家族が加入する自助的保険であり医師が自ら運営し保険料を決定したり各種検診などの保健サービスを運営しているので、会員にとってメリットの大きい健康保険である。その他、医師会員となることで加入できる医師協同組合や医師信用組合もある。

日本医師会雑誌、医療政策講演等については、全てタブレットやスマートフォンで閲覧できるように対応した。また、横倉会長が世界医師会長に就任されたことを祈念し、今年9月にオンライン形態で「JMA Journal」を発

行予定である。これは、臨床医学、基礎医学、公衆衛生学等医学に関する全領域の研究論文だけでなく、医療政策やオピニオン等の投稿も幅広く受け付け、世界中から優れた研究結果を収載することで、グローバルで幅広い観点を持ち国際社会で広く共有されるジャーナルに成長させることを目的としており、初年度年2回、最終的には年4回の発行を予定している。その他、日医会館地下にある医学図書館、ホテルのオンライン予約サービス、若手医師ネットワークによる活動の支援、国政への参画等様々な取組みを行っている。

地域によって事情は様々であるが医師会組織強化検討委員会報告書を参考に、都道府県医師会、郡市区等医師会の主体的かつ積極的で、地域の実情に即したきめ細やかな組織強化対策をぜひともお願いしたい。医師会事務局の皆様には医師会の組織強化がいかに重要かを認識していただき組織の一員として仕事をしているという誇りを持って日々の業務に従事していただきたい。

3 秋田県内郡市医師会間の会員異動の簡素化への取り組み

秋田県医師会常任理事 五十嵐知規

秋田県医師会では各郡市医師会の会員はほぼ100%が県医師会及び日医の双方に加入している。秋田県医師会では各郡市医師会の会員名簿を把握しているため、会員が県内郡市医師会間で退会、入会する場合、県医師会の会員名簿の異動だけであれば簡単に異動手続きが終了する。しかし実際には、それぞれの郡市医師会において退会届と入会申込書が必要となり、秋田県医師会においても退会と入会が発生する。このようなことから県内の郡市医師会間を異動する際、現在ある入会申込書、異動報告書、退会届の様式を一枚に集約した様式案を作成した。日医で手続きが簡素化できる方法について検討して欲しい。

4 東京都医師会における組織強化の取組み

東京都医師会副会長 角田 徹

東京都医師会では、平成4年に都内にある13の医科大学或いは医学部を大学医師会として認め、以降大学医師会との連携を強化している。医学生並びに次世代の医師育成及び支援体制の充実を図ることを目的として、都医師会役員が積極的に大学に足を運び、医師会の活動や意義、医療体制や保健システムなどについて講義を行っている。また、医学生に対して地域公衆衛生或いは社会・文化領域への顕彰並びに助成金の提供も行っている。

地区医師会との連携・情報共有については、地区医師会理事会に合わせて、東京都医師会執行部が訪問し意見交換を行っている。

会員支援としては、医療事故調査制度における支援、開業支援・継承支援セミナーを実施している。その他、事務局組織改編として関連組織から専門家を採用し事務局の機能の強化を図るなど様々な取組みを行っている。

出席者－日医－荒木常任理事、湯浅課長補佐
県医テレビ会議場－立元常任理事、
竹崎次長兼課長、松本課長

7月のベストセラー（宮崎県）

集計：2018年7月1日～7月25日

1	大家さんと僕	矢 部 太 郎	新 潮 社
2	椿落ち	佐 伯 泰 英	文 藝 春 秋
3	万引き家族	是 枝 裕 和	宝 島 社
4	未来の年表②	河 合 雅 司	講 談 社
5	かみさまは小学5年生	す み れ	サンマーク出版
6	かがみの孤城	辻 村 深 月	ポ プ ラ 社
7	ユートピア	湊 か な え	集 英 社
8	1日1ページ、読むだけで身につく世界の教養365	デイヴィッド・S・キダー	文 響 社
9	医者が教える食事術最強の教科書	牧 田 善 二	ダイヤモンド社
10	また、同じ夢を見ていた	住 野 よ る	双 葉 社

宮 崎 県 医 師 会 理 事 業 務 分 担

(2018(平成30)年6月16日～2020年6月の定例代議員会終結時まで)

		※◎は主担当, ○は副担当(平成30年6月26日現在)	
濱田副会長	医 療 保 険	◎小牧常任理事○川野理事・山村副会長・吉田常任理事 荒木常任理事・池井常任理事・金丸常任理事 佐々木(幸)常任理事・石川常任理事・立元理事 峰松理事・佐々木(究)理事・岩村理事・嶋本理事 園田理事・瀬ノ口理事・赤須理事・大塚理事	
	学 術 ・ 生 涯 教 育	◎嶋本理事○小牧常任理事・金丸常任理事・帖佐理事 ◎岩村理事○小牧常任理事・帖佐理事・大塚理事 ◎高村常任理事○吉田常任理事・峰松理事・嶋本理事 瀬ノ口理事・大塚理事	
	健 康 衆 生	◎佐々木(幸)常任理事○川野理事・園田理事・大塚理 事	
	産 業 医	◎高村常任理事○峰松理事・園田理事・瀬ノ口理事 ◎佐々木(幸)常任理事○石川常任理事・園田理事 ◎川野理事○佐々木(究)理事・池井常任理事 金丸常任理事	
	予 防 接 種	◎川野理事○赤須理事 ◎帖佐理事○川野理事・池井常任理事・園田理事 ◎高村常任理事○嶋本理事・峰松理事 ◎高村常任理事○石川常任理事・峰松理事 ◎立元理事○金丸常任理事・佐々木(究)理事	
	会 員 福 祉	◎濱田副会長・山村副会長・吉田常任理事 小牧常任理事・荒木常任理事 ◎小牧常任理事・山村副会長・吉田常任理事 荒木常任理事	
	有 床 診 療 所	◎立元理事○米澤理事	
	労 災 ・ 自 賠	◎小牧常任理事○荒木常任理事・濱田副会長 ◎吉田常任理事・濱田副会長 ◎金丸常任理事○池井常任理事・濱田副会長 吉田常任理事・小牧常任理事・荒木常任理事 佐々木(幸)常任理事・高村常任理事・石川常任理事 立元理事・川野理事・佐々木(究)理事・岩村理事 米澤理事・嶋本理事・園田理事・瀬ノ口理事 赤須理事・大塚理事	
	ス ポ ー ツ 医 学	◎金丸常任理事○園田理事・瀬ノ口理事・赤須理事 大塚理事	
	母 子 保 健 ・ 母 体 保 護	◎石川常任理事○瀬ノ口理事・荒木常任理事 金丸常任理事・立元理事・川野理事・米澤理事	
	環 境 公 害 問 題	◎石川常任理事○瀬ノ口理事・立元理事・大塚理事 ◎高村常任理事○峰松理事・佐々木(究)理事・帖佐理 事	
	倫 理 自 浄	◎荒木常任理事○佐々木(究)理事 ◎嶋本理事○荒木常任理事・吉田常任理事 ◎金丸常任理事○池井常任理事・岩村理事 ◎池井常任理事○佐々木(幸)常任理事・小牧常任理事 岩村理事・米澤理事・赤須理事	
	医 事 紛 争 (事故調査制度関連)	◎岩村理事○米澤理事・荒木常任理事・池井常任理事 金丸常任理事・峰松理事・嶋本理事	
	(医事紛争・苦情関連)	◎金丸常任理事○荒木常任理事・池井常任理事 帖佐理事・嶋本理事・瀬ノ口理事・赤須理事	
	死 因 究 明 ・ 警 察 協 力	◎荒木常任理事○金丸常任理事・嶋本理事	
河野会長	総 務	◎小牧常任理事○荒木常任理事・濱田副会長 ◎吉田常任理事・濱田副会長 ◎金丸常任理事○池井常任理事・濱田副会長 吉田常任理事・小牧常任理事・荒木常任理事 佐々木(幸)常任理事・高村常任理事・石川常任理事 立元理事・川野理事・佐々木(究)理事・岩村理事 米澤理事・嶋本理事・園田理事・瀬ノ口理事 赤須理事・大塚理事	
	地 域 医 療	◎金丸常任理事○園田理事・瀬ノ口理事・赤須理事 大塚理事	
	へ き 地 医 療	◎石川常任理事○瀬ノ口理事・荒木常任理事 金丸常任理事・立元理事・川野理事・米澤理事	
	介 護 保 険	◎石川常任理事○瀬ノ口理事・立元理事・大塚理事 ◎高村常任理事○峰松理事・佐々木(究)理事・帖佐理 事	
	在 宅 医 療	◎瀬ノ口理事	
	学 校 保 健	◎荒木常任理事○佐々木(究)理事 ◎嶋本理事○荒木常任理事・吉田常任理事 ◎金丸常任理事○池井常任理事・岩村理事 ◎池井常任理事○佐々木(幸)常任理事・小牧常任理事 岩村理事・米澤理事・赤須理事	
	広 報 シ ス テ ム	◎岩村理事○米澤理事・荒木常任理事・池井常任理事 金丸常任理事・峰松理事・嶋本理事	
	情 報 プ ラ イ マ リ ・ ケ ア	◎金丸常任理事○荒木常任理事・池井常任理事 帖佐理事・嶋本理事・瀬ノ口理事・赤須理事	
	救 急 災 害 医 療	◎荒木常任理事○金丸常任理事・嶋本理事	
	勤 務 医	◎佐々木(幸)常任理事○赤須理事・立元理事・米澤理事 園田理事	
	医 師 確 保 対 策	◎岩村理事○赤須理事・園田理事 ◎池井常任理事○岩村理事・荒木常任理事・立元理事 ◎吉田常任理事・佐々木(幸)常任理事・高村常任理事 大塚理事	
	女 性 医 師	◎荒木常任理事○嶋本理事・佐々木(幸)常任理事 岩村理事	
	医 療 関 係 者 対 策 (看護学校)	◎小牧常任理事	
	(医療従事者) (医療秘書)		
	共 同 利 用 施 設		
	治 験 (センター長)		

医療機関の経営者・管理者の皆様へ

医療勤務環境 改善支援センターを ご利用ください

県下の社会保険労務士と医業経営コンサルタントが県内の医療機関からの医療勤務環境の相談内容に応じて専門的な助言・支援を行います。

医療労務管理相談

- スタッフが長く、安心して働ける職場にしたい!
- 育児・介護中の休み方、働き方は?
- 医師の負担を軽減させたい…

医業経営面

- スタッフのキャリアを磨きたい!
- 補助制度を上手に活用したい。
- 効率良く、経営を安定させたい。

相談
無料



まずは、お電話ください。

宮崎県医療勤務環境改善支援センター

公益社団法人宮崎県医師会内

月曜～金曜 午前10時から午後4時まで

TEL.0985-20-1211

FAX.0985-27-6550

E-mail iryou-kinmukaizen@miyazaki.med.or.jp

日医インターネットニュースから

■働き方改革法が成立

— 医師の残業規制は24年 4 月から —

時間外労働の限度時間を原則として「月45時間、年360時間」とする方針などを盛り込んだ働き方改革関連法案は6月29日の参院本会議で、自民党、公明党、日本維新の会などの賛成多数で可決、成立した。労働基準法改正による時間外労働の規制は、大企業は2019年4月、中小企業は20年4月から開始。医師については猶予期間を設けるが、24年4月から規制を適用する方針で、厚生労働省の検討会での今後の議論も踏まえ、具体的な上限時間などを省令で定めることになる。

労働安全衛生法の改正では、19年4月から産業医・産業保健機能を強化する。産業医の選任義務のある労働者数50人以上の事業場では、▽事業者が衛生委員会に対し、労働者の健康管理に関する産業医の報告内容などを報告しなければならない▽事業者が産業医に対し、産業保健業務を適切に行うために必要な情報を提供しなければならない—ことになる。

参院本会議の終了後、記者団の取材に応じた加藤勝信厚生労働相は▽長時間労働の是正▽「高度プロフェッショナル制度」をはじめとした柔軟で多様な働き方の実現▽非正規労働者の待遇改善—などが関連法の目的だとあらためて説明。施行に向け、省令などの整備や、法内容の周知に取り組んでいく考えを示した。

(平成30年7月3日)

■「保険加入」や「未収金」などに焦点

— 日医・外国人医療対策会議 —

日本医師会は7月4日、東京・本駒込の日医会館で「第1回外国人医療対策会議」(都道府県医師会・外国人医療対策担当理事連絡協議会)を開いた。都道府県医や関係省庁、関連団体・企業から担当者が出席し、訪日外国人や在留外国人の医療を巡る課題や対策について議論。初会合では、訪日外国人患者の「保険加入」や「未収金」などの問題に焦点が当たった。

日医は8月末から9月ごろに、外国人医療対

策に関する会内委員会を立ち上げ、約1年後をめどに提言を取りまとめる方針。

同日の会議では、観光庁の担当者が訪日外国人旅行者3000人超を対象に実施したアンケート調査の結果、旅行中の医療費をカバーする「旅行保険」への加入率は、全体の73%だったと報告。内閣官房の担当者は、諸外国の事例も踏まえ、今後、まず旅行保険への加入勧奨に取り組む方針を示した。訪日外国人に対する医療については、外国人観光客自身の適切な費用負担を前提に、予期せぬ病気やけがの際、不安を感じることなく医療を受けられ、安全に帰国できる仕組みの構築を目指していると説明した。

また厚生労働省の担当者は、未収金対策として▽キャッシュレス決済比率向上への環境整備▽過去に医療費の不払いなどの経歴がある外国人観光客に対する入国審査の厳格化—などに取り組む方針を示した。

一方、沖縄県医師会は、2017年2月から3月にかけて実施し、県内19病院から回答を得た実態調査の結果を報告。未収金は5病院で21件あり、高額な場合、急性大動脈解離で約500万円、脳梗塞で約260万円という事例も見られた。県内では、訪日客の医療費支援で寄せられた寄付金の残額を活用し、県庁、観光協会、県医で構成する「沖縄県外国人観光客医療費問題対策協議会」を17年8月に設置。50万円以上の医療費が発生し、未収金が生じた医療機関に対し、1件当たり200万円を上限に補助する仕組みを創設したという。

成田空港に近い「成田赤十字病院」の担当者は、17年度の外国人患者の未収金は136件、約1150万円に上ると説明。未収金の補填制度の整備などを検討するよう求めた。

同日の会議では、医療通訳の費用負担の在り方、医療紛争発生への備えなど、外国人医療対策を巡る課題が幅広く話題になった。

(平成30年7月6日)

■社会保障費の伸びの抑制がまた焦点に

— 概算要求基準を閣議了解 —

政府は7月10日の閣議で、2019年度予算の概

算要求基準(19年度予算の概算要求に当たっての基本的な方針について)を了解した。医療・介護など社会保障関係費については、18年度当初予算額に、自然増として6000億円を加えた範囲内で要求を認める。厚生労働省などは8月末までに財務省に要求する。

財務省によると、自然増6000億円の内訳は、大まかに▽医療2000億円▽年金2000億円▽介護1000億円▽その他1000億円—となっている。

16～18年度概算要求で自然増は6700億円、6400億円、6300億円と減少傾向にあったが、今回は6000億円にまで減った。この要因について、財務省は▽雇用情勢の好転で非正規雇用から正規雇用になる労働者が増え、国民健康保険から被用者保険への移行が増えたため、医療費の国費負担の伸びが鈍化している▽雇用情勢の好転で生活保護の受給者数が減少傾向にあり、医療扶助費が減っている—と説明する。

「自然増」は高齢化に伴う増加分のほかに、医療の高度化などを要因とする増加分も含んでおり、予算編成過程で「高齢化による増加分に相当する伸びに収めることを目指す」方針だ。財務省はこの伸びの具体的数値について「これから精査する」としており、今後、社会保障費の伸びをどれだけ抑制するかが大きな焦点となる。

●薬価改定、年末にかけての論点は

19年度社会保障費の伸びの圧縮で、重要な課題になるのが19年10月の消費増税に伴う薬価改定だ。18年9月の実勢価に応じて引き下げて、増税対応をすることになる。厚労省はこの引き下げは「あくまで消費税対応によるもの」との立場で、消費増税の時期を踏まえて「半年分」の対応をすべきだと主張している。しかし、財務省は薬価改定でできるだけ財源を捻出したい構えで、まだ合意に至っていない。

年末にかけ、薬価を巡っては以下のような点が論点になりそうだ。▽18年9月の実勢価に応じた引き下げをいつ行うか▽消費増税に伴う引

き上げをいつ行うか▽20年度薬価改定に向けて通例であれば19年9月の実勢価を調べることになるが、仮に19年10月に改定を行う場合、整合性をどのようにとるか—。(平成30年7月13日)

■平均寿命、男女とも過去最高

— 17年簡易生命表 —

厚生労働省が7月20日に発表した「2017年簡易生命表の概況」によると、平均寿命は男女ともに過去最高を更新し、男性は81.09年(前年比0.11年増)、女性は87.26年(同0.13年増)となった。過去最高の更新は男性が6年連続、女性は5年連続。男性の平均寿命は今回初めて81年を超えた。平均寿命の男女差は6.17年で、前年とほぼ横ばいだった。

平均寿命が延伸した要因について、「死因別寄与年数」を見ると、悪性新生物、心疾患、脳血管疾患の3大死因を合わせた数値は、男性が0.11年、女性が0.10年となった。これについて厚労省の担当者は「3大死因による死亡率が改善した影響が、平均寿命を延ばすことに働いたのではないか」との考えを示した。

「死因別死亡確率」は、0歳では悪性新生物が男性28.72%、女性20.03%で、男女ともに最も高かった。男性では心疾患(14.33%)、脳血管疾患(7.66%)、肺炎(8.81%)と続いた。女性も心疾患(17.22%)、脳血管疾患(8.71%)、肺炎(7.27%)の順。男女ともに、悪性新生物と脳血管疾患、肺炎の死亡確率は前年から低下した。一方で、心疾患の死亡確率は男女ともに前年から上昇した。

平均寿命を国際比較すると、男性は3位、女性は2位。1位は昨年同様、男女とも香港だった。香港の17年の平均寿命は、男性81.70年、女性87.66年。ただし、各国で統計の作成方法が異なるため厳密な比較はできないとしている。

(平成30年7月24日)

日医インターネットニュースは、日本医師会のホームページからご覧になれます(毎週火・金更新)。

日本医師会(<http://www.med.or.jp/>)>メンバーズ>日医インターネットニュース

メンバーズルームへのアクセス方法

◆ユーザ ID：会員 ID(日医刊行物送付番号)の10桁の数字(半角)

◆パスワード：生年月日の「西暦の2桁、月2桁、日2桁」の6桁の数字(半角)



平成30年 6 月 5 日(火)第 3 回全理事協議会

医師会関係

(議決事項)

1. 平成31年春の叙勲候補者の推薦について

学校医歴が40年以上の方を推薦基準としており、各郡市医師会に照会の結果、1名を推薦することが承認された。

2. 6/16(土)(県医)第168回県医師会定例代議員会及び第169回宮崎県医師会臨時代議員会等について

当日のスケジュールを確認すると共に定例代議員会及び臨時代議員会の提出議題等を承認した。

3. 宮崎県医師会館の使用許可について

南海トラフ地震による広域災害に備えた図上演習を行うために、県透析医会から宮崎県医師会館の使用許可願があり、使用目的を勘案し、日曜日(7/8又は7/15)の利用ではあるが会館の使用を許可することが承認された。

4. 業務委託について

①平成30年度HTLV-1(ヒトT細胞白血病ウイルス1型)母子感染対策事業に係る業務の委託契約について

→HTLV-1キャリアや発病者に対する適切な診療と相談支援体制の整備を目的に、研修会の開催や実態調査等を行う事

業で、契約を締結することが承認された。

(報告事項)

1. 5月末日現在の会員数について
 2. 6/2(土)(福岡)九医連常任委員・次期会長合同会議について
 3. 6/2(土)(福岡)九医連常任委員・次期日医代議員協議会について
 4. 6/2(土)(福岡)九州ブロック日医代議員(含・次期)連絡会議について
 5. 6/3(日)(東京)横倉義武日医会長候補選挙対策本部事務所開きについて
 6. 6/5(火)(県医)学校保健・学校安全に係る表彰審査会について
 7. 6/5(火)(県医)県学校保健会理事・評議員会について
 8. 5/31(木)(日医)日医医療秘書認定試験委員会について
 9. 5/30(水)(県庁)県移植推進財団理事会について
 10. 5/30(水)(県庁)県個人情報保護審議会について
 11. 5/31(木)(日医)日医医療IT委員会について
 12. 6/5(火)(県医)治験審査委員会について
 13. 5/30(水)(宮崎労働局)労災診療指導委員会について
 14. 6/4(月)(県医)勤務医部会理事会について
- #### 医師連盟関係

(議決事項)

1. 推薦のお願いについて

来年1月に任期満了を迎える県知事選挙について、現職の河野知事から推薦願が出されたことから、6/16に開催予定の県医連執行委員会で協議することが承認された。

2. 6/16(土)(県医)県医師連盟執行委員会について

県医師連盟規約第13条に則り、各郡市医師連盟等から執行委員が選出されたことから、県医連執行委員会を開催し、平成29年度の会務報告を行うと共に平成29年度決算

等を協議することが承認された。

3. 6/17(日)(宮観ホテル) 自民党宮崎県第一選挙区支部総会の開催について

平成29年度の収支報告や役員改選(案)等を協議する総会で、自民党県連医療会支部長宛に出席依頼があり、河野委員長が出席する方向で調整することが承認された。

4. 7/8(日)(宮観ホテル) 衆議院議員 江藤拓『希望ある未来を拓く』政経セミナーについて

安倍晋三内閣総理大臣を講師に招き開催される政経セミナーで、協力することが承認された。

5. 7/8(日)(宮観ホテル) 内閣総理大臣 安倍晋三先生を囲む会について

自民党県連医療会支部長宛に懇談会の出席依頼があり、当日鹿児島出張等があるが、河野委員長が出席する方向で調整することが承認された。

6. 8/17(金)(宮観ホテル) 衆議院議員 武井俊輔 国政報告会のご案内について

現在、自民党政務調査会長補佐を務める武井議員が国政報告等を行う会で、協力することが承認された。

平成30年 6 月12日(火)第7回常任理事協議会

医師会関係
(議決事項)

1. 後援・共催名義等使用許可について

①「千年カルテプロジェクト」シンポジウムにおける後援について

→7/10(火)にテーマを「千年カルテの現状と未来～人・生命・生活への貢献を目指して」と題して開催されるシンポジウムで、後援することが承認された。

2. 6/16(土)県医師会総会等諸行事について

当日開催される8つのイベントについて、出欠及び役割分担等の最終確認が行わ

れた。

3. 宮崎県医師会役員等報酬支給について

県医師会役員等報酬等規程に基づき役員等報酬を支給することが承認された。

4. 役員退任に係る役員退任慰労金の支給について

県医師会役員等報酬等規程及び表彰並びに慶弔に関する内規に基づき、退任される(た)7名の役員等に慰労金を支給することが承認された。

5. 6/21(木)(宮崎市) 社会保険医療担当者の監査の実施に係る立会について

1 医療機関を対象に行われる監査で、立元常任理事を派遣することが承認された。

6. 業務委託について

①ロコモ予防みやぎきアクション事業の委託契約について

→ロコモティブシンドロームに関する正しい知識の提供や運動の実践によって健康寿命を延伸することを目的に行う事業で、一部減額されているものの引き続き契約を締結することが承認された。

7. 平成31年度地域医療介護総合確保基金(介護従事者確保分)に係る事業提案について

関係機関に照会の結果、「多様な人材層に対する介護人材キャリアアップ研修支援事業」2件と「認知症地域支援体制整備事業」を提案することが承認された。

8. 平成30年度県立学校医等に係る報酬基準額について

県立高等学校、特別支援学校等への学校医報酬で、基本額、内科管理指導費、検診料等の基準額が承認された。しかし、通常産業医報酬と比べると大きな開きがあることから、次年度以降増額を要望することが承認された。

(報告事項)

1. 週間報告について

2. 6/7(木)(宮大医学部)宮大医学部附属病院
マッチング説明会&県内基幹型臨床研修病
院説明会について
3. 6/8(金)(県医)都道府県医師会組織強化担
当役職員連絡協議会について
4. 6/9(土)・10(日)(長崎)日医公衆衛生委員会
答申・報告会について
5. 6/11(月)(県医)広報委員会について
6. 6/7(木)(県医)県認知症高齢者グループ
ホーム連絡協議会理事会について
7. 6/11(月)(県医)県臨床研修・専門研修運営
協議会WGについて

医師連盟関係

(議決事項)

1. 6/24(日)(ひまわり荘)選挙対策委員会の開
催について

来年任期満了を迎える参議院議員通常選
挙等の対応を検討する対策委員会で、河野
委員長が公務出張中のため、小牧常任執行
委員が出席することが承認された。

平成30年 6 月19日(火)第8回常任理事協議会

医師会関係

(議決事項)

1. 7/7(土)(霧島市)九州医師会連合会第371
回常任委員会の開催について

九医連の担当が7月1日に鹿児島県医師
会に引き継がれ、初めて開催される会で、
河野会長が出席することが承認された。

2. 10/6(土)(鹿児島市)九州医師会連合会平成30
年度第1回各種協議会の開催種目について

例年、「地域医療」・「医療保険」・「介護
保険」等、3つの対策協議会が開催されて
おり、希望する協議会がある場合には事務
局まで申し出ることとなった。

3. 本会外の役員等の推薦について

①宮崎県国民健康保険運営協議会委員の推

薦について

→国民健康保険事業の運営に関する事項
を審議する協議会で、本会の役員改選に
伴う後任の推薦依頼があり、医療保険担
当の小牧常任理事を推薦することが承認
された。

- ②宮崎大学医学部認定再生医療等委員会委
員の推薦について

→再生医療等の安全性の確保に関する法
律に関連する委員会で、本会の役員改選
に伴う後任の推薦依頼があり、倫理・自
浄担当の立元理事を推薦することが承認
された。

- ③宮崎大学医学部医の倫理委員会委員の推
薦について

→医の倫理的配慮を図ることを目的に設置
された委員会で、本会の役員改選に伴う
後任の推薦依頼があり、倫理・自浄担当
の立元理事を推薦することが承認された。

- ④宮崎県後期高齢者医療広域連合運営懇話
会委員の確認及び推薦について

→後期高齢者医療制度及び広域連合の運
営に関し、関係者から広く意見を求める
ために設置される懇話会で、介護保険担
当の石川常任理事を推薦することが承認
された。

- ⑤「宮崎県福祉サービス運営適正化委員会」
委員の任期満了に伴う委員候補者の推薦
について

→福祉サービス事業の運営監視と苦情解
決を目的に設置される委員会で、介護保
険担当の石川常任理事を推薦することが
承認された。

- ⑥宮崎県後期高齢者医療広域連合療養費適
正化研究会委員の推薦について

→内科2名、整形外科2名の推薦依頼が
あり、本会から石川常任理事(内科)と川
野理事(整形外科)、残りを県内科医会と

県整形外科医会に人選をお願いすることが承認された。

⑦宮崎県糖尿病・慢性腎臓病(CKD)対策検討会構成員の推薦について

→宮崎県糖尿病発症予防・糖尿病性腎症重症化予防指針に基づき、新しく設置される検討会で、金丸常任理事を推薦することが承認された。

⑧宮崎県健康づくり推進協議会委員の推薦について

→県民の健康づくりを計画的、効果的に推進するための基本方針や施策を検討するために設置される協議会で、任期満了に伴う推薦依頼があり、山村副会長を推薦することが承認された。

⑨宮崎県医療審議会の委員について

→県医療審議会委員の任期満了前ではあるが、本会の役員改選に伴い、濱田副会長に交代することが承認された。

4. 後援・共催名義等使用許可について

①10/13(土)(県立芸術劇場)第58回宮崎県精神保健福祉大会の後援について

→県民の心身の健康・保持増進に努めると共に地域社会における精神保健福祉の一層の向上を図ることを目的に、今年は宮崎市で開催される大会で、名義後援を行うことが承認された。

5. 世界医師会準会員の更新について

県医師会として、河野会長、濱田副会長の更新と山村副会長の新規加入の手続きを行うことが承認された。

6. 平成30年度救急医療事業功労者の知事表彰候補者の推薦について

救急医療体制の整備等、救急医療に関する功績が顕著な個人を表彰するもので、4名の先生方を推薦することが承認された。

7. 平成30年度救急医療事業功労者の厚生労働大臣表彰候補者の推薦について

多年にわたり地域の救急医療の確保、救急医療対策の推進に貢献した団体及び個人を表彰するもので、推薦回数、地域性を考慮し1名の個人を推薦することが承認された。

8. 第49回全国学校保健・学校医大会における日本医師会長表彰候補者の推薦について

今年度は鹿児島県で全国大会が開催されるため、九州ブロックが表彰の対象地域となっており、年齢及び校医年数を考慮し、本県から1名の学校医を推薦することが承認された。

9. 県感染症発生動向調査事業における指定届出機関の推薦について

国富町内で閉院に伴う辞退申出があったことから、新たに田中外科医院を推薦することが承認された。

(報告事項)

1. 週間報告について

2. 6/11(水)(支払基金)支払基金幹事会について

3. 6/19(火)(県庁)県移植推進財団評議員会について

4. 6/15(金)都道府県医師会予防・健康づくり(公衆衛生)担当理事連絡協議会について

5. 6/16(土)(県医)県医定例代議員会及び総会等について

6. 6/15(金)(福岡)九州ブロック医師の育成を考える会総会について

7. 6/14(木)(県医)園医部会理事会について

医師連盟関係

(議決事項)

1. 7/7(土)(霧島市)九州医連連絡会第27回常任執行委員会の開催について

九医連常任委員会と同日に開催される常任執行委員会で、河野委員長が出席すること及び提出議題等については河野委員長に一任することが承認された。

2. 日本医師連盟執行委員のご推薦について

任期満了に伴う推薦依頼で、河野委員長

と吉田常任執行委員を推薦することが承認された。

3. 平成31年度国・県に対する要望について

要望は、昨年提出した項目(税制・医師不足、有床診療所、予防接種及び小児医療、看護学校、国民皆保険、社会保障財源確保)に「働き方改革」を加え、文言等の見直しを行った上で再度協議する。またヒアリングには、河野委員長、吉田・小牧常任執行委員が出席することが承認された。九医連常任委員会と同日に開催される常任執行委員会で、河野委員長が出席すること及び提出議題等については河野委員長に一任することが承認された。

(報告事項)

1. 6/16(土)(県医)県医連執行委員会について

平成30年 6 月26日(火)第4回全理事協議会

医師会関係

(議決事項)

1. 宮崎県医師国民健康保険組合理事の推薦について

任期満了に伴う推薦依頼で、濱田副会長、佐々木(幸)・高村・石川常任理事、川野・佐々木(究)理事の6名を推薦することが承認された。

2. 会費減免申請について

高齢による会費減免(日医及び県医1名、日医のみ3名)4名と県医師会名誉会員に委嘱されることによる会費減免1名が承認された。

3. 職員の夏季手当支給について

県医師会職員給与規程等に基づき、宮崎県人事委員会の勧告及び諸状況等を参考に、期末・勤勉手当を支給することが承認された。

4. 管理職調整手当(平成30年6月)の支給について

管理職調整手当の支給に関する規程に基づき、期末勤勉手当に併せて支給することが承認された。

5. 本会外の役員等の推薦について

①第30回日本医学会総会2019中部登録推進ご担当役員ご推薦のお願い

→全国からの参加登録を期待し、総会の窓口となる登録推進担当役員を設置するもので、学術・生涯教育担当の嶋本理事を推薦することが承認された。

②宮崎県総合計画審議会委員の委嘱について

→知事の諮問機関として、県の総合計画等を調査する審議会で、任期満了に伴う委員の委嘱依頼があり、引き続き河野会長を委員とすることが承認された。

③宮崎県医療介護推進協議会の委員について

→県医療介護推進協議会委員の任期満了前ではあるが、本会の役員改選に伴い、濱田副会長に交代することが承認された。

6. 県医師会役員の役割分担について

臨時理事会(6/16)に提出した役割分担(一部修正)の再確認が行われた。なお、今後、担当の追加等を希望する場合には、総務担当理事に申し出ることが承認された。

7. 県医師会の各種委員会について

本会が設置する各種委員会の委員について、7月31日に開催する全理事協議会に提出すべく、各郡市医師会や専門分科医会の推薦及び公募等の作業を進めることが承認された。

8. 7/19(木)(JA-AZM)新規集団指導の実施について

6医療機関を対象に開催される新規集団指導の後、県医師会主催で県医師会の活動をテーマにした説明会を行うことが承認された。

9. 千年カルテプロジェクト実証事業への協力 のお願いについて

研究テーマのひとつである医療施設間の情報連携による患者への医療サービスの拡充を目的として、宮崎県をモデルエリアに実証研究を行うもので、各郡市医師会に案内を行う等して事業に協力することが承認された。

10. 平成30年度全国医師会医療秘書学院連絡協議会常任委員及び運営委員の推薦について

平成30年度、宮崎県医師会が担当し医療秘書学院を設置する13の都道府県医師会をもって構成される協議会で、常任委員に山村副会長、運営委員に池井常任理事を推薦することが承認された。

11. 平成30年度都道府県災害医療コーディネート研修受講者の推薦について

全国を三ブロックに分け、都道府県における災害医療コーディネーターの活動に必要な統括・調整体制の知識の習得等を目的に開催される研修会で、9月8日(土)、9日(日)の研修会に池井常任理事が出席することが承認された。

12. 8/18(土)・19(日)「第49回中四九地区医師会看護学校協議会」への担当理事派遣について

中国・四国・九州地区の医師会立看護学校35校が加盟し、学校運営と看護教育の発展向上に尽くすことを目的として設置される協議会で、佐々木(幸)常任理事が出席することが承認された。

13. 宮崎県医師会母体保護法指定医師審査委員会の委員について

指定医師の審査案件もあることから先に協議するもので、県医師会の副会長及び常任理事の委員4名、県医師会長の推薦する委員3名の計7名を委嘱することが承認された。

14. 業務委託について

①家族計画及び避妊指導に関する調査研究事業について

→望まない妊娠の防止や家族計画・避妊指導の充実を目的に、実態調査を行うと共に手引き等を作成・配付する事業で、引き続き契約を締結することが承認された。

15. 県医師会の主要な年間行事等について

役員改選が行われて2回目の会議となることから、1年間の主な行事について説明が行われた。また、全理事協議会を除いて毎週火曜日に行われていた常任理事協議会を、原則第1及び第3火曜日に開催することが承認された。

16. 7・8月の行事予定について

7月の追加及び一部訂正行事について確認が行われた。

(報告事項)

1. 6/21(木)(県医)県アイバンク協会評議員会について
2. 6/22(金)(東京)九州ブロック(次期)日医代議員連絡会議について
3. 6/23(土)・24(日)(日医)日医定例代議員会及び日医臨時代議員会関連行事について
4. 6/25(月)(宮大)宮大経営協議会について
5. 6/22(金)(県医)広報委員会について
6. 6/24(日)(ガーデンテラス宮崎)眼科女性医師の集いについて
7. 6/21(木)(宮観ホテル)病院部会・医療法人部会総会について
8. 6/20(水)(県医)産業医部会理事会について
9. 6/21(木)(宮崎市)社会保険医療担当者の監査について
10. 6/18(月)(県医)県有床診療所協議会役員会について

医師協同組合理事・運営委員会合同協議会

(議決事項)

1. 県医師協同組合運営委員会委員長、副委員長の選任について

県医師協同組合の役員を除く県医師会の理事(副会長, 常任理事含む)17名の中から, 県医師協同組合運営委員会の委員長を濱田副会長, 副委員長を池井常任理事とすることが承認された。

(報告事項)

1. 6/26(火)(県医)医協理事会について

医師連盟関係

(議決事項)

1. 7/14(土)(宮崎空港ビル)衆議院議員 橋本岳 先生を囲む懇談会のご案内について

県遺族連合会・各地区女性部長&青年部長の研修会により来県するもので, 本会から河野委員長, 濱田・吉田・佐々木(幸)常任執行委員が出席することが承認された。

(報告事項)

1. 6/24(日)(ひまわり荘)自由民主党県連選挙対策委員会について

お知らせ

応募要項

第2回 生命を見つめる フォト&エッセー

いのち

生命の大切さや
心温まるエピソードを
写真やエッセーで
伝えてみませんか

部門

フォト部門
エッセー部門

公式ホームページ
<http://inochi-photo-essay.com>

応募締め切り
2018年 **10月4日(木)** 必着

審査員

フォト部門
エッセー部門

主催(日本医師会、読売新聞社) 共催(県医師会、読売新聞社)
協賛(県医師会、読売新聞社、県医師会、読売新聞社、県医師会、読売新聞社)

第2回生命を見つめるフォト&エッセー
コンテスト概要

〈日程〉

【募集締切】

2018年10月4日(木) 必着

【入賞者発表】

2019年2月(予定)

【表彰式／記念パーティー】

2019年2月(予定)

【受賞作品新聞紙面掲載】

2019年3月(予定)

〈部門〉

フォト部門 エッセー部門

〈公式ホームページ〉

<http://inochi-photo-essay.com>

〈主催〉

日本医師会, 読売新聞社

〈お問い合わせ〉

03-3216-8606 (日本医師会)

県 医 の 動 き

(7月)

1	(大阪)レジナビフェア	15	(東京)レジナビフェア(金丸常任理事)
2	県警察医会協議会 県医医学会役員会(会長他)	17	母体保護法指定医師審査委員会(濱田副会長他) 医協打合せ会(吉田副理事長他) 第10回常任理事協議会(会長他)
3	(日医)日医連執行委員会(吉田執行委員) 治験審査委員会(荒木常任理事他) 第9回常任理事協議会(会長他)	18	各専門分科医会長会(会長他)
4	第1回外国人医療対策会議(日医TV会議) (池井常任理事) 在宅医療研修会企画小委員会(石川常任理事)	19	宮大医学部医の倫理委員会(立元理事) 内外情勢調査会・宮崎支部懇談会(会長) 社会保険医療担当者(医科)の新規集団指導 妊婦健診等に関する県との打ち合わせ (濱田副会長他) 新規保険医療機関への説明会(会長他)
5	みやざき子育てサポートセンターサポート 会員養成講座(荒木常任理事) 医師国保組合理事会(秦理事長他)	20	自民党県連国・県に対する要望ヒアリング (河野委員長他) 医師国保組合通常組合会(秦理事長他) 医師国保組合理事会(秦理事長他)
6	県医療介護推進協議会(会長他) 東九州メディカルバレー構想宮崎県推進会議 (池井常任理事) 県医療審議会(会長他) 県周産期医療協議会(嶋本理事)	21	(福岡)九州医師協同組合連合会購買・保険 部会
7	県認知症高齢者グループホーム連絡協議会 理事会(石川常任理事) 県認知症高齢者グループホーム連絡協議会 総会・研修会(石川常任理事) (鹿児島)九医連常任委員会(会長) (鹿児島)九州医連連絡会常任執行委員会 (河野委員長)	22	(福岡)日本プライマリ・ケア連合学会九州 支部 役員会(金丸常任理事)
8	(鹿児島)九医連常任委員会視察(会長) 衆議院議員江藤拓「希望ある未来を拓く」政 経セミナー	23	宮崎県糖尿病・慢性腎臓病(CKD)対策検討会 (金丸常任理事) 広報委員会(荒木常任理事他)
9	県地方独立行政法人評価委員会(会長)	24	(日医)日医連執行委員会(河野委員長) (東京)日医役員就任披露パーティー(会長)
10	県後期高齢者医療広域連合運営懇話会 (石川常任理事)	25	労災診療指導委員会(川野理事) 県自殺対策推進協議会(吉田常任理事) 社会保険医療担当者の特定共同指導 (荒木常任理事他)
11	社会保険医療担当者の監査(荒木常任理事) 支払基金幹事会(会長) 広報委員会(荒木常任理事他) 宮崎市郡医師会7月例会並びに特別講演会(会長)	26	労災部会自賠委員会 宮崎信販との懇談会(会長他) 損害保険医療協議会
12	県産婦人科医会情報システム・広報委員会 (嶋本理事) 県国保運営協議会(小牧常任理事) 県産婦人科医会常任理事会(嶋本理事)	27	(東京)九州各県アイバンク連絡協議会・全 国アイバンク連絡協議会 社会保険医療担当者の特定共同指導(岩村理事) 県ジェネリック医薬品安心使用促進協議会 (池井常任理事)
13	(沖縄)九州各県保健医療福祉主管部長・九 州各県医師会長合同協議会(会長)	28	県産婦人科医会新生児蘇生法講習会 人体シミュレータを用いた在宅医療研修会 (石川常任理事)
14	県外科医会理事・評議員会(岩村理事) 県整形外科医会評議員会 県外科医会総会(岩村理事) 県整形外科医会理事会 県整形外科医会総会 労災部会総会(川野理事他) 県外科医会・県整形外科医会・労災部会合 同学会(川野理事他) 衆議院議員橋本岳先生を囲む懇談会 (河野委員長他)	28 { 29	(山口)全国有床診療所連絡協議会総会(会 長他)
		29	職員採用試験(一次)
		30	県国保連合会理事会(秦理事長) 県国保連合会通常総会(秦理事長) ドクターヘリ運航調整委員会(米澤理事)
		31	医協理事会(河野理事長他) 第5回全理事協議会(会長他) 県福祉保健部・病院局と県医師会との意見 交換会(会長他)

医師国保組合だより

医師国保からのお知らせ

<保健事業について>

医師国保組合では、次のとおり保健事業を実施しております。それぞれの実施期間及び接種期間は平成31年3月末日までです。請求方法等の詳細は、組合員宛に送付しております「保健事業の案内」または、当組合ウェブサイトをご覧ください。

1	健康診断	4	脳ドック等の補助
2	胃・大腸内視鏡検査の補助	5	肺炎球菌ワクチン接種補助
3	低線量ヘリカルCT肺がん検診	6	歯科健康診査

<70歳以上の方の高額療養費の負担限度額について>

平成30年8月から、医療保険制度改正により、70歳以上の現役並み及び一般の方の高額療養費の自己負担限度額が変更となります（変更箇所は下図の太枠部分）。変更等の詳細は、高齢受給者証の送付の際に添付しておりますパンフレット「高額療養費制度改正のお知らせ」または、当組合ウェブサイトをご覧ください。

所得区分		外来（個人ごと）	入院・世帯単位
現役並みⅢ 課税所得 690万円以上		252,600円 + (総医療費 - 842,000円) × 1 % ＜多数回該当：140,100円＞	
現役並みⅡ 課税所得 380万円以上 690 万未満		167,400円 + (総医療費 - 558,000円) × 1 % ＜多数回該当：93,000円＞	
現役並みⅠ 課税所得 145万円以上 380 万未満		80,100円 + (総医療費 - 267,000円) × 1 % ＜多数回該当：44,400円＞	
一般 (現役並み所得者にも低所得者にも 該当しない方)		18,000円 〔年間上限 14.4 万円〕	57,600円 ＜多数回該当：44,400円＞
低所得 (住民税非課税世帯に 属する方)	Ⅱ	8,000円	24,600円
	Ⅰ		15,000円

これまで、70歳以上の方は保険証と高齢受給者証の提示により、医療機関での支払は自己負担限度額までとなっておりますが、「現役並みⅡ・現役並みⅠ」の方につきましては、8月以降「限度額適用認定証」が別途必要となりますのでご注意ください。該当される方は「限度額適用標準負担額減額認定申請書」のご提出をお願いします。

<健康保険適用除外申請の手続きについて>

医師国保に既にご加入の方は、事業所が法人化する等で健康保険の適用となる場合でも、健康保険適用除外の承認を受けることにより、引き続き医師国保に残ることができます。

健康保険の適用除外承認申請が必要になったときは、事実の発生した日から必ず14日以内に年金事務所に届け出なければなりませんので、まずは当組合までお問合せください。

(問合せ先) 宮崎県医師国民健康保険組合

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地 TEL：0985-22-6588 FAX：0985-27-6550

※ 各種申請書は、当組合ウェブサイトからダウンロードできます。

<http://www.miyazaki.med.or.jp/kokuho/>

ドクターバンク情報

(無料職業紹介所)

平成30年 7 月12日現在

本会では、会員の相互情報サービスとしてドクターバンク(求人・求職等の情報提供)を設置しております。登録された情報は、当紹介所で管理し秘密は厳守いたします。

現在、下記のとおり情報が寄せられております。お気軽にご利用ください。

お申し込み、お問い合わせは当紹介所へ直接お願いいたします。

また、宮崎県医師会ホームページでも手続きと情報のあらしを紹介しておりますのでご覧ください。

1. 求職者登録数 5人

1) 男性医師求職登録数 4人 (人)

希望診療科目	求職数	常 勤	非常勤
内 科	3	1	2
外 科	0	0	0
老 健	1	1	0

2) 女性医師求職登録数 1人 (人)

希望診療科目	求職数	常 勤	非常勤
眼 科	1	0	1

2. 斡旋成立件数 64人 (人)

	男性医師	女性医師	合 計
平 成 30 年 度	1	1	2
平成16年度から累計	47	17	64

3. 求人登録 91件 342人 (人)

募集診療科目	求人数	常 勤	非常勤	募集診療科目	求人数	常 勤	非常勤
内 科	100	76	24	消 化 器 外 科	4	2	2
外 科	30	24	6	乳 腺 外 科	3	3	0
整 形 外 科	26	22	4	健 診	8	5	3
精 神 科	16	14	2	泌 尿 器 科	2	1	1
脳 神 経 外 科	12	8	4	産 婦 人 科	1	1	0
循 環 器 科	10	7	3	検 診	3	1	2
消 化 器 内 科	15	12	3	皮 膚 科	5	2	3
麻 酔 科	13	10	3	婦 人 科	2	2	0
眼 科	7	4	3	呼 吸 器 外 科	4	3	1
放 射 線 科	11	10	1	人 工 透 析	7	5	2
小 児 科	4	2	2	リ ウ マ チ 科	1	1	0
呼 吸 器 科	3	3	0	臨 床 病 理 科	1	1	0
在 宅 診 療	2	2	0	形 成 外 科	2	1	1
総 合 診 療 科・内 科	3	3	0	診 療 科 目 不 問	3	3	0
神 経 内 科	8	6	2	緩 和 ケ ア	1	1	0
呼 吸 器 内 科	10	9	1	内 分 泌 糖 尿 病 内 科	1	1	0
リハビリテーション科	4	4	0	そ の 他	11	8	3
救 命 救 急 科	9	9	0	合 計	342	266	76

求 人 登 録 者(公開)

※求人情報は、申し込みが必要です。宮崎県医師協同組合、
無料職業紹介所(ドクターバンク)へお申し込み下さい。

※下記の医療機関は、公開について同意をいただいております。

登録番号	施 設 名	所 在 地	募集診療科	求人数	勤務形態
160011	赤十字センター	宮 崎 市	検診	3	常勤・非常勤
160013	医)三晴会 金丸脳神経外科病院	宮 崎 市	脳外,整,放,麻,内	9	常勤・非常勤
160017	医)プレストピア プレストピア宮崎病院	宮 崎 市	乳外,放,麻	3	常勤
160020	財)弘潤会 野崎病院	宮 崎 市	精,内	2	常勤
160031	社医)同心会 古賀総合病院	宮 崎 市	呼内,神内,総診,呼外,病理, 乳外,整,麻,代内	9	常勤
160033	医)如月会 若草病院	宮 崎 市	精	1	常勤
170046	医)社団善仁会 市民の森病院	宮 崎 市	消内,内分泌糖内,呼内,リウ, 神内,健診	9	常勤・非常勤
170048	医)慶明会 けいめい記念病院	国 富 町	内,放	2	常勤
180082	国立病院機構宮崎東病院	宮 崎 市	内,神内,整,消内,腫内	5	常勤
190087	宮崎市郡医師会病院	宮 崎 市	消内,呼内,総診	6	常勤
190094	医)耕和会 迫田病院	宮 崎 市	内,外	2	常勤
190095	医)慶明会 宮崎中央眼科病院	宮 崎 市	眼	1	常勤
200104	医)社団善仁会 宮崎善仁会病院	宮 崎 市	内,外,救急,呼外,婦人,整,麻	12	常勤
200105	医)誠友会 南部病院	宮 崎 市	外,内,放	3	常勤
210110	医)幸秀会 大江整形外科病院	宮 崎 市	整	1	常勤
210128	医)真愛会 高宮病院	宮 崎 市	精	2	常勤
230132	医)康友会 青島クリニック	宮 崎 市	内	1	常勤
230134	医)慈光会 宮崎若久病院	宮 崎 市	精	2	常勤
230139	介護老人保健施設 サンフローラみやざき	国 富 町	内,外	2	常勤
230143	医)社団孝尋会 上田脳神経外科	宮 崎 市	脳外,内	2	常勤
230144	宮崎生協病院	宮 崎 市	呼内,消内,健診,麻	7	常勤・非常勤
230146	財)潤和リハビリテーション振興財団 潤和会記念病院	宮 崎 市	内,外,整,脳外,リハ,麻,救急, 緩和	13	常勤
230148	医)コムロ美容外科	宮 崎 市	美外,形成外,外,麻	8	常勤・非常勤
230161	医)健心会 滝口内科医院	宮 崎 市	内,皮	2	非常勤
230164	宮崎県保健所	宮 崎 市	公衆衛生	3	常勤
230175	社会福祉法人 キャンパスの会	宮 崎 市	内,小,整(いずれか)	1	常勤
230177	医)社団尚成会 近間病院	宮 崎 市	内,消内,消外,放(いずれか)	1	常勤
230178	介護老人保健施設 むつみ苑	宮 崎 市	内	1	常勤
230180	一社)藤元メディカルシステム 藤元中央病院	宮 崎 市	内,糖内,呼内,血内	4	常勤
230184	グリーンケア学園木花台	宮 崎 市	内	1	非常勤
230185	医)朋詠会 獅子目整形外科病院	宮 崎 市	整,内	2	常勤
160010	特医)敬和会 戸嶋病院	都 城 市	内,消内,整,神内	7	常勤・非常勤
160018	医)宏仁会 メディカルシティ東部病院	都 城 市	内,放,脳外,外,眼,透,皮,腎内	22	常勤・非常勤
170057	医)清陵会 隅病院	都 城 市	内,外,整	3	常勤
180064	国立病院機構都城医療センター	都 城 市	呼内,総診,消内,腫内	4	常勤
180081	恵心会 永田病院	都 城 市	精	2	常勤・非常勤
190092	都城市郡医師会病院	都 城 市	内,呼内,消内	5	常勤
210114	藤元病院	都 城 市	精,内	3	常勤
230127	医)倫生会 三州病院	都 城 市	消内,消外,乳外	5	常勤・非常勤
230137	医)宏仁会 海老原内科	都 城 市	内	1	常勤
230142	医)魁成会 宮永病院	都 城 市	内,リハ	2	常勤
230153	都城健康サービスセンター	都 城 市	内	1	非常勤

登録番号	施 設 名	所 在 地	募集診療科	求人数	勤務形態
230162	藤元総合病院	都 城 市	内,透,循内,救急,放,呼内	12	常勤
230172	医)静雄会 藤元上町病院	都 城 市	内	2	常勤
230179	医)与州会 柳田病院	都 城 市	外	1	常勤
230181	介護老人保健施設 はまゆう	三 股 町	内	1	常勤
230183	医)恵心会 坂元医院	都 城 市	消内,老人内,内	5	常勤・非常勤
230191	医)森山内科・脳神経外科	都 城 市	内	1	非常勤
160012	医)伸和会 共立病院	延 岡 市	外,整,放,内	6	常勤
160021	医)建悠会 吉田病院	延 岡 市	精	3	常勤・非常勤
160034	特医)健寿会 黒木病院	延 岡 市	消外,消内	4	常勤・非常勤
190086	早田病院	延 岡 市	消内,循内	2	常勤
200100	医)育生会 井上病院	延 岡 市	産婦,内,小	3	常勤・非常勤
200102	延岡市医師会病院	延 岡 市	消内,消外,内	3	常勤
210109	延岡市夜間急病センター	延 岡 市	内,小	2	非常勤
230156	医)中心会 野村病院	延 岡 市	内,外	2	常勤
230163	堺胃腸科内科クリニック	延 岡 市	内,胃内,消内,呼内,循内 (いずれか)	1	非常勤
230186	医)隆誠会 延岡保養園	延 岡 市	精	1	常勤
230189	特医)健腎会 おがわクリニック	延 岡 市	泌,透	4	常勤・非常勤
160039	医)誠和会 和田病院	日 向 市	外,整	4	常勤
210111	宮崎県済生会 日向病院	門 川 町	内,麻	3	常勤
230147	美郷町国民健康保険西郷病院	美 郷 町	内,整	2	常勤
230152	美郷町国民健康保険南郷診療所	美 郷 町	内,整	2	常勤
230160	日向市立東郷病院	日 向 市	内,整	2	常勤
230190	稲原眼科医院	日 向 市	眼	1	非常勤
160006	都農町国保病院	都 農 町	内,放,外,健診	5	常勤・非常勤
160023	医)宏仁会 海老原総合病院	高 鍋 町	内,腎内,麻,総診,外,整,脳外, 眼,健診	13	常勤・非常勤
230170	介護老人保健施設 なでしこ園	高 鍋 町	内	1	常勤
230187	国立病院機構宮崎病院	川 南 町	呼内,循内,糖内,神内,小,整	12	常勤・非常勤
160024	医)隆徳会 鶴田病院	西 都 市	内	1	常勤
150002	医)慶明会 おび中央病院	日 南 市	内	4	常勤・非常勤
150003	医)同仁会 谷口病院	日 南 市	内	1	非常勤
160022	医)愛鍼会 山元病院	日 南 市	内	1	常勤
160037	医)十善会 県南病院	串 間 市	精,内	2	常勤
170047	日南市立中部病院	日 南 市	内,外,整,在宅	4	常勤
180071	串間市民病院	串 間 市	内,外,総診,消内,腎内	5	常勤
230149	介護老人保健施設 おびの里	日 南 市	内	1	常勤
230166	医)秀英会 介護老人保健施設 長寿の里	串 間 市	内	1	常勤
230168	医)月陽会 きよひで内科クリニック	日 南 市	内	7	常勤・非常勤
230188	医)春光会 日南春光会病院	日 南 市	外,内	4	常勤・非常勤
160019	医)相愛会 桑原記念病院	小 林 市	内,皮	4	常勤・非常勤
170043	医)和芳会 小林中央眼科	小 林 市	眼	2	常勤・非常勤
180067	小林市立病院	小 林 市	救急,総診,放	5	常勤
180076	医)けんゆう会 園田病院	小 林 市	外,循内,整,脳外	9	常勤・非常勤
190090	特医)浩然会 内村病院	小 林 市	精	1	常勤
190091	医)友愛会 野尻中央病院	小 林 市	整,内,脳外	6	常勤・非常勤
230167	介護老人保健施設 さわやかセンター	小 林 市	内	1	非常勤
230169	医)連理会 和田クリニック	小 林 市	内	2	常勤
170049	五ヶ瀬町国民健康保険病院	五ヶ瀬町	内,外	2	常勤
180070	高千穂町国保病院	高千穂町	内,透	3	常勤
190088	日之影町国保病院	日之影町	内,外(いずれか)	1	常勤

病医院施設の譲渡・賃貸

◆譲渡，賃貸希望の物件を紹介いたします。

平成30年 7 月12日現在

1. 譲渡物件	① 宮崎市阿波岐ヶ原町前田2633番, 2634番 土地のみ：2,022.17㎡(612.77坪)	所有者：児湯医師会員 (医) 崧雲会 林クリニック
	② 西都市中央町2丁目6番地 土地：2,280.83㎡(691.16坪) 建物：鉄筋コンクリート造陸屋根3階建 1階 674.74㎡ 2階 547.79㎡ 3階 177.95㎡ 1,400.48㎡(424.38坪) ※別途駐車場あり(20台)	所有者：西都市西児湯医師会員 図師医院跡
2. 譲渡又は 賃貸物件	① 小林市南西方49番地1 土地：1,991.34㎡(603.43坪) 建物：鉄筋コンクリート造陸屋根2階建 1階 471.41㎡ 2階 638.35㎡ 1,109.76㎡(336.29坪) ※駐車場あり(30台)	所有者：(医) 社団 産婦人科 生駒クリニック
	② 児湯郡川南町大字平田1402-74 土地：4,449㎡(1,348.18坪) 建物：鉄骨セメント造平屋建 1階 825.66㎡(250.20坪) ※駐車場あり(70台)	所有者：児湯医師会員 (医) 崧雲会 林クリニック
3. 賃貸物件	① 延岡市無鹿町1丁目710 土地：1,654.58㎡(501.38坪) 建物：鉄筋コンクリート造陸屋根4階建 1階 145.76㎡ 2階 338.70㎡ 3階 330.69㎡ 4階 14.25㎡ 829.40㎡(251.33坪) ※駐車場あり(50台)	所有者：(医) 社団 隆豊会 江崎医院跡
	② 西臼杵郡高千穂町大字上野264番地 土地：875㎡(265.15坪) 建物：木造瓦葺平家建 1階 114㎡(34.54坪) ※駐車場あり(20台)	所有者：西臼杵郡医師会員 後藤医院跡

ドクターバンク無料職業紹介所利用のご案内

1. 取扱範囲は宮崎県内全域です。但し，求職者は県外でも結構です。
2. 紹介受付は，月～金の9時～12時及び13時～17時です。
3. 申込み方法は，所定の用紙「求職票」「求人票」にご記入後登録させていただきます。
4. ご希望に沿った先を斡旋させていただきます。
5. 求職者の紹介時には各医療機関で医師免許等のご確認をお願いいたします。
6. 斡旋成立時の紹介料は，「求人」「求職」いずれも無料です。

お問合せ先

ドクターバンク無料職業紹介所

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地(宮崎県医師協同組合)
TEL 0985-23-9100(代)・FAX 0985-23-9179
E-mail: isikyout@miyazaki.med.or.jp

日州医事へのご意見・ご感想をお待ちしています

宮崎県医師会広報委員会

E-Mail : genko@miyazaki.med.or.jp

FAX : 0985-27-6550

TEL : 0985-22-5118

日州医事では、読者の皆様から広くご意見・ご感想・ご要望をお待ちしています。本誌に対するご感想や、読みたい記事のご提案など、忌憚のないご意見を是非お寄せください。

なお、いただいたご意見は「読者の広場」として日州医事上で匿名にて紹介させていただくことがあります。掲載を希望されない場合はその旨お知らせください。

注：FAXの際は、このページを切り取り、
裏面の原稿用紙もご利用になれます。

宮崎県医師会広報委員会 行 FAX : 0985-27-6550

き
り
と
り
せ
ん

お名前： _____

ご所属： _____

TEL： _____ FAX： _____

宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

平成30年 7 月31日

8				月			
1	水	19:00	生活習慣病検診各部会長連絡会議	17	金	18:30	県外科医会夏期講演会
		19:00	若手記者と広報委員会との懇談会				
2	木					13:50	(長崎)中四九地区医師会看護学校協議会
						14:30	産業医研修会(前期)
						15:00	母体保護法指定医師研修会
3	金	18:30	県国保連合会保健事業支援・評価委員会	18	土	15:00	学校医部会総会・医学会(TV会議)
						15:30	(長崎)九州地区医師国保組合連合会理事会
						16:00	(長崎)九州地区医師国保組合連合会全体協議会
4	土	13:45	大規模地震時医療活動訓練 県プライマリ・ケア研究会 世話 人会・総会・研修会				
		14:00	人体シミュレータを用いた在宅 医療研修会	19	日	9:00	(長崎)中四九地区医師会看護学校協議会
						10:00	職員採用試験(二次)
5	日	9:00	人体シミュレータを用いた在宅 医療研修会			14:00	宮崎から医師を目指そう!フォーラム
				20	月		
6	月	19:00	県内科医会理事会	21	火	18:20	医協打合せ会
		19:00	臨床検査精度管理調査インター ネット回答方法に関する説明会 (TV会議)			19:00	第12回常任理事協議会
				22	水	15:00	県健康長寿社会づくり推進会議
7	火	18:00	治験審査委員会			15:30	宮大学長選考会議
		19:00	第11回常任理事協議会			19:00	広報委員会
8	水	10:00	国保に係る九州厚生局・県によ る指導監査	23	木	13:30	社会保険医療担当者の個別指導
		14:00	県がん診療連携協議会	24	金	14:00	保育事業養成講座
		16:00	支払基金幹事会			14:00	在宅医療協議会役員会
9	木	13:30	社会保険医療担当者の新規個別指導	25	土	15:00	在宅医療協議会総会・研修会
		19:30	県産婦人科医会全理事会			16:00	(鹿児島)九医連常任委員会
						17:00	(鹿児島)九医連定例委員総会
10	金					18:10	(鹿児島)九州医連連絡会執行委員会
11	土	(山の日) 9:00	医療メディエーター研修会(基 礎編)	26	日	9:55	地域包括加算・ 地域包括診療料に係る かかりつけ医研修会(TV会議)
12	日	9:00	医療メディエーター研修会(基 礎編)	27	月	15:00	県立病院事業評価委員会
13	月			28	火	18:00	医協理事会
						18:30	第6回全理事協議会
14	火					19:00	役員職員懇談会
15	水			29	水	15:00	労災診療指導委員会
16	木			30	木	14:00	医療勤務環境改善支援センター アドバイザー研修会
						19:00	医師国保組合理事会
				31	金		

※都合により、変更になることがあります。
行事予定は県医師会のホームページからご覧になれます。

宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

平成30年 7 月31日

9			月			
1	土	15：30 県医師会医学会 (熊本)全国国保組合協会九州支 部幹事会・総会	15	土	13：00 保育支援事業スキルアップ 研修会／全体顔合わせ会 15：00 日医生涯教育協力講座セミナー (TV会議)	↑ 国 保 審 査
2	日		16	日		
3	月	19：00 宮大医学部 5 年生未来の医療を 語り合う全員交流会	17	月	(敬老の日)	
4	火	18：00 治験審査委員会 19：00 第13回常任理事協議会	18	火	15：00 (日医)都道府県医師会長協議会 19：00 第14回常任理事協議会	↓ 社 保 審 査
5	水		19	水		
6	木		20	木	19：30 県産婦人科医会常任理事会	
7	金	19：00 認知症サポート医フォローアッ プ研修会(TV会議)	21	金	19：00 広報委員会	↑ 社 保 審 査
8	土	14：30 産業医研修会(前期) 15：00 県産婦人科医会秋期総会 15：00 園医部会総会・研修会(TV会議)	22	土	15：00 全国医師会医療秘書学院連絡 協議会定例総会・運営委員会 15：00 医療現場のワークライフ バランスセミナー	
9	日		23	日	(秋分の日)	
10	月	19：00 県糖尿病対策推進会議幹事会	24	月	(振替休日)	↓
11	火	19：00 土曜会(報道機関支局長の会)と の意見交換会	25	火	19：00 第 7 回全理事協議会	
12	水	16：00 支払基金幹事会 19：00 広報委員会	26	水	15：00 労災診療指導委員会	
13	木	19：00 医療勤務環境改善支援セミナー	27	木		↓
14	金	19：00 三師会懇談会	28	金	18：30 治験セミナー (TV会議) 19：00 損保ジャパン日本興亜との懇談会	
			29	土	県有床診療所協議会総会・講演会	
※都合により、変更になることがあります。 行事予定は県医師会のホームページからご覧になれます。			30	日		

医 学 会 ・ 講 演 会

日本医師会生涯教育講座認定学会

単位：日本医師会生涯教育制度認定単位数，CC：カリキュラムコード(当日，参加証を交付)

がん検診：各種がん検診登録・指定・更新による研修会(胃・大腸・肺・乳)

アンダーラインの部分は，変更になったところです。

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連絡先
宮崎県医師会産業 医研修会 8月2日(木) 19:00～21:00 県医師会館	作業現場における暑熱環境対策 産業保健相談員 宮崎県立看護大学 教授 生涯研修の専門研修会：2単位	江藤 敏治 9 (0.5) 11 (0.5) 31 (0.5) 32 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
宮崎県医師会産業 医研修会 8月3日(金) 19:00～21:00 延岡市医師会病院	化学物質の労働衛生管理について 産業保健相談員 労働衛生コンサルタント 生涯研修の専門研修会：2単位	下津 義博 1 (0.5) 7 (0.5) 9 (0.5) 11 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
宮崎県プライマリ・ ケア研究会総会・研 修会 8月4日(土) 14:10～16:35 JA-AZMホール	オーラルフレイルを予防する事とは 宮崎県歯科医師会理事 青山歯科医院 院長 口腔機能を低下させないための口腔ケア実践講習 宮崎市郡歯科医師会 宮崎歯科福祉センター 歯科衛生士	青山 修 11 (0.5) 43 (0.5) 10 (0.5) 13 (0.5) 他	◇主催 宮崎県プライマリ・ケア研究会 ◇後援 (連絡先) 宮崎県医師会 ☎0985-22-5118

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連 絡 先
第24回宮崎心エコー研究会 8月6日(月) 19:00～20:40 宮崎観光ホテル	心エコーで旅する最新治療から世界の果てまで・・・?! 小倉記念病院循環器内科 副部長 磯谷 彰宏	9 (1.0)	◇主催 宮崎心エコー研究会 ◇共催 第一三共(株) (連絡先) 宮崎市郡医師会病院 ☎0985-24-9119
第3回在宅医療推進のための連携・スキルアップ研修会 8月9日(木) 19:00～21:00 県医師会館	当科における在宅褥瘡患者との関わり 宮崎江南病院形成外科 部長 大安 剛裕	58 (1.0)	◇主催 宮崎市郡在宅医会 (連絡先) 宮崎市郡医師会病院 ☎0985-24-9119
都城市北諸県郡医師会学術講演会 8月10日(金) 19:00～20:40 ホテル中山荘	糖尿病患者の治療中断—その特徴と対策— 医療法人魁成会 宮永病院 糖尿病センター長 西 勇一	1 (0.5)	◇主催 ※都城市北諸県郡医師会 ☎0986-22-0711 ◇共催 MSD株式会社
	糖尿病腎症の治療はeGFR30までできる—それまでにどう診るか— 仁医会病院／内科阿部医院 院長 阿部 克成	4 (0.5) 73 (0.5)	
延岡医学会学術講演会—第7回県北てんかん治療を考える会— 8月10日(金) 19:00～20:40 エンシテイホテル延岡	乳児早期にサプレッションバーストを呈したてんかん性脳症の症例について 宮崎県立延岡病院小児科 副医長 吉田 敬伸	29 (0.5)	◇主催 延岡医学会 ◇共催 大塚製薬株式会社 ユーシービージャパン株式会社 (連絡先) 延岡市医師会 ☎0982-21-1300
	てんかん診療ガイドライン2018改訂のポイント 東北大学医学系研究科てんかん学分野 准教授 神 一敬	32 (0.5) 35 (0.5)	

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連 絡 先
平成30年度宮崎県 外科医会夏期講演 会(日本臨床外科 学会地方会) 8月17日(金) 18:30～20:30 県医師会館	会 員 発 表：上 行 結 腸 に 発 生 し た Inflammatory mofibroblastic tumor の 1 例， 他 都城市郡医師会病院外科 落合 貴裕 他	15 (2.0)	◇主催 宮崎県外科医会 (連絡先) 宮崎県医師会 ☎0985-22-5118
延岡医学会学術講 演会 8月17日(金) 19:00～20:30 エンシティホテル 延岡	WEEKLY DPP-4阻害薬の有用性について 宮崎大学医学部内科学講座 神経呼吸内分泌代謝学分野 佐土原 啓輔	9 (0.5)	◇主催 延岡医学会 ◇共催 MSD株式会社 アステラス製薬株式会社 (連絡先) 延岡市医師会 ☎0982-21-1300
	大分県における糖尿病発症・重症化予防への取り組み 大分内分泌糖尿病内科クリニック 院長 但馬 大輔	7 (0.5) 10 (0.5)	
宮崎県医師会産業 医研修会 8月18日(土) 14:30～17:30 県医師会館	職場における作業管理の工夫 三財病院 副院長 松本 英裕	1 (0.5) 7 (0.5) 9 (0.5) 0 (0.5)	◇主催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118
	仕事にハンディのある方のために産業医が知っておきたいこと 宮崎大学医学部附属病院 産業医 楠元 和美 基礎研修の前期研修会：1単位	5 (0.5) 70 (0.5)	

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連 絡 先
平成30年度宮崎県 医師会学校医部会 総会・医学会(TV 会議) 8月18日(土) 15:00～17:30 県医師会館	おたふく風邪による難聴と治療の現状 宮崎大学医学部耳鼻咽喉・頭頸部外科学 講師 我那覇 章	8 (0.5) 38 (0.5)	◇主催 宮崎県医師会学校医部会 (連絡先) 宮崎県医師会 ☎0985-22-5118
	学童期と発達障害 宮崎市総合発達支援センター 所長 大庭 健一	72 (1.0)	
平成30年度第1回 宮崎県医師会母体 保護法指定医師研 修会 8月18日(土) 15:00～18:10 宮崎観光ホテル	【専門医共通講習－③医療安全(必修)】 医療安全・救急処置に関するもの 北里大学医学部産婦人科学 教授 海野 信也	2 (1.0)	◇主催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118
	母体保護法の趣旨と適切な運用 宮崎県産婦人科医会 副会長 嶋本 富博	6 (1.0)	
	【専門医共通講習－①医療倫理(必修)】 生命倫理に関するもの 宮崎県産婦人科医会 常任理事 山口 昌俊	7 (1.0)	
宮崎県医師会産業 医研修会 8月23日(木) 19:00～21:00 県医師会館	職員の面談ーまた来てもいいですかー 産業保健相談員 都城新生病院 前原 正法 生涯研修の専門研修会：2単位	1 (0.5) 5 (0.5) 11 (0.5) 69 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連絡 先
西都市西児湯内科 医会学術講演会 8月23日(木) 19:00～20:45 ホテルプリムロー ズ西都	増える在宅患者－慢性便秘症診療をどうするべきか－ 藤元総合病院在宅医療センター長 在宅診療科(緩和ケア)部長 馬見塚 勝郎	54 (1.0) 80 (0.5)	◇主催 西都市西児湯内科医会 ◇共催 ※西都市西児湯医師会 ☎0983-43-1687 マイランEPD合同会社
延岡医学会学術講 演会－宮崎県北地 区消化器内視鏡懇 談会－(胃がん検 診研修会) 8月24日(金) 18:50～20:30 エンシテイホテル 延岡	上部・下部消化管ESDのUP TO DATE 長崎大学病院光学医療診療部 准教授 山口 直之	7 (0.5) 9 (0.5) 50 (0.5) ㊦	◇主催 延岡医学会 ◇共催 宮崎県北地区消化器内視鏡懇談会 EAファーマ株式会社 エーザイ株式会社 (連絡先) 延岡市医師会 ☎0982-21-1300
第52回宮崎救急医 学会 8月25日(土) 13:00～18:00 都城市ウェルネス 交流プラザ 参加費:500円	CBRNE 災害対策と医療対策の重要性 －医療機関・消防機関に求められるもの－ NBCR対策推進機構 理事長 井上 忠雄	14 (0.5) 57 (0.5)	◇主催 第52回宮崎救急医学会 (連絡先) 都城市郡医師会病院 ☎0986-36-8300
宮崎県医師会在宅 医療協議会総会・ 研修会 8月25日(土) 15:00～17:30 県医師会館	福岡県における在宅医療(訪問診療)の現況 福岡県医師会 常任理事 辻 裕二 ----- ICTでつなぐ県全域の医療介護連携の実際と未来 －栃木県「とちまる・どこでもネット」4年間の経験から－ 栃木県医師会 常任理事 長島 公之	80 (1.0) 12 (1.0)	◇主催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連 絡 先
平成30年度 地域 包括診療加算・地 域包括診療料に係 るかかりつけ医研 修会(日医TV会議) 8月26日(日) 9:55～17:30 県医師会館	糖尿病 医療法人社団 弘健会菅原医院 院長 菅原 正弘	76 (1.0)	◇主催 日本医師会 (連絡先) 宮崎県医師会 ☎0985-22-5118
	認知症 医療法人 ゆう心と体のクリニック 院長 瀬戸 裕司	29 (1.0)	
	脂質異常症 江草玄士クリニック 院長 江草 玄士	75 (1.0)	
	高血圧症 角谷リハビリテーション病院 院長 有田 幹雄	74 (1.0)	
	禁煙指導 日本医師会 常任理事 羽鳥 裕	11 (0.5)	
	健康相談 医療法人社団 つくし会 理事長 新田 國夫	4 (0.5)	
	在宅医療 医療法人アスムス 理事長 太田 秀樹	80 (0.5)	
	介護保険 医療法人池慶会 池端病院 理事長 池端 幸彦	13 (0.5)	
	服薬管理 医療法人 白髭内科医院 院長 白髭 豊	73 (0.5)	
Miyazaki Diabetes Seminar 8月29日(水) 19:00～20:10 MRT-micc	CGMが解き明かすDPP4阻害薬とSGLT2阻害薬併用 の臨床的意義 東京慈恵会医科大学附属第三病院 糖尿病・代謝・内分泌内科診療部長 東京慈恵会医科大学内科学講座 糖尿病・代謝・内分泌内科 教授 森 豊	76 (1.0)	◇主催 宮崎県内科医会 ◇共催 ※アステラス製薬株式会社 ☎0985-61-1537 MSD株式会社

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連 絡 先
南那珂医師会生涯 教育医学会 8月30日(木) 18:50～20:00 南那珂医師会館	寛解世代の関節リウマチ治療 市民の森病院副院長 膠原病・リウマチセンター 所長 日高 利彦	61 (1.0)	◇主催 ※南那珂医師会 ☎0987-23-3411 ◇共催 日本イーライリリー株式会社
宮崎県医師会産業 医研修会 8月31日(金) 19:00～21:00 県医師会館	心療内科・精神科連携における留意点(1) 産業保健相談員 西都病院 植田 勇人 生涯研修の専門研修会：2単位	1 (0.5) 5 (0.5) 9 (0.5) 14 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
平成30年度宮崎県 医師会医学会 9月1日(土) 15:30～17:30 県医師会館	【専門医共通講習－①医療倫理(必修)】申請中 医療倫理：専門職意識と意思決定 熊本大学医学部生命科学研究院 医療倫理学分野 教授 門岡 康弘 ----- 人工知能の医療利活用 東京大学医科学研究所 国際先端医療社会連携研究部門 特任准教授 湯地 晃一郎	3 (1.0) 9 (1.0)	◇主催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118
宮崎県医師会産業 医研修会 9月7日(金) 19:00～21:00 都城市北諸県郡医 師会館	職場における糖尿病対策 産業保健相談員 日南市立中部病院 副院長 中津留 邦展 生涯研修の専門研修会：2単位	5 (0.5) 11 (0.5) 76 (0.5) 82 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連 絡 先
第10回 認知症 サ ポート医フォロー アップ研修会【TV 会議】 9月7日(金) 19:00～21:00 県医師会館【TV会 議場:都城, 延岡, 日向, 児湯, 西都, 南那珂, 西諸, 西 臼杵】	認知症のリハビリテーション: うつ病で発症した若年 性アルツハイマー病の1例(仮), 他 県南病院認知症疾患医療センター センター長 藤元 ますみ 他	29 (2.0)	◇主催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118 ◇共催 宮崎県認知症疾患医療センター
宮崎県医師会産業 医研修会 9月8日(土) 14:30～18:30 県医師会館	産業保健活動とは何か 宮崎大学医学部社会医学講座公衆衛生学分野 教授 黒田 嘉紀 基礎研修の前期研修会: 2単位	1 (0.5) 6 (0.5) 11 (0.5) 12 (0.5)	◇主催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118
	化学物質のリスクアセスメント入門 ー主に有害物についてー COH労働衛生コンサルタント 矢崎 武 基礎研修の前期研修会: 2単位	7 (0.5) 9 (0.5) 11 (0.5) 0 (0.5)	

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連絡先
平成30年度宮崎県 医師会園医部会総 会・研修会【TV会議】 9月8日(土) 15:00～17:40 県医師会館	食物アレルギーの基本的な考え方と最近の話題 児玉小児科 院長 児玉 隆志	16 (0.5) 17 (0.5)	◇主催 宮崎県医師会園医部会 (連絡先) 宮崎県医師会 ☎0985-22-5118
	口から育つところと身体ー乳幼児期の子育ち支援ー UTAKA DENTAL OFFICE 佐々木歯科(東京都) 佐々木 洋	11 (0.5) 72 (0.5)	
第30回宮崎県糖尿 病教育セミナー 9月9日(日) 9:55～16:45 延岡総合文化セン ター 参加費:3,000円	慢性腎臓病重症化予防対策について 宮崎県立延岡病院 内科医長 戸井田 達典	76 (1.0)	◇主催 宮崎県糖尿病懇話会 ◇共催 ※ノボルディスクファーマ(株) ☎0985-20-1891 ◇後援 宮崎県医師会 延岡市医師会 宮崎県薬剤師会 宮崎県病院薬剤師会 宮崎県看護協会 宮崎県糖尿病療養指導士会 宮崎県歯科医師会 宮崎県臨床検査技師会 宮崎県栄養士会 宮崎県糖尿病対策推進会議
	腎症進展予防のための栄養指導について一家族と同じ 食事で腎症予防ー 延岡クリニック 金子 由美	76 (1.0)	
	昼食の解説について 延岡市医師会病院 管理栄養士 村中 一枝	76 (0.5)	
	延岡市の慢性腎臓病・糖尿病重症化予防の取り組み 延岡市市民環境部国民健康保険課 健診指導係指導士 濱田 明子	76 (0.5)	
	宮崎県の糖尿病腎症重症化予防に向けた実態調査 ー新規透析患者から見える実態ー 宮崎県国民健康保険団体連合会 介護・健康増進課 小島 聡子	76 (0.5)	
	腎症患者における服薬管理の工夫 延岡市医師会病院 薬剤科 三代 朗子	76 (0.5)	
	糖尿病に合併する腎疾患の進行予防対策 ー腎症2期から3期に進展しないためー みやた内科医院 院長 宮田 純一	76 (0.5)	
	クリニックでの糖尿療養支援 ー腎症を悪化させないためにCDEJ・CDELができる事ー 理恵内科クリニック 看護師 谷名 久美	76 (0.5)	

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連 絡 先
宮崎肝炎連携セミナー 9月11日(火) 19:00～20:40 宮崎観光ホテル	透析患者におけるC型慢性肝炎抗ウイルス治療の現状 宮崎医療センター病院 副院長兼消化器・肝臓病 センター長 宇都 浩文	15 (0.5)	◇主催 宮崎県透析医会 ◇後援 宮崎県肝疾患懇話会 ※アツヴィ合同会社 ☎03-4577-1145
	腎機能低下例も含めたC型肝炎の最新治療 北海道大学医学研究院内科学分野消化器内科学教室 特任助教 須田 剛生	73 (1.0)	◇後援 宮崎県医師会 宮崎市郡医師会
宮崎県医療勤務環境改善セミナー】 9月13日(木) 19:00～21:00 県医師会館	勤務環境改善マネジメントシステムを導入して(仮) 医療法人誠和会 和田病院 診療技術部長 理学療法士 荒瀬 浩之	6 (0.5)	◇主催 宮崎県医療勤務環境改善支援センター (連絡先) 宮崎県医師会 ☎0985-22-5118
	チームクラーク制導入による医師の負担軽減(仮) 一般財団法人潤和リハビリテーション振興財団 潤和会記念病院 財団本部事務局 総務人事部 武田 まゆみ	10 (0.5)	
	36協定の結び方 宮崎県社会保険労務士会	6 (0.5)	
日医生涯教育協力講座ーこれからの高尿酸血症・痛風の治療戦略【TV会議】 9月15日(土) 15:00～18:20 県医師会館	CKDと尿酸ー基礎研究を中心にー 奈良県立医科大学 未来基礎医学教室 教授 仲川 孝彦	73 (1.0)	◇主催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118 ◇共催 日本医師会 帝人ファーマ株式会社
	高尿酸血症・痛風の治療 赤坂中央クリニック 院長 日高 雄二	15 (1.0)	
	血清尿酸値と慢性腎臓病発症の関係(久山町研究より) 九州大学医学研究院 衛生・公衆衛生学分野 教授 二宮 利治 無症候性高尿酸血症ー患者教育と治療継続ー 嶋田病院 理事長 嶋田 英敬	82 (1.0)	

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連 絡 先
医療現場のワーク ライフバランスセ ミナー 9月22日(土) 15:00～16:30 県医師会館	医師として、社会の歯車になる JCHO久留米総合病院 病院長 田中 真紀	1 (0.5) 6 (0.5) 12 (0.5)	◇主催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118 ◇共催 地域医療現場における働きやすい環境を考える会 宮崎県医療勤務環境改善支援センター
宮崎県医師会産業 医研修会 9月27日(木) 14:00～16:00 県医師会館	ストレスチェックテストの集団分析 産業保健相談員 都城新生病院 前原 正法 生涯研修の専門研修会：2単位	1 (0.5) 7 (0.5) 11 (0.5) 84 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
平成30年度宮崎 県医師会治験セミ ナー【TV会議】 9月28日(金) 18:30～20:00 県医師会館	【専門医共通講習－①医療倫理(必修)】申請中 臨床研究法の概要(仮) 厚生労働省医政局研究開発振興課 治験推進室 治験推進係長 山下 雄大	6 (1.0)	◇主催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連 絡 先
宮崎県医師会産業 医研修会 10月4日(木) 19:00～21:00 県医師会館	長時間労働者の面接指導 産業保健相談員 宮崎県立看護大学 教授 生涯研修の実地研修会：2単位	江藤 敏治 1 (0.5) 5 (0.5) 11 (0.5) 12 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
宮崎県医師会産業 医研修会 10月18日(木) 19:00～21:00 県医師会館	行動変容を起こすー交渉術ー 産業保健相談員 都城新生病院 生涯研修の専門研修会：2単位	前原 正法 1 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
平成30年度かかり つけ医認知症対応 力向上研修会(日 医TV会議) 10月20日(土) 14:00～17:30 県医師会館	かかりつけ医の役割(仮)，他 野崎病院認知症疾患医療センター センター長 宇田川 充隆 他	宇田川 充隆 他 4 (0.5) 5 (0.5) 11 (0.5) 12 (0.5) 13 (0.5) 19 (0.5) 29 (0.5)	◇主催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連 絡 先
第59回 宮 崎 県 ス ポーツ学会 10月20日(土) 15:00～18:30 宮日会館 参加費:1,000円	MSIアプローチによる運動機能評価の実際 千葉メディカルセンター リハビリテーション科 科長	11 (0.5) 19 (0.5)	◇主催 宮崎県スポーツ学会 ◇共催 久光製薬株式会社 ◇後援 宮崎県医師会 (連絡先) 宮崎大学医学部整形外科 ☎0985-85-0986
	スポーツ眼科 えだがわ眼科クリニック 院長	36 (0.5) 37 (0.5)	
	スポーツ傷害に対する診断, 治療のピットフォール 東京慈恵会医科大学 整形外科科学講座 准教授	61 (0.5) 62 (0.5)	
宮崎県医師会産業 医研修会 10月26日(金) 19:00～21:00 県医師会館	治療と職業生活の両立 宮崎大学医学部 患者支援センター センター長 生涯研修の専門研修会: 2単位	1 (0.5) 5 (0.5) 7 (0.5) 10 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会

お知らせ

クールビズについて

県医師会では、地球温暖化防止に向け、平成30年5月1日より10月31日までの間、県医師会館の冷房設定温度を上げ、常識的な判断による夏の軽装(クールビズ)の実践に取り組めます。

会議等の場合でも軽装(ノーネクタイ・半袖等)で結構です。地球温暖化防止のため、ご理解とご協力をお願いいたします。

診療メモ



小児在宅医療について

ゆげ 小児科・弓削 整形外科 ^ゆ ^げ ^{あき} ^{ひこ}
弓 削 昭 彦

〈はじめに〉

小児の在宅医療は近年推進していく方向性で検討されており厚生労働省や医師会、小児科学会、小児科医会などによる研修会などもしばしば行われています。しかし小児在宅医療の進み方は地域・都道府県により、現状で大きな違いがあり残念ながら宮崎県は進んでいない地域となっています。今回、小児在宅医療の問題点や現状を記したいと思います。

〈医療的ケア児〉

小児期に在宅医療を必要とするケースは重症心身障がいの患者さんが多いのですが神経筋疾患、先天性心疾患で在宅酸素を要する場合など多様な疾患背景があります。

小児期以前に生じた疾患により知的機能と運動機能と両方が重度に障害されている状態を重症心身障がい児(その後成人になった場合、重症心身障がい者)と称します。以前は病院あるいは重症心身障害児施設での入院・入所を継続するケースが多かったところが、在宅人工呼吸器や胃瘻等の各種デバイスの進歩により自宅での生活を目指すケースが多くなっています。宮崎県における在宅重症心身障がい児は、宮崎県による集計ではここ数年間400人程度となっています。しかしこのデータは療育手帳(知的障がい)と身体障害者手帳1級もしくは2級(運動機能障がい)の両方を所持している方を集計し

たものであり手帳をまだ申請していない乳幼児などは含まれていません。また、知的障がいや有しない先天性神経筋疾患の患者さんや知的障がい・運動機能障がいがなく呼吸機能の問題のためのため気管切開や在宅人工呼吸器を使用している患者さんなども含まれません。在宅医療を受ける小児患者の疾患・病態には多様性があるため実際に在宅での医療行為を受ける必要がある患者さんを把握するための概念として医療的ケア児というものがあります。医療的ケア児の明確な定義はまだ議論されているところですが厚生労働省研究班による集計ではe-statという政府統計より社会医療診療行為別調査のデータを得、在宅療養指導管理料(在宅人工呼吸指導管理料、在宅酸素指導管理料、在宅ねたきり指導管理料、在宅小児経管栄養法指導管理料など)を算定している件数をカウントし医療的ケア児の人数を出しています。それによると平成28年度は約17,000人、平成29年度は約19,000人程度となっており、この数年間漸増している傾向です。今後はこのデータが小児在宅医療における基礎データとなると思います。各県でもそれぞれ保険機構の協力を請い各々の地域でのデータを出そうとしています但对応にはばらつきがあり個人情報保護の観点から情報の提供をいただけないこともあるようです。宮崎県でもデータの提供はいただけず医療的ケア児の人数は明確になっていません。今後様々な施策を検討する上でも基礎データは重要であると考えますので

どのような方法で人数を把握していくのか検討が必要だと思います。

〈宮崎県の状況〉

宮崎県小児科医会では2017年度に、県小児科医会会員と会員外で小児科を主たる標榜科として診療しておられる先生方へ対して在宅医療に関するアンケート調査を行いました。ご協力いただいた先生方にはこの場を借りてお礼を申し上げます。アンケートは現時点での在宅医療に対する意識調査と小児科医が係わる実態把握を主眼に行っています。詳細は今回記載いたしません、定期的な訪問診療を行う文字通りの「在宅医療」を行っている小児科医はご回答いただいた中では宮崎県にはおられないことが確認できました。それでは経管栄養、胃瘻管理や在宅酸素、在宅人工呼吸器など自宅での医療行為を必要とする患者さんたちはどのようにされているのでしょうか。ほとんどの方が大学病院や県立病院をはじめとする中核病院へ定期的に通院され各種チューブ交換などを含めた「外来診療」を受けているものと推測されます。ただ、今回のアンケート調査では小児科医以外の先生方が行っている小児在宅医療の実態は調査できていません。このため今後、在宅医療を行っている先生方へご協力いただき小児科医以外の先生方が関わる小児在宅医療の実態調査も検討したいと考えています。

アンケートにご協力いただいた小児科医の大部分がその重要性については肯定されており、できることは協力したいという回答をいただきました。実際に重症心身障がい児・者、医療的ケア児に対して発熱時の対応や予防接種を含めた日常診療を外来診療で行っている先生方は多数いらっしゃるようです。しかしながら訪問診療まで行うことは困難と考える方がほとんどでした。宮崎県の人口あたりの小児科医の数は全国でもワースト5に入る少なさであり日常診療におわれている状況で、訪問診療を1～2人でも行う場合は新たに医師を雇用したり診療時間を変更したりするなど診療形態を変更する必要

が生じるものと考えます。また東京、大阪、福岡などの大都市では小児在宅診療を主体とするクリニックも存在しますが宮崎県では患者数が大都市と比べて少なくまた広い範囲の地域に点在しているため小児在宅医療のみで経営を成り立たせるには難しいように思います。

今後、小児在宅医療を宮崎県で進めていくには成人の在宅医療を担っておられる先生方に小児をみていただき小児科医がバックアップするという形態が現実的なものかもしれません。患者さん・ご家族と病院小児科、在宅医師の間をつなぎマッチングするシステムがあるとよいのかもしれないとおぼろげに考えているところです。

〈その他の問題点〉

医療的ケア児と過ごすご家族(多くの場合でとくに母親)は日常的に緊張状態を強いられている状況です。患者本人の状態が悪くなったための入院ではなく、家族が休息をとるためや用事を済ませるために患者さんをお預かりするレスパイト入院という形態が在宅医療推進のためには必要と考えますが、宮崎では選択肢が少なく十分な状況とはいえません。レスパイトが容易に可能となる社会基盤の整備も重要と思います。さらに紙面の問題で十分記載できませんが医療的ケア児が成人年齢になった際の対応も大きな問題です。小児科で引き続きみていくのか成人科に引き継ぐのがよいのか、緊急入院の受け入れ先をどうするのがよいのかなどいろいろと考えるべきことがあります。

〈おわりに〉

すべての子どもたちの懸命に生きようとする生命を守り、それぞれの生きる輝きを伸ばしていくことが私たち医療者だけでなく社会全体の責務であろうと思います。問題点ばかり書き連ねた形になりましたがこの10年間くらいで医療的ケア児をとりまく環境は間違いなく改善の方向に向かってきていることも実感しています。ひきつづき皆さまのお知恵、お力で幸せにすごせる子どもが増えることを祈念いたします。

宮大医学部学生のページ



第9回日本プライマリ・ケア学会に参加して

宮崎大学医学部医学科3年 さ佐 とう藤 ま愛 ゆ結, こ小 やま山 とも智 み美

私たちは、6月16、17日に三重県津市で開催された日本プライマリ・ケア連合学会に学生として参加させていただきました。この学会は「人々が健康な生活を営むことができるように、地域住民とのつながりを大切にした、継続的で包括的な保健・医療・福祉の実践及び学術活動を行うこと」を目的に設立されており、さまざまな専門医および医療職種の方々が参加しているのが特徴です。今回は、私たちの所属する”FMIG (Family Medicine Interest Group)宮崎”という家庭医療サークルのメンバー合わせて12人が参加し、そのうち4人が学生枠としてポスター発表を行いました。

ポスター発表では、FMIG宮崎の活動報告と昨年宮崎県延岡市で開催された九州山口家庭医療・総合診療セミナーでの活動報告を行いました。各県の先生や学生がたくさんの質問をされていて、FMIG宮崎への関心の高さが伺えました。また、発表した4人は宮崎県のゆるキャラである「みやぎき犬」の被り物を被り、これもまた好評で盛り上がり一役買っていたと思います。

学会ではポスター発表の他にもさまざまなシンポジウムが行われており、そのうちの一つで興味をもっている災害医療についてのシンポジウムを拝聴しました。災害時には、支援者(医療者含む)と受援者の間で感情の起伏(鬱や躁状態)が起こるタイミングが異なるために摩擦が起こります。やみくもに支援に行くのではなく災害サイクルにおいて適切なタイミングに適切な数だけ支援者(医療者)を派遣することが重要であるという報告は学生としては新鮮でした。臨床的なことなのですぐに活かすことは難しいのですが、宮崎県は近いうちに災害が起こることが予測されている地域なので、シンポジウムで学んだこと、つまり一般の人があまり知らないであろうことを伝えていくのは学生としてできることのひとつなのではないかと考えています。

また、家族志向型ケアについての教育講演にも興味を持ちました。家族面接や診療をどのようにしたら良いかという内容でしたが、この教育講演で一番印象に残ったことは、患者さんの生活習慣が健康に関係することはもちろん、患者さんの家族の生活習慣も健康問題に関係してくるということでした。診療の中では家族関係を把握することが大切だそうです。家族の問題は、家族の病気、ライフサイクルの変化、家族間の仲違いなどで起こり、それらを踏まえながら治療方針と一緒に考

えていくことが大切です。また、医師だけでなく、他のコメディカル職種の方とチームで解決していく必要があることを学びました。実際の現場でどのように診療が行われているかを学び、また家族志向が叫ばれる中、家族のタイプによって対応をどう変えるのかなど、知らなかったことが多くあり勉強になりました。

今回、私たちは初めて学会というものに参加させていただきましたが、想像とは違い、質問や意見もしやすい雰囲気でした。学会はもちろん学生向けではなく、医師やコメディカルを対象としています。しかしながら、だからこそ現役で働いている医療者との交流を通すことで、現場がより見えやすくなるなど、学生のうちから参加することの利点は大きいと考えています。このような機会を与えてくださっている宮崎大学地域医療・総合診療医学講座に感謝し、今後も同様に学び続け、地域を学ぶためにフィールドワークの機会を作っていきたいと思っています。



お知らせ

県医師会から各郡市医師会へ送付しました文書についてご案内します。詳細につきましては、会員専用ページをご覧ください。所属郡市医師会へお問い合わせください。会員専用ページを見るためにはユーザ名、パスワードが必要です。県医師会学術広報課にお問い合わせください(TEL 0985-22-5118)。

またMMA通信(県医師会から会員への情報提供メーリングリスト)でも本文書について随時お知らせしていますので、まだご登録されていない会員はぜひご登録をお願いします。

送付日	文 書 名
5 月 8 日	・第49回全国学校保健・学校医大会「分科会」における研究発表の演題募集について ・第49回全国学校保健・学校医大会の開催について(予報) ・平成30年度九州医師会連合会学校医会等に関する諸行事について(予報) ・「結核医療の基準」の一部改正について ・平成30年度「児童虐待防止推進月間」標語募集への協力依頼について ・重症熱性血小板減少症候群(SFTS)の相談体制について ・感染症の予防及び感染症患者に対する医療に関する法律施行規則の一部を改正する省令の施行に伴う各種改正について ・油症患者受療券の利用可能医療機関の拡大に関する協力依頼について ・子ども医療電話相談事業(#8000事業)の推進について ・麻しん対策の更なる徹底について ・麻しん患者報告数の増加に伴う海外渡航者への注意喚起について ・「麻しん対策の更なる徹底」及び「麻しん患者報告数の増加に伴う海外渡航者への注意喚起」について ・平成30年度介護支援専門員実務研修受講試験の実施について ・平成30年度木のあるおもてなし空間整備事業の募集について ・医療法人の事業報告書等の届出について ・「生命を見つめる」フォト&エッセー(フォト部門)作品展示会開催のお願い ・労災保険における訪問看護の取扱いの一部改定について
5 月 9 日	・地域医療介護総合確保基金に係る平成30年度新規事業提案(介護人材)の検討結果について ・出産育児一時金等の受取代理制度の届出について(平成30年度) ・「都道府県及び市町村における糖尿病性腎症重症化予防に係る取組状況について」の一部訂正について
5 月10日	・高齢者における結核発病患者の早期発見対策について ・「急性弛緩性麻痺を認める疾患のサーベイランス・診断・検査・治療に関する手引き」の公表について ・肝炎医療ナビゲーションシステムの運用に向けた準備への協力依頼について ・公知申請に係る事前評価が終了した医薬品の保険上の取扱いについて ・抗IL-4受容体αサブユニット抗体製剤(デュピクセント皮下注)に係る最適使用推進ガイドラインの策定に伴う留意事項について ・医薬品の効能又は効果等における血管炎に関する疾病の呼称の取扱いについて ・旧優生保護法に関連した資料の保全について ・抗PD-L1抗体抗悪性腫瘍剤(テセントリク点滴静注)に係る最適使用推進ガイドラインの策定に伴う留意事項について

送付日	文 書 名
5 月14日	・「職域におけるがん検診に関するマニュアル」について ・エボラ出血熱に係る注意喚起について ・在宅医療の提供に係る事業費補助金交付要綱の改正について ・社会保険制度及び労働保険制度の周知について
5 月15日	・宮崎県肝疾患専門・協力医療機関の指定について ・無痛分娩の安全な提供体制の構築について
5 月16日	・医療事故情報収集等事業「医療安全情報No.137」の提供について ・身元保証人がいないことのみを理由に医療機関において入院を拒否することについて
5 月17日	・公益財団法人日本学校保健会発行図書の有償斡旋について
5 月18日	・エボラ出血熱に係る注意喚起について ・麻しんの予防接種の推奨の周知について
5 月21日	・身元保証人等がいないことのみを理由に医療機関において入院を拒否することについて ・医業若しくは歯科医業又は病院若しくは診療所に関する広告等に関する指針(医療広告ガイドライン)等の周知について ・公知申請に係る事前評価が終了した医薬品の保険上の取扱いについて
5 月22日	・「東京2020に向けた応援プロジェクトinスポーツランドみやぎ」の開催について ・第1回公認心理師試験の施行について ・「STOP！熱中症 クールワークキャンペーン」に係る実施要綱について ・電波環境協議会による「医療機関において安心・安全に電波を利用するための手引き」周知啓発用資料について
5 月24日	・旧優生保護法に関連した資料の保全について ・「がん等の診療に携わる医師等に対する緩和ケア研修会の開催指針」の一部改正について ・厚生労働省「熱中症予防の普及啓発・注意喚起について」 ・重症熱性血小板減少症候群(SFTS)の報告数の増加に伴う注意喚起について ・かかりつけ医等発達障害対応力向上研修事業の実施について ・平成29年度学校保健講習会 動画配信について ・「平成30年度 地域包括診療加算・地域包括診療料に係るかかりつけ医研修会」の開催について
5 月25日	・「かかりつけ医のための適正処方の手引き」の送付について(その2) ・院内感染対策サーベイランス事業(JANIS)に係る参加医療機関の追加募集について ・日本医師会ACLS(二次救命処置)研修について
5 月28日	・平成30年度地域支援事業実施要綱等の改正点について ・「学校における麻しん対策について(依頼)」の送付について
5 月30日	・給付額減額措置の見直しに伴う被保険者証及び負担割合証の様式の変更について
5 月31日	・特定医療費(指定難病)受給者証の更新について
6 月 1 日	・乳がん検診における「高濃度乳房」への対応について ・日本准看護師連絡協議会研修会について ・地域医療情報システム(JMAP)の改修及び更新について ・「病原微生物検出情報」の送付について ・医療観察法災害ガイドラインについて ・「保健医療情報分野の標準規格(厚生労働省標準規格)について」の一部改正について
6 月 4 日	・乳がん検診における「高濃度乳房」への対応について
6 月 5 日	・梅雨期及び台風期における防災態勢の強化について

あとかき



ロシアで行われた4年に一度のサッカーワールドカップはフランスの優勝で幕を閉じました。日本も予想外の健闘で予選トーナメントを通過、もう少しのところでベスト8まで勝ち上がるどころでしたが、ベルギーに逆転負けしてしまいました。残念。今年も歓喜と悲嘆のワールドカップでした。しかし、かつて味わったあの悲しみと感動は二度と味わえないでしょ

う。そう、ドーハの悲劇とジョホールバルの歓喜です。日本初のワールドカップ出場がかかったアジア最終予選、最後のロスタイムで相手の得点を許してしまい夢が叶わなかった93年のドーハの悲劇。その4年後、初めてのワールドカップ行きを決めた岡野選手のゴールが今でも眼に浮かぶアジア最終予選、ジョホールバルの歓喜。ドーハの悲劇の時はあまりのショックで翌日は学校に行けず、落第しかけたこともありましたが(夏休みに補習を受けなんとか進級できました)。

小学校3年生からサッカーを始めた私にとってスポーツといえばサッカーです。小学校の頃に読売サッカークラブ(現東京ヴェルディ 1969)のサッカー教室でジョージ与那城に教えていただいたこともありました。ジョージ与那城といえばラモス瑠偉をブラジルから日本に連れてきたことで有名ですが、なんと昨年からJ.FC MIYAZAKIの監督に就任していたようです。これも何かの縁でしょうか、「J.FC MIYAZAKIのスポンサーに…」と言いたいところですが、無理なのでまずはサポーターズ会員に登録してみようかな…。(沖田)

* * * * *

「いちばんおいしい家カレーを作る」という本を買いました。この本では「スーパーにある普通の材料で」、「複雑な技や面倒な工程が殆どなく」、「比較的短時間で」つくれる3種類のカレーが紹介されています。よく言う「玉葱をアメ色に炒める」方法も分かりやすく理論的に書かれており、スパイスや隠し味の使い方もシンプルで受け入れやすいものでした。さっそくこの本を熟読して作ってみたところ、香り高く、コク深い、自分史上最高の美味しいカレーができあがり、(あまり僕を誉めない)妻も絶賛の味でした。皆さん、週末にでも挑戦してみませんか? パパ(ジジ?)の株があがること請け合いですよ。(稲倉)

* * *

台風が接近する中、地区の夏祭りが近づいてきた。出店の焼きそば、唐揚げなどの食材の運搬中止は2日前までに決定しなければならない。3日前に、区長さんと私たち班長を交えた話し合いがもたれ、当日に雨が降ったら中身を縮小し、途中中止しようということになった。祭り当日は曇り空で風もあり、さほど高温とはならず、しかも雨が降るも一時的で最後まで遂行できた。昨年は台風による中止だったのだ。今年は開催できてよかった。(山崎)

* * *

日本人口が9年連続で減少したと、総務省より発表された。生産年齢人口も初めて6割を下回ったが、前回の国勢調査で県内の生産年齢人口は56.8%と、すでに6割を下回っている。県内の医師統計をみると、総数は増加しているが、働き盛りの30代の医師数は年々減少しており、10年前と比較すると約3割減少している。学生さんへ、できれば県内で働いてくれませんか? そのためには何が必要ですか? 教えてください。お願いします!(植田)

* * *

いよいよ待ちに待った夏休み! 来年のこの時期は卒業試験・国家試験やマッチングが控えているため、学生生活最後ののんびりできる夏休みではないかと思えます。そのため、10月の進級試験に向けての勉強や病院見学はもちろんありますが、やはり楽しみたい…。ということで、漢方学セミナーへの参加を兼ねた福岡、京都、滋賀、岐阜への旅行、友人との2泊3日の北海道旅行、関東への帰省等々を予定しています。北海道では私の名前(摩依)の漢字の由来となった摩周湖を初訪問予定です。遊びも学びも、なかなか帰れない帰省先での親孝行も全力で満喫する夏休みにしようと思います。(泉)

* * *

今夏は平成最後の夏ということで、何かやり残したことはないだろうか考えるこの頃です。個人的には、母校の学芸大附属大泉小の臨海学校にOBとして参加できなかったことが悔やまれます。大学では水泳部に所属しているので、赤い褌を締めて海での遠泳に挑む後輩達のサポートを今年こそはと思っていましたが、実習や講義の予定が合わず、断念しました。今夏は、CBT・OSCE・臨床科目試験と盛りだくさんですが、面白そうな映画も多く公開されるので、適度に息抜きをしつつ乗り越えたいと思います。(伊澤)

* * *

5月の連休は東北へツーリングに行き震災遺構の写真を撮りました。例年8月に開催される医家芸術展に出展するためにパネルにしましたが、考えてみれば今年度の医家芸術展は県立美術館改修のため来年の3月に延期されます。出展を予定されていた先生方、ご家族の皆様、今しばらくお待ちください。(佐々木)

* * *

今月のトピックス

日州医談 医師の働き方改革における問題点

「医師の働き方改革における問題点」と題して、一般的解説と医師の働き方改革の問題点、宮崎県の現状と山形県での取組みを紹介されています。働き方改革が地域医療に影響を及ぼさないようにするにはどうすべきかなど、難しい問題を濱田政雄副会長に解説していただきました。 4 ページ

郡市医師会だより、各種報告

県医師会、各郡市医師会も新執行部が決まり、それぞれに活動が始まっています。医師会というと何やら圧力団体という印象を持つ人もあるようですが、自治体と連携した地域医療問題への対処や看護学校の運営、会員の保険や福祉など様々な方面での活動をしています。執行部の先生方は自分のところの仕事を何らかの形で犠牲にして医師会の仕事をして下さっています。私も広報委員の端くれとして仕事をするようになって初めて気付きました。全体から地域のことまで現在の問題や方針が書かれています、ぜひお目通し下さい。 24, 30ページ

診療メモ 小児在宅医療について

推進していく方向で検討されている小児の在宅医療の宮崎県での現状についてゆげ小児科・弓削整形外科の弓削昭彦先生に執筆していただきました。人口当たりの小児科医の数が全国でもワースト5に入る宮崎県の状況と、そのほかの問題点につき解説されています。良い方向に進むよう願います。 90ページ

日 州 医 事 第828号(平成30年 8 月号)(毎月 1 回10日発行)

発行人 公益社団法人 宮 崎 県 医 師 会 会長 河野 雅行
〒880-0023 宮崎市和知川原 1 丁目101番地 TEL 0985-22-5118(代)・FAX 27-6550
<http://www.miyazaki.med.or.jp/> E-mail:office@miyazaki.med.or.jp

編 集 宮崎県医師会広報委員会

委 員 長 西田 隆昭・副 委 員 長 稲倉 琢也, 野村 勝政
委 員 沖田 和久, 山崎 俊輔, 上山 貴子, 植田 雄一
学 生 委 員 二見 旬祐, 泉 摩依, 伊澤 和範, 土持 友香
担当副会長 山村 善教・担 当 理 事 荒木 早苗, 佐々木 究
事 務 局 学術広報課 本崎 礼子, 牧野 諭

印刷所 愛文社印刷株式会社・落丁・乱丁の際はお取り替えいたします。
定 価 350円(但し、県医師会員の購読料は会費に含めて徴収してあります)